

障がい者福祉についてのアンケート調査 結果報告書

平成 29 年 3 月

伊豆市 健康福祉部 社会福祉課

目 次

I 調査の概要	1
1 調査期間、調査対象者、調査方法	1
2 配布、回収、有効回答	1
3 集計結果の見方	1
II 調査結果	2
1 ご本人のことについて	3
2 障がいの状態や要介護認定について.....	11
3 日常生活について.....	19
4 介助者について	27
5 就労について	33
6 就園・就学について	46
7 福祉サービスの利用について	52
8 福祉に関する情報について.....	61
9 災害時のことについて	65
10 人権・権利擁護について.....	74
11 相談体制について.....	80
12 今後の取り組みについて.....	87
資料（調査票）	89

I 調査の概要

伊豆市では、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざして、平成30年度から始まる『第3次伊豆市障がい者計画』及び『第5期伊豆市障がい福祉計画』の策定にあたって、障がいのある方々の日常生活等に関するご意見をお伺いし、新たな計画の基礎資料とするとともに、今後の障害福祉サービス利用のより円滑な運営に役立てるためにアンケート調査を実施した。

1 調査期間、調査対象者、調査方法

①調査期間 平成28年11月29日（火）～平成28年12月15日（木）

②調査対象者

身体障害者手帳所持者	953人
療育手帳所持者（身体手帳所持者を除く）	171人
精神障害者保健福祉手所持者（他手帳所持者を除く）	77人
合計	1,201人

③調査方法 郵送による調査票の配布・回収

2 配布、回収、有効回答

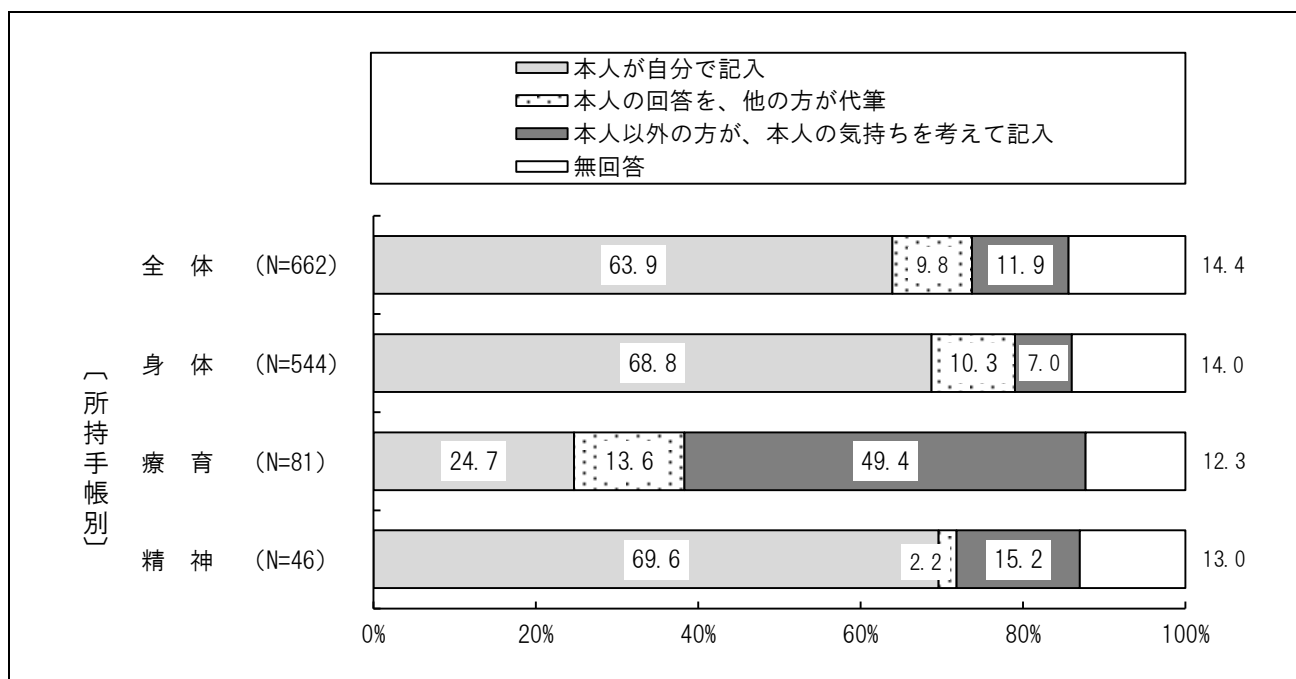
配布数	回収数（率）	有効回収数（率）
1,201	672（56.0%）	662（55.1%）

3 集計結果の見方

- ・ グラフ中の「身体」は「身体障害者手帳」、「療育」は「療育手帳」、「精神」は「精神障害者保健福祉手帳」の略。各基数はNで表されている。
- ・ 回答者の構成比（百分率）は小数点以下第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%にならないこともある。
- ・ 複数回答の項目については、原則としてその項目に対して有効な回答数を基数として比率算出しているため、比率の合計が100%を超えることがある。
- ・ 文章やグラフにおいて、設問や選択肢の一部を省略して記載している場合がある。

Ⅱ 調査結果

はじめに、調査票の記入者についてうかがいます。(○は1つ)

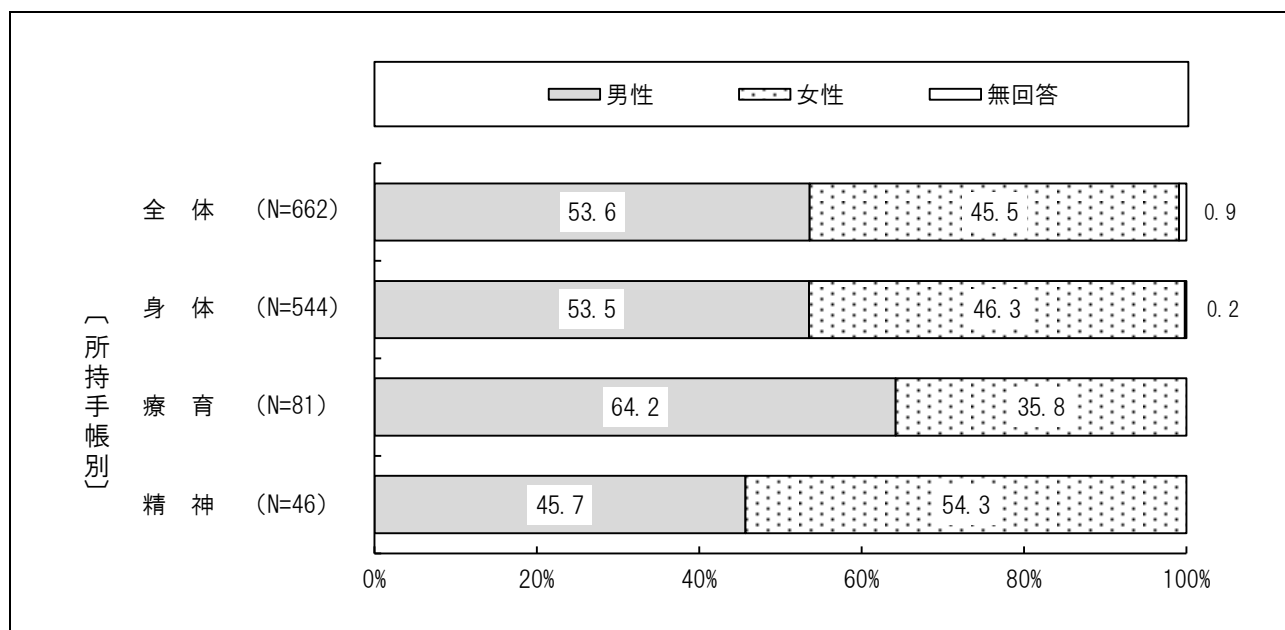


全体では「本人が自分で記入」が63.9%と最も多く、次いで「本人以外の方が、本人の気持ちを考えて記入」が11.9%、「本人の回答を、他の方が代筆」が9.8%となっている。

身体障害者手帳をお持ちの方（以降「身体」とする）と精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方（以降「精神」とする）では「本人が自分で記入」（身体：68.8%、精神：69.6%）、療育手帳をお持ちの方（以降「療育」とする）では「本人以外の方が、本人の気持ちを考えて記入」（49.4%）が最も多くなっている。

1 ご本人のことについて

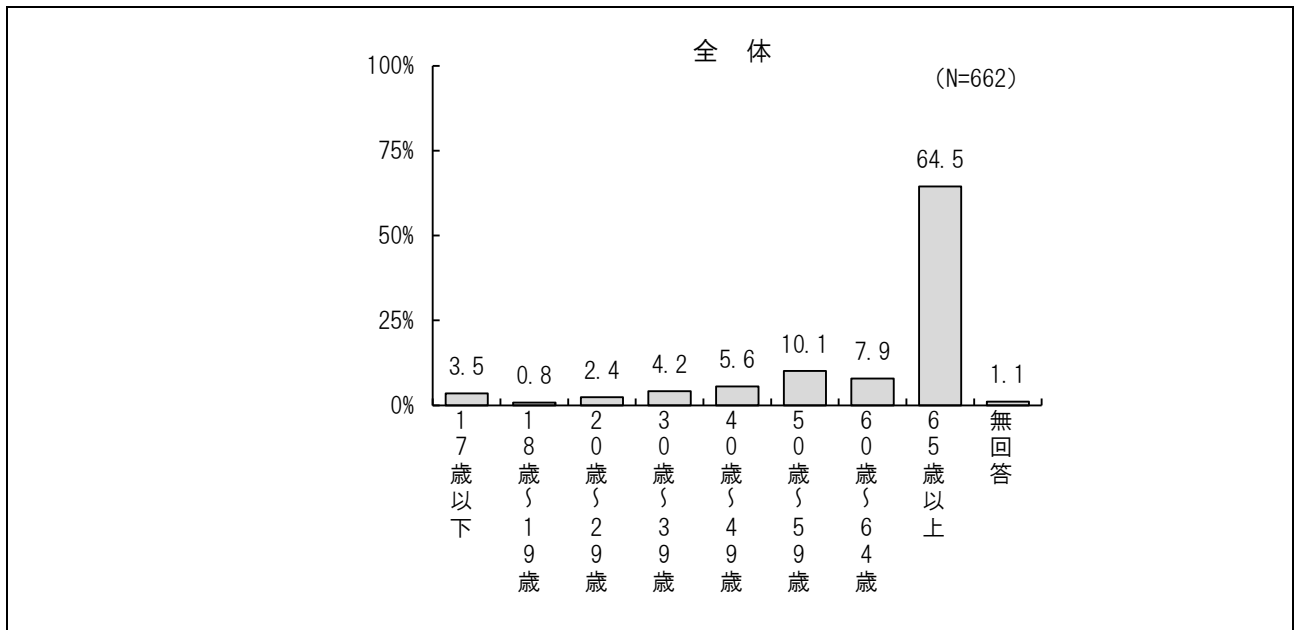
問1 あなた（あて名のご本人）の性別をお答えください。（○は1つ）



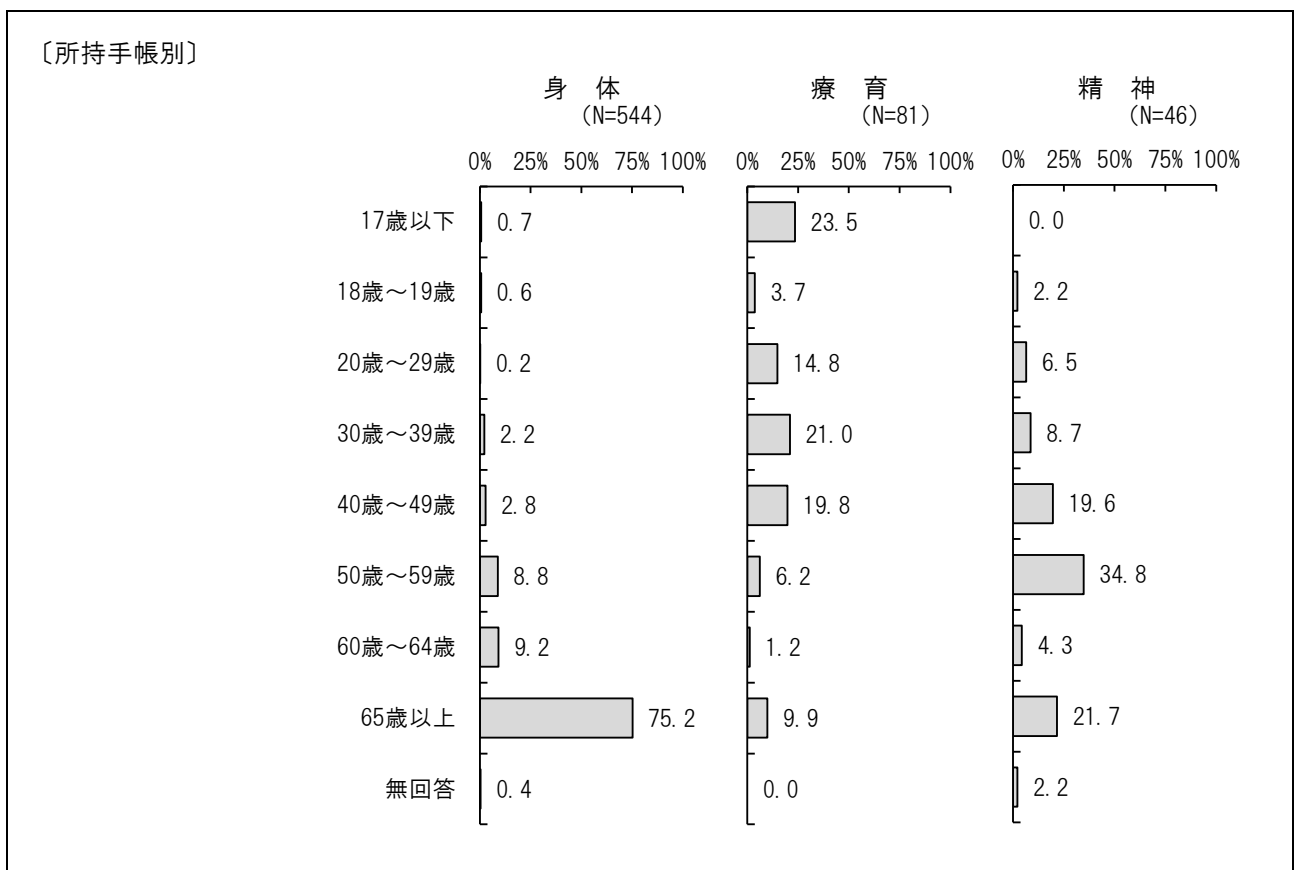
全体では「男性」が 53.6%、「女性」が 45.5%となっている。

身体・療育では「男性」（身体：53.5%、療育：64.2%）、精神では「女性」（54.3%）が多くなっている。

問2 あなた（あて名のご本人）の年齢をお答えください。（平成28年11月1日時点）

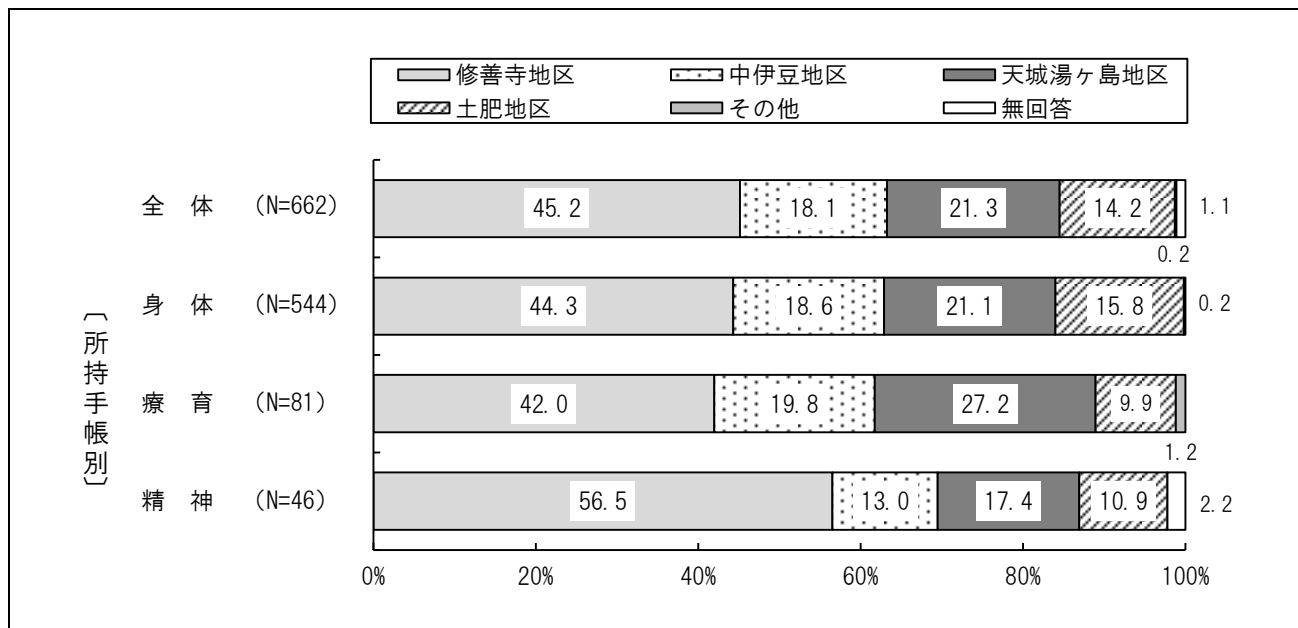


全体では「65歳以上」が64.5%と最も多く、次いで「50歳～59歳」が10.1%、「60歳～64歳」が7.9%などとなっている。



身体では「65歳以上」(75.2%)が突出して多くなっている。療育では「17歳以下」(23.5%)、精神では「50歳～59歳」(34.8%)が最も多くなっている。また、療育では「20歳～29歳」(14.8%)、「30歳～39歳」(21.0%)、「40歳～49歳」(19.8%)、精神では「40歳～49歳」(19.6%)が多くなっている。

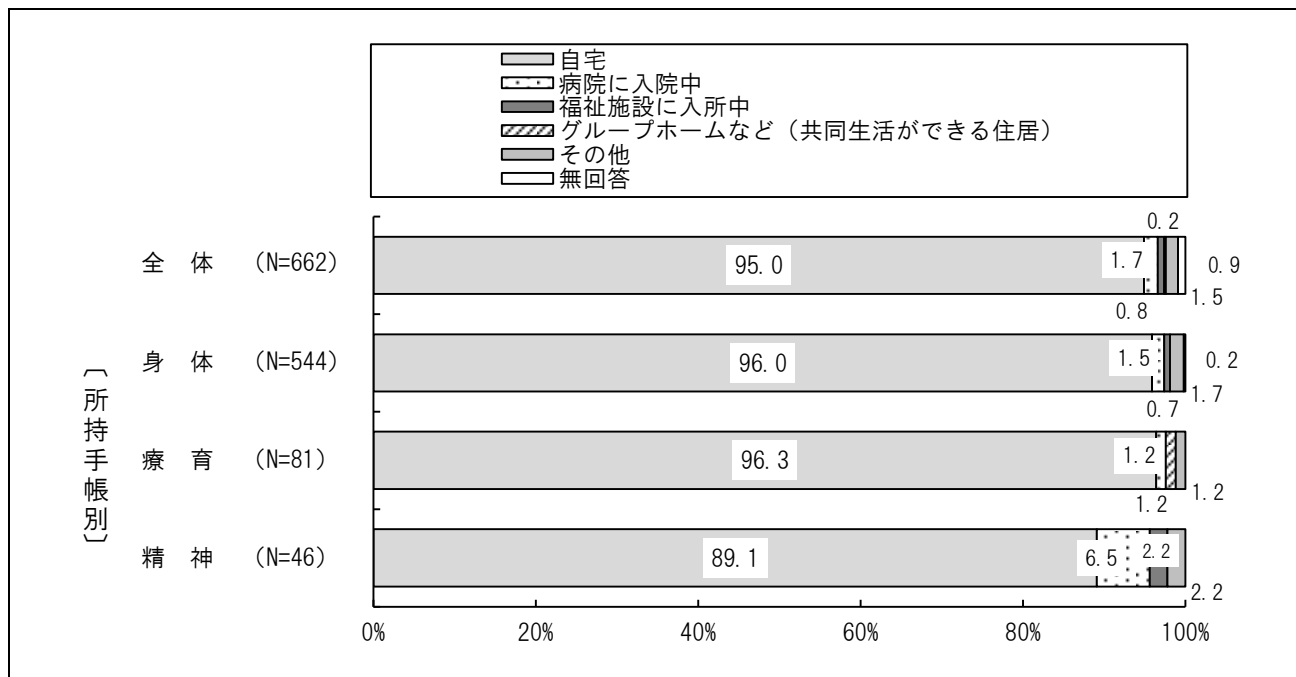
問3 あなたがお住まいの地区をお答えください。(〇は1つ)



全体では「修善寺地区」が 45.2%と最も多く、次いで「天城湯ヶ島地区」が 21.3%、「中伊豆地区」が 18.1%などとなっている。

いずれの手帳区分でも「修善寺地区」(身体：44.3%、療育：42.0%、精神：56.5%)が最も多くなっている。

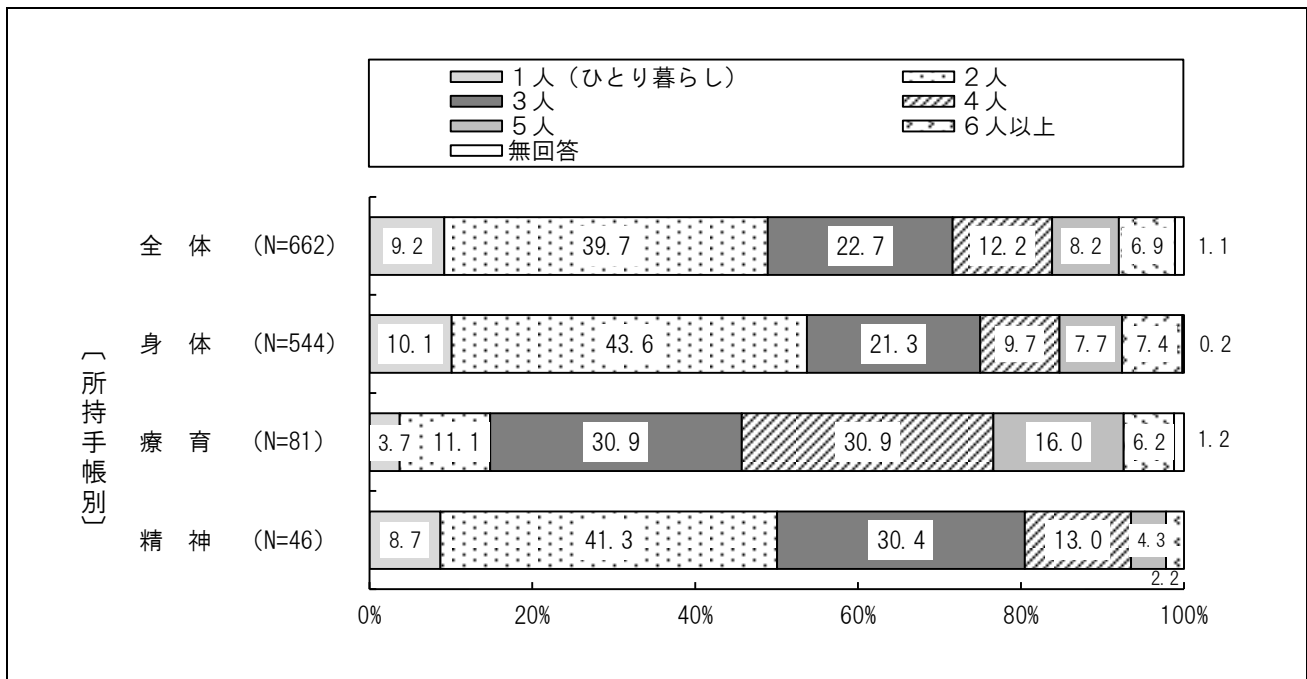
問4 現在、あなたのお住まいはどちらですか。(〇は1つ)



全体では「自宅」が95.0%と突出して多くなっている。

所持手帳別での差はあまり見られないが、精神では「病院に入院中」(6.5%)がやや多くなっている。

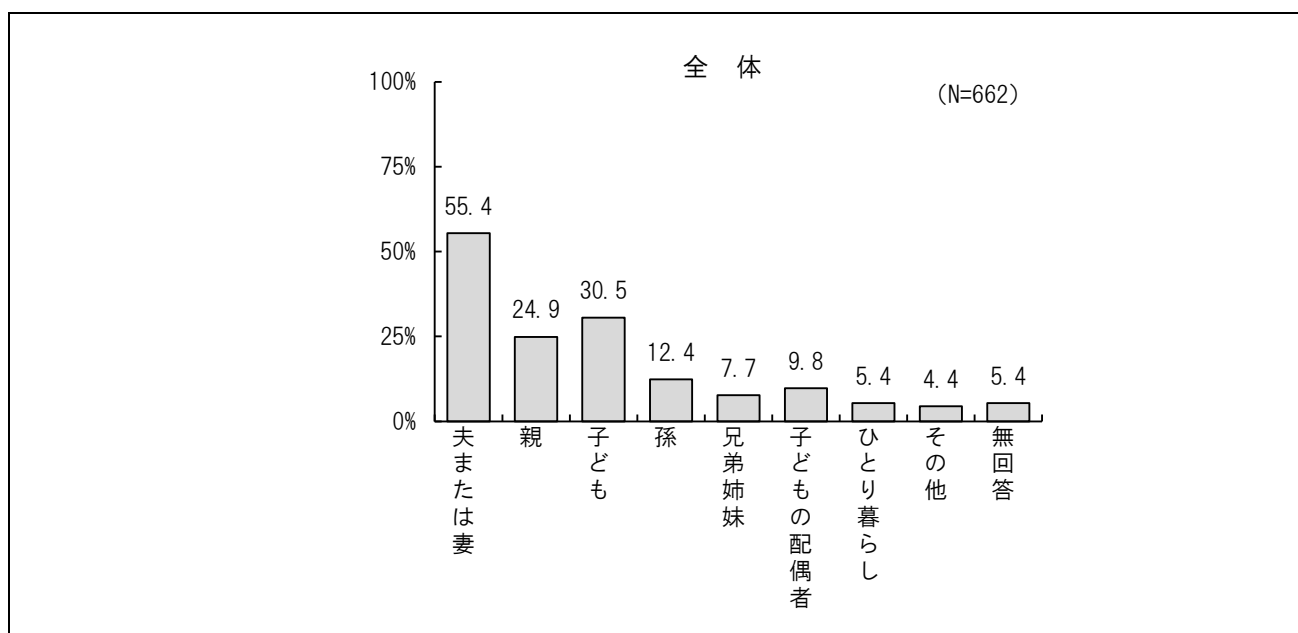
問5 あなたは、ご自身を含めて何人の方と同居していますか。入院・入所中の方は、入院・入所前のことについてお答えください。(〇は1つ)



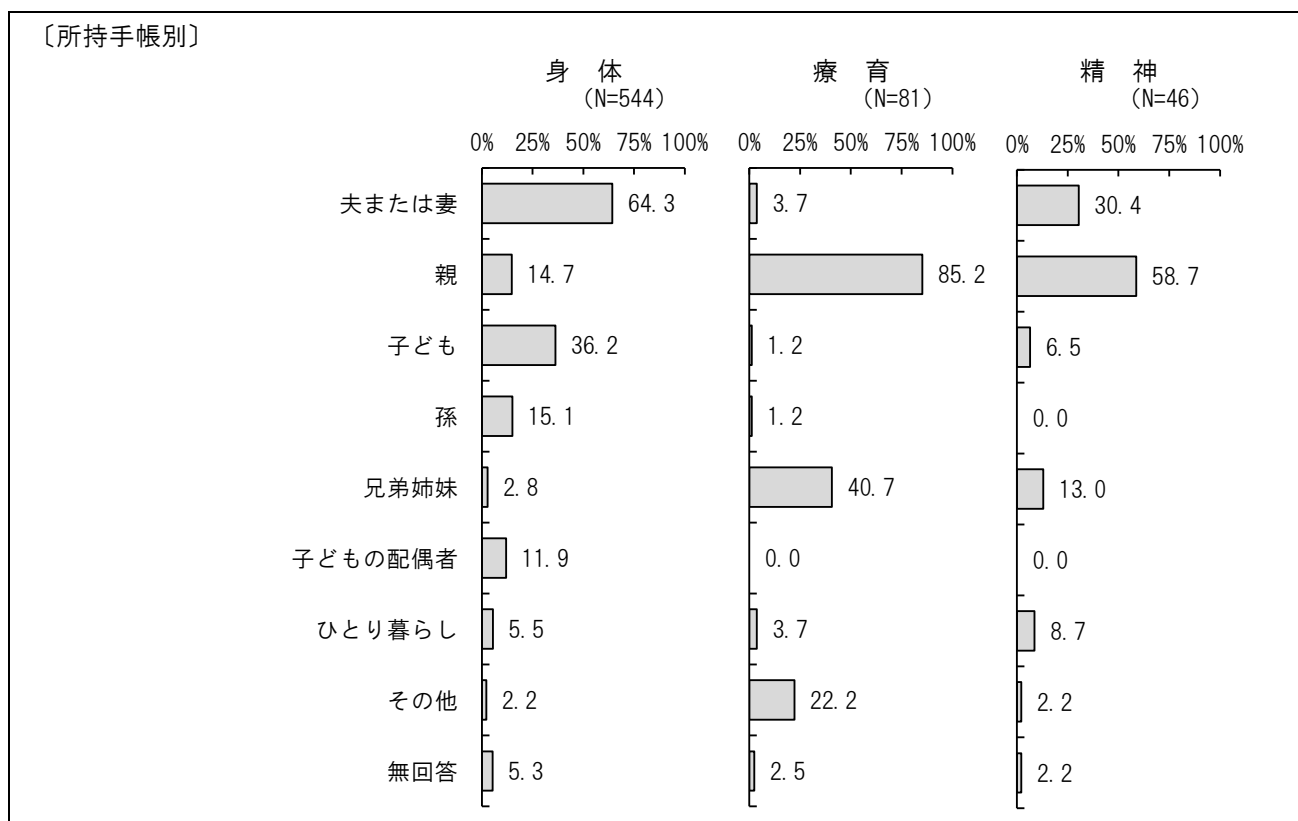
全体では「2人」が39.7%と最も多く、次いで「3人」が22.7%、「4人」が12.2%などとなっている。

身体・精神では「2人」(身体：43.6%、精神：41.3%)、療育では「3人」と「4人」(各30.9%)が最も多くなっている。

問6 同居している方はどなたですか。入院・入所中の方は、入院・入所前のことについてお答えください。(〇はあてはまるものすべて)

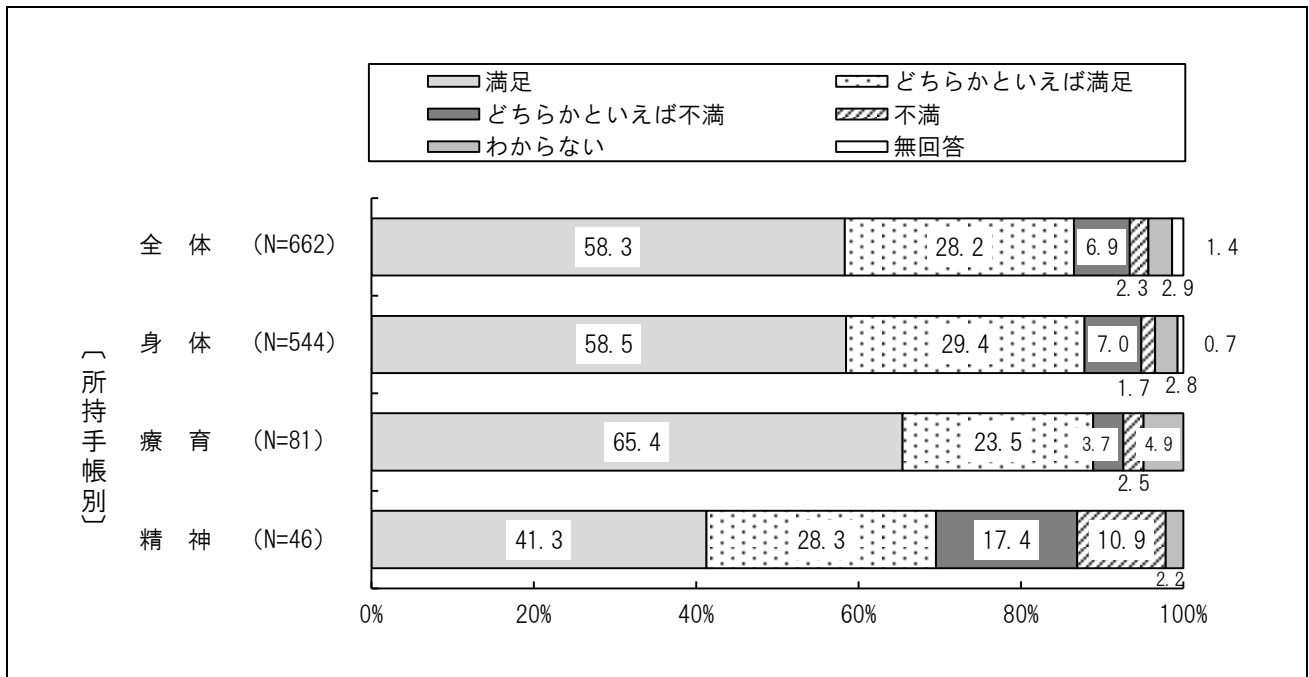


全体では「夫または妻」が55.4%と最も多く、次いで「子ども」が30.5%、「親」が24.9%などとなっている。



身体では「夫または妻」(64.3%)、療育・精神では「親」(療育：85.2%、精神：58.7%)が最も多くなっている。また、療育では「兄弟姉妹」(40.7%)、「その他」(22.2%)が多くなっている。

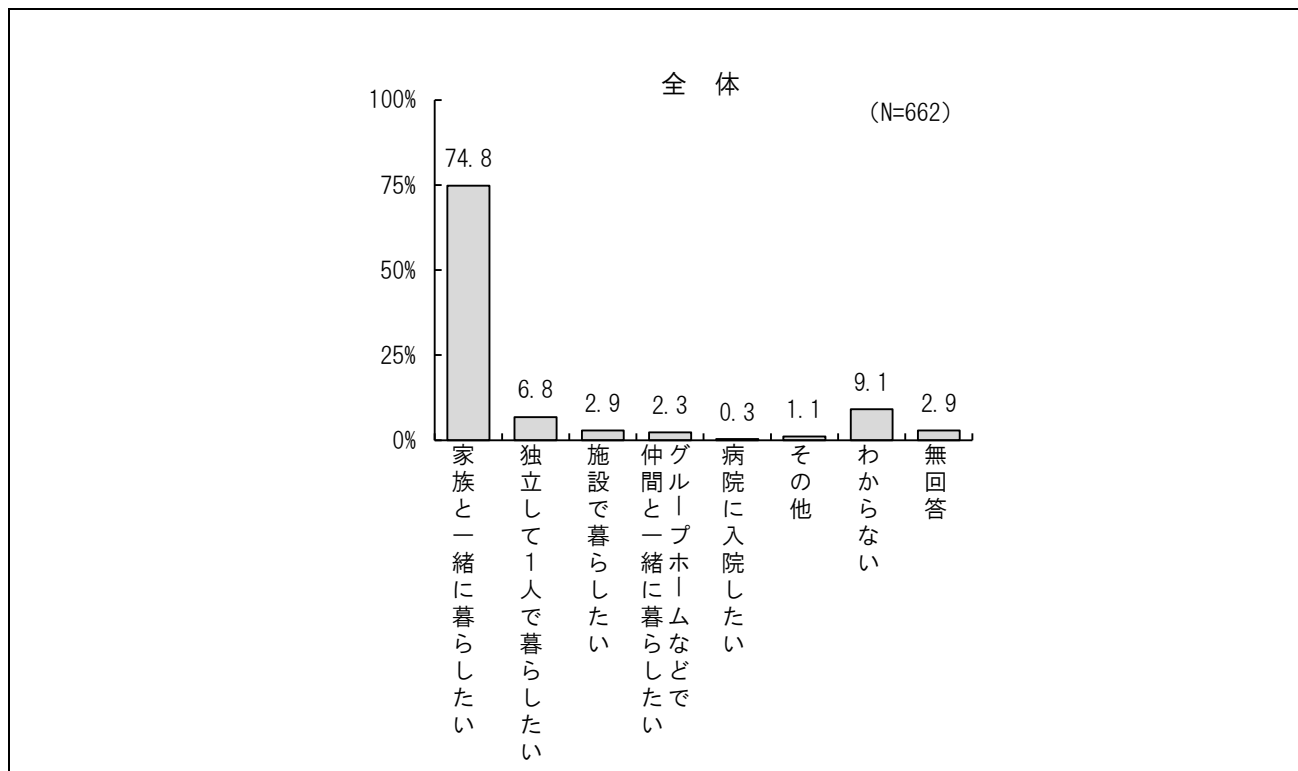
問7 現在のお住まい（自宅、施設など）に満足していますか。（〇は1つ）



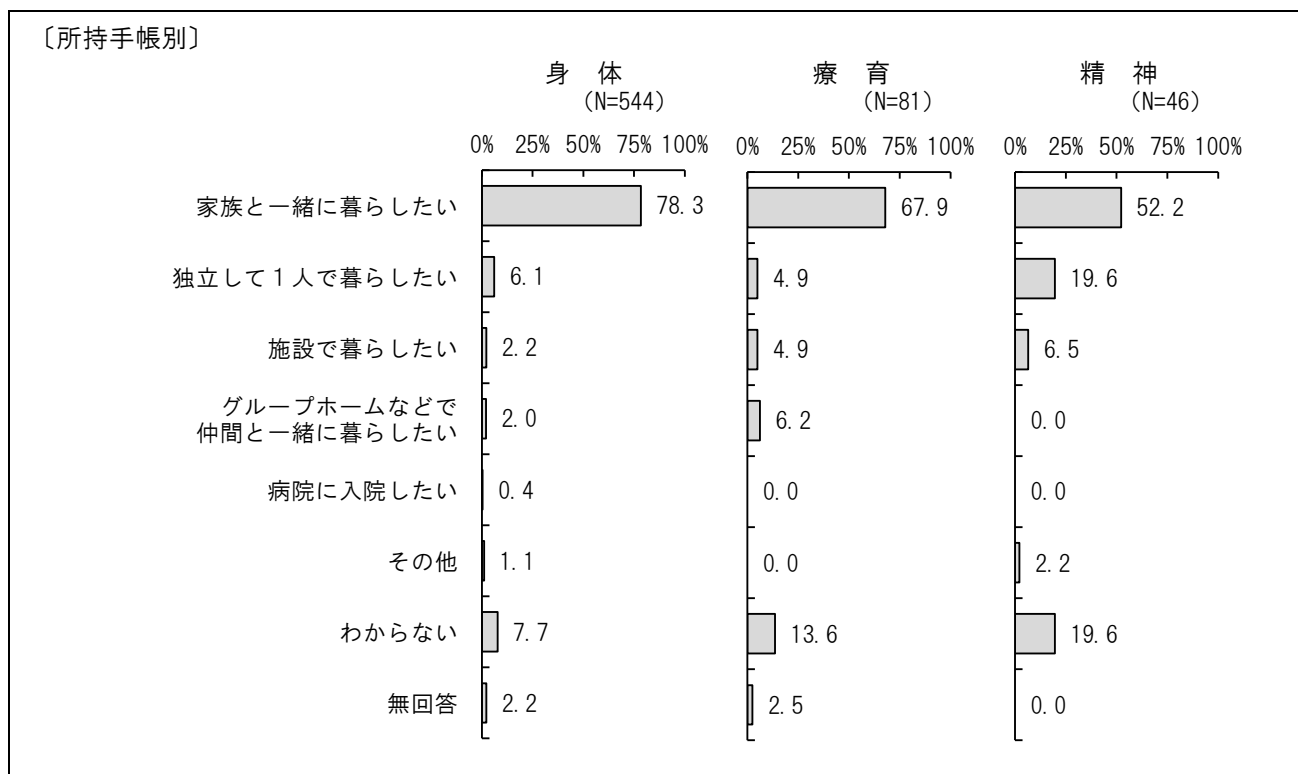
全体では「満足」が58.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足」が28.2%、「どちらかといえば不満」が6.9%などとなっている。また、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足』は86.5%、「どちらかといえば不満」と「不満」を合わせた『不満』は9.2%となっている。

いずれの手帳区分でも「満足」（身体：58.5%、療育：65.4%、精神：41.3%）が最も多くなっている。また、精神では「どちらかといえば不満」（17.4%）が多く、『不満』（28.3%）は所持手帳別で最も多くなっている。

問8 あなたは、今後どこで暮らしたいですか。(○は1つ)



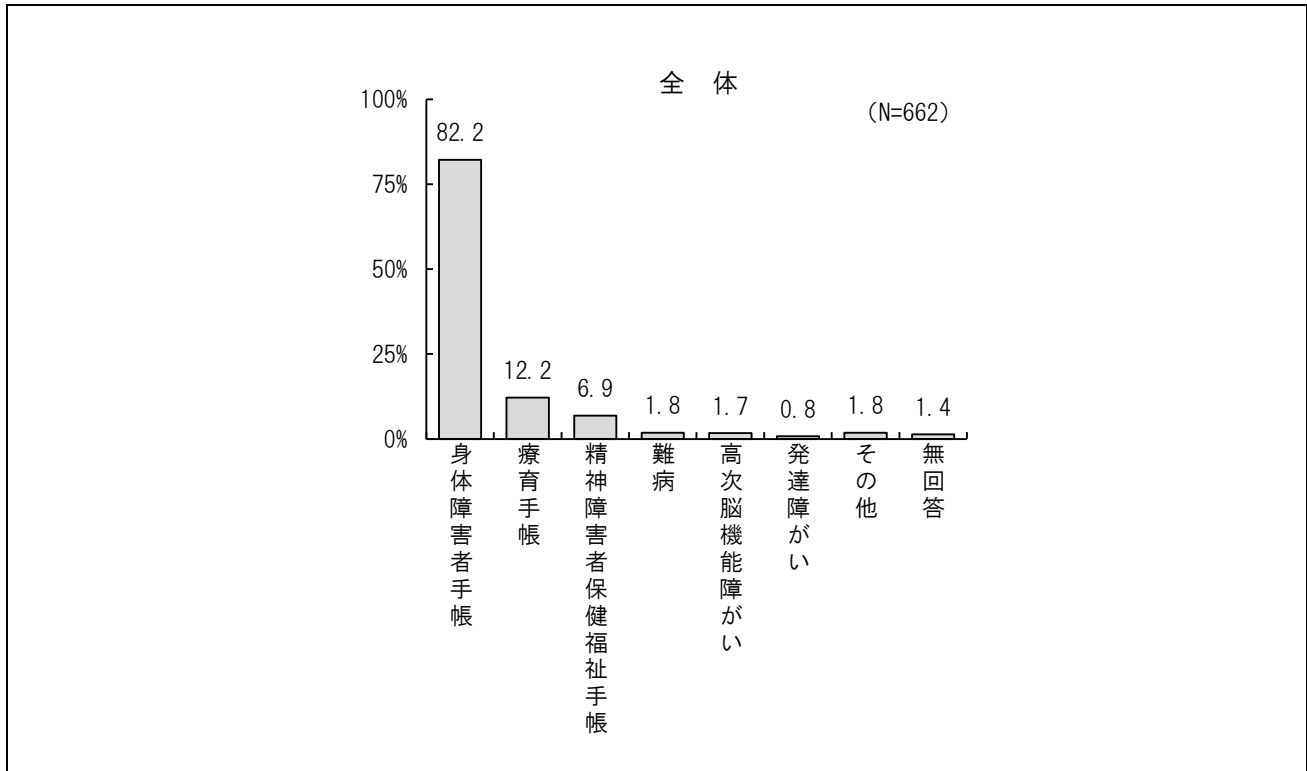
全体では「家族と一緒に暮らしたい」が74.8%と最も多く、次いで「わからない」が9.1%、「独立して1人で暮らしたい」が6.8%などとなっている。



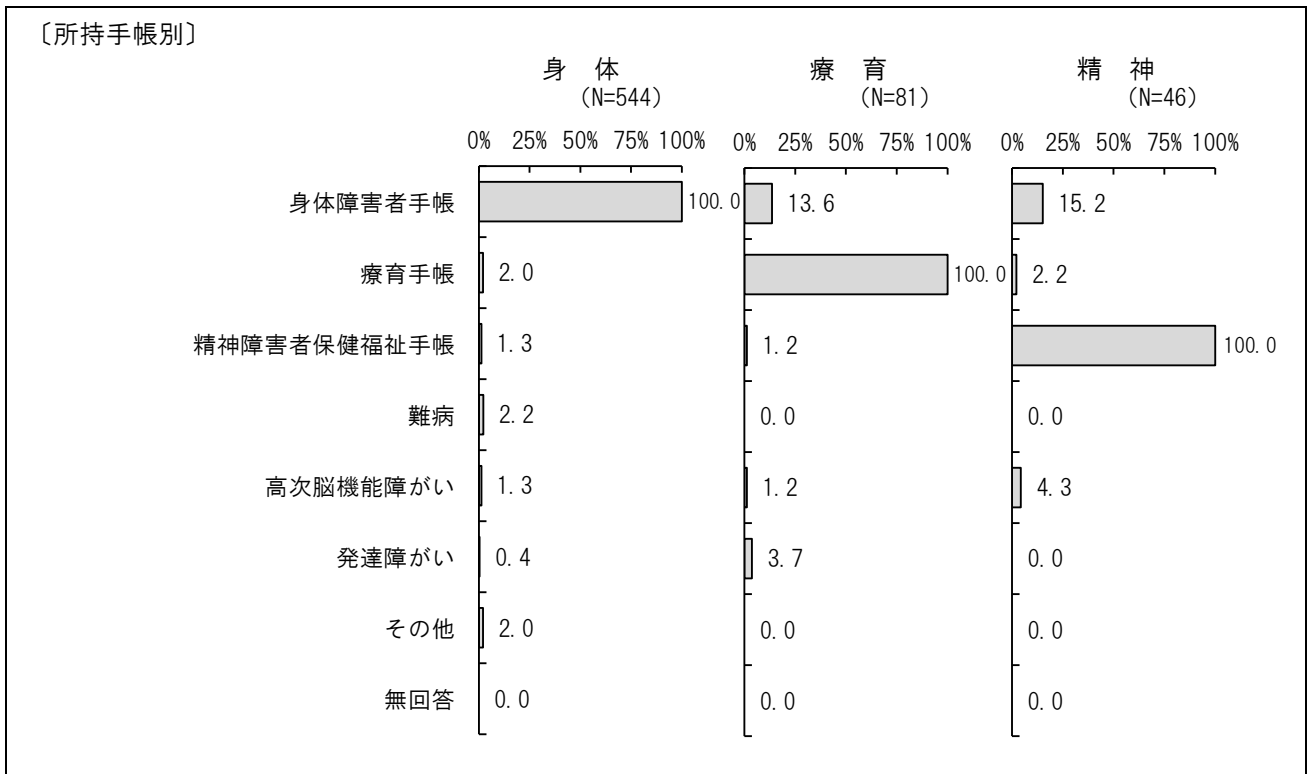
いずれの手帳区分でも「家族と一緒に暮らしたい」(身体:78.3%、療育:67.9%、精神:52.2%)が最も多くなっている。精神では「独立して1人で暮らしたい」と「わからない」(各19.6%)が多くなっている。

2 障がいの状態や要介護認定について

問9 あなたがお持ちの各種障害者手帳や障がいについてお答えください。また、各種障害者手帳をお持ちの方はそれぞれの障がいの等級についてもお答えください。(〇はあてはまるものすべて)



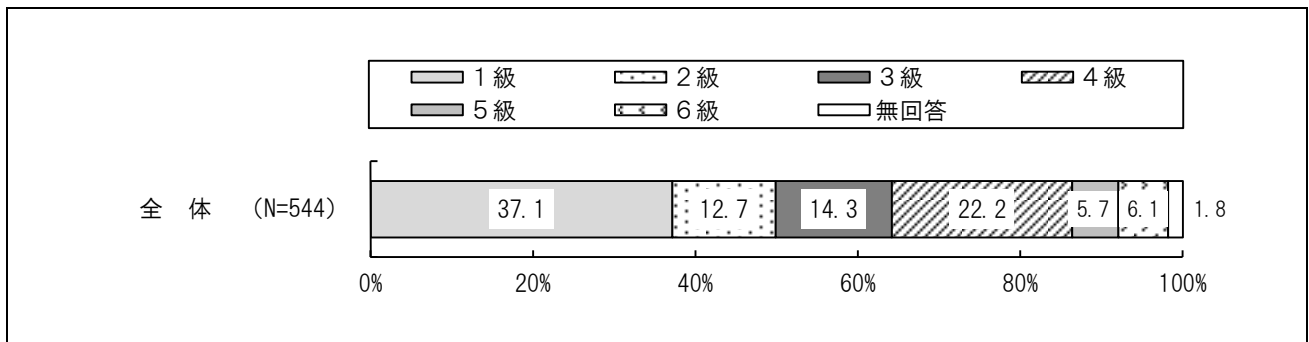
全体では「身体障害者手帳」が82.2%と最も多く、次いで「療育手帳」が12.2%、「精神障害者保健福祉手帳」が6.9%などとなっている。



身体では「身体障害者手帳」、療育では「療育手帳」、精神では「精神障害者保健福祉手帳」をそれぞれ100%所持しているほか、療育・精神では「身体障害者手帳」（療育：13.6%、精神：15.2%）も1割以上が所持している。

(問9①は、問9で「1 身体障害者手帳」に○をつけた方の手帳の等級。)

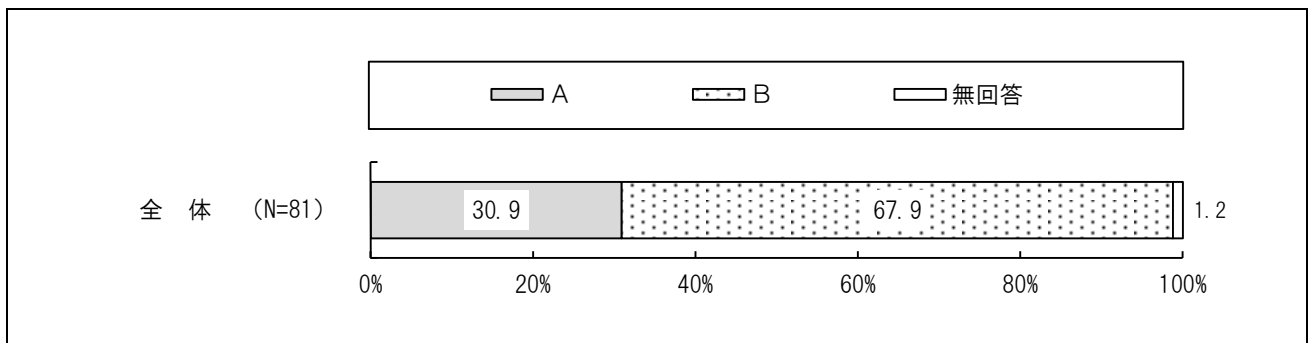
問9① 身体障害者手帳の等級



「1級」が37.1%と最も多く、次いで「4級」が22.2%、「3級」が14.3%などとなっている。

(問9②は、問9で「2 療育手帳」に○をつけた方の手帳の等級。)

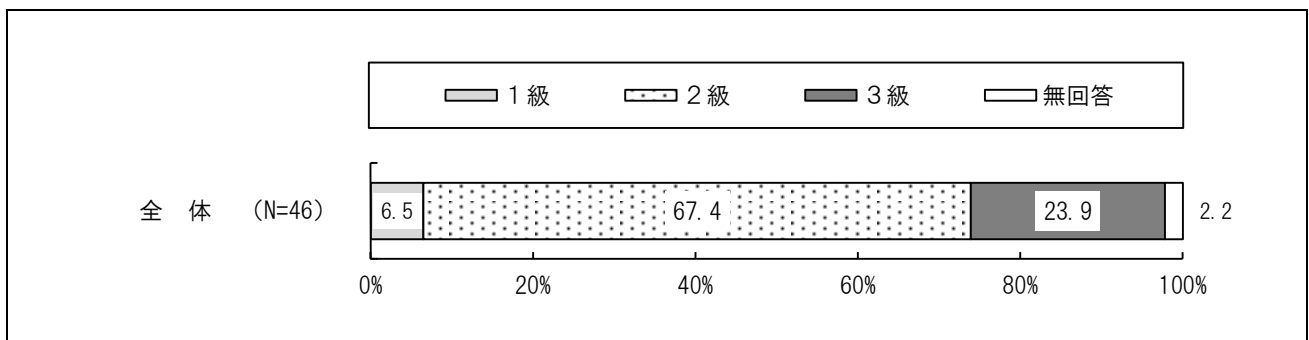
問9② 療育手帳の等級



「A」が30.9%「B」が67.9%となっている。

(問9③は、問9で「3 精神障害者保健福祉手帳」に○をつけた方の手帳の等級。)

問9③ 精神障害者保健福祉手帳の等級

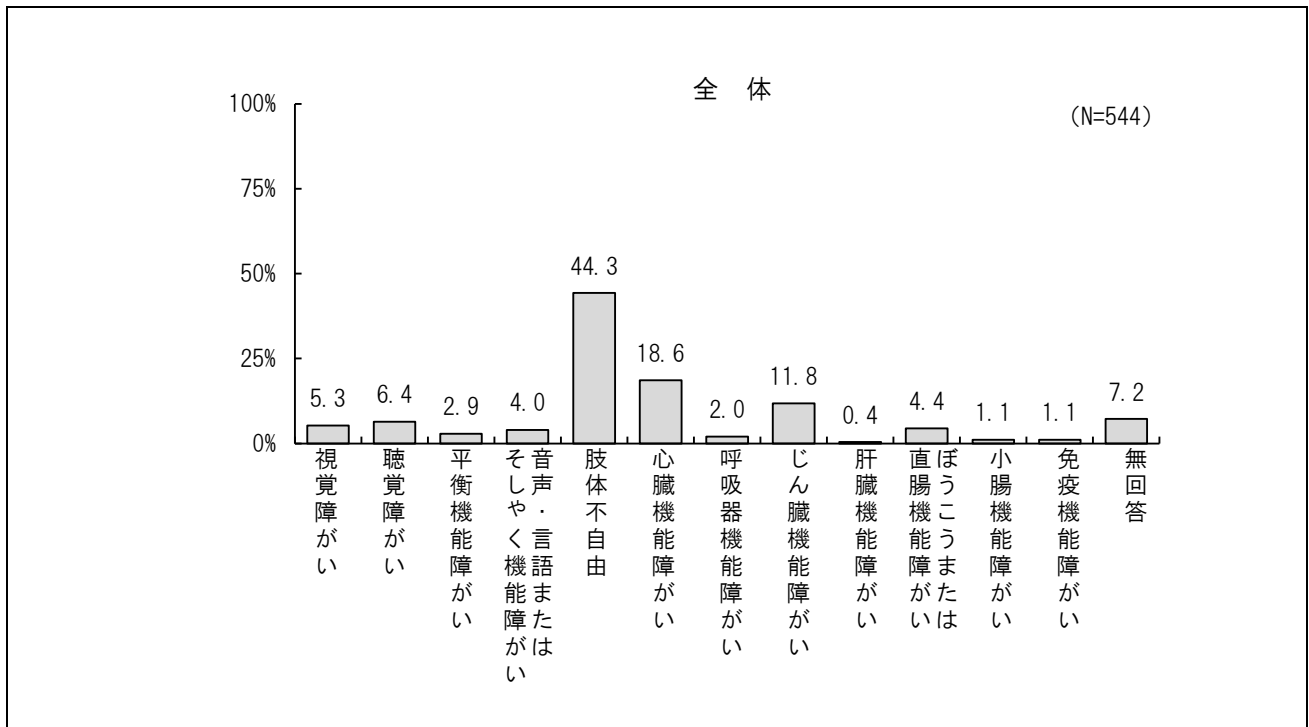


「2級」が67.4%と最も多く、次いで「3級」が23.9%、「1級」が6.5%となっている。

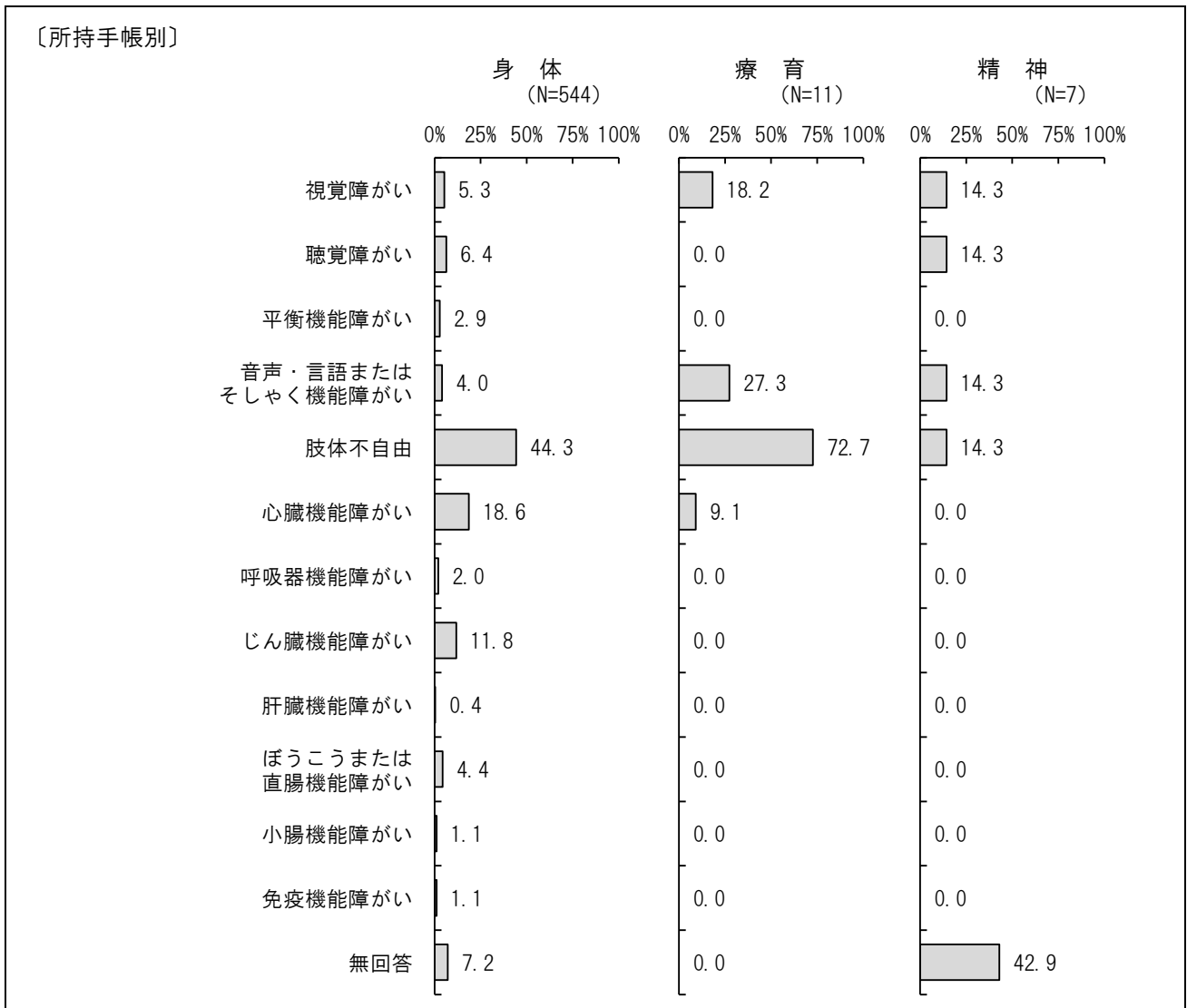
(問9-1は、問9で「1 身体障害者手帳」に○をつけた方のみお答えください。)

問9-1 あなたの身体障害者手帳に記載されている障がいの種類は次のどれですか。

(○はあてはまるものすべて)



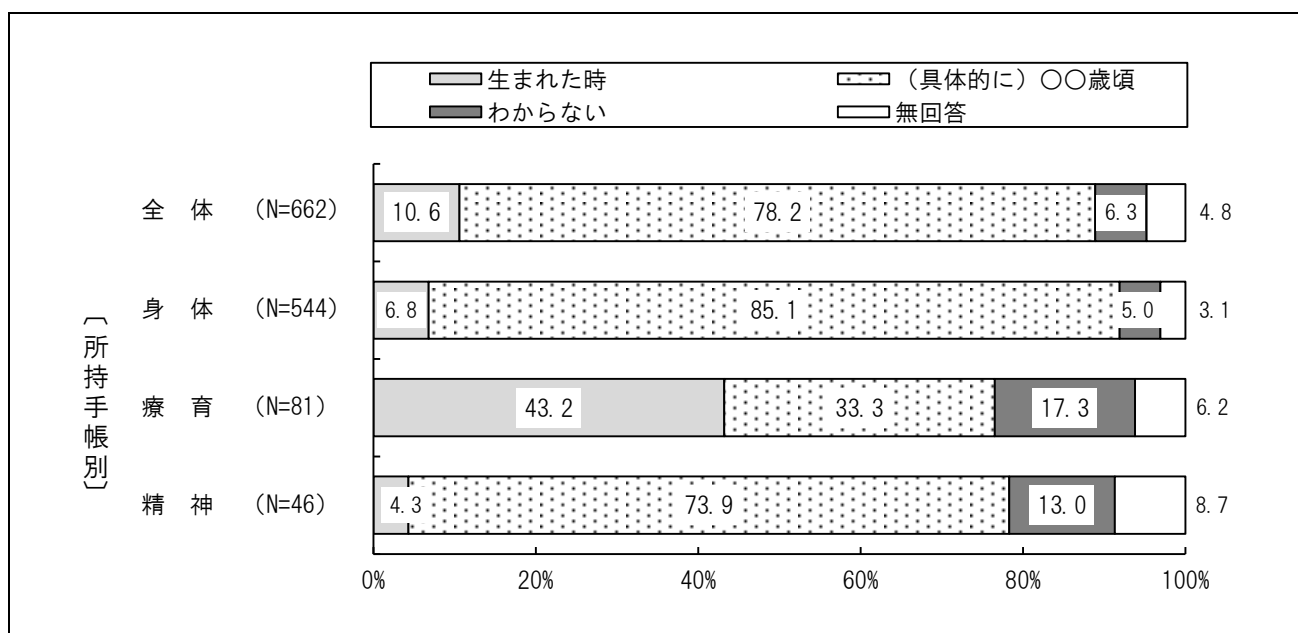
全体では「肢体不自由」が44.3%と最も多く、次いで「心臓機能障がい」が18.6%、「じん臓機能障がい」が11.8%などとなっている。



身体では「肢体不自由」(44.3%)が最も多く、次いで「心臓機能障がい」(18.6%)、「じん臓機能障がい」(11.8%)などとなっている。

(療育・精神は回答者数が少ないため、コメントは割愛する。)

問 10 あなたが現在の障がいの状態になったのはいつ頃ですか。(複数の障がいをお持ちの方は、最初の障がいの状態についてお答えください。)(○は1つ)

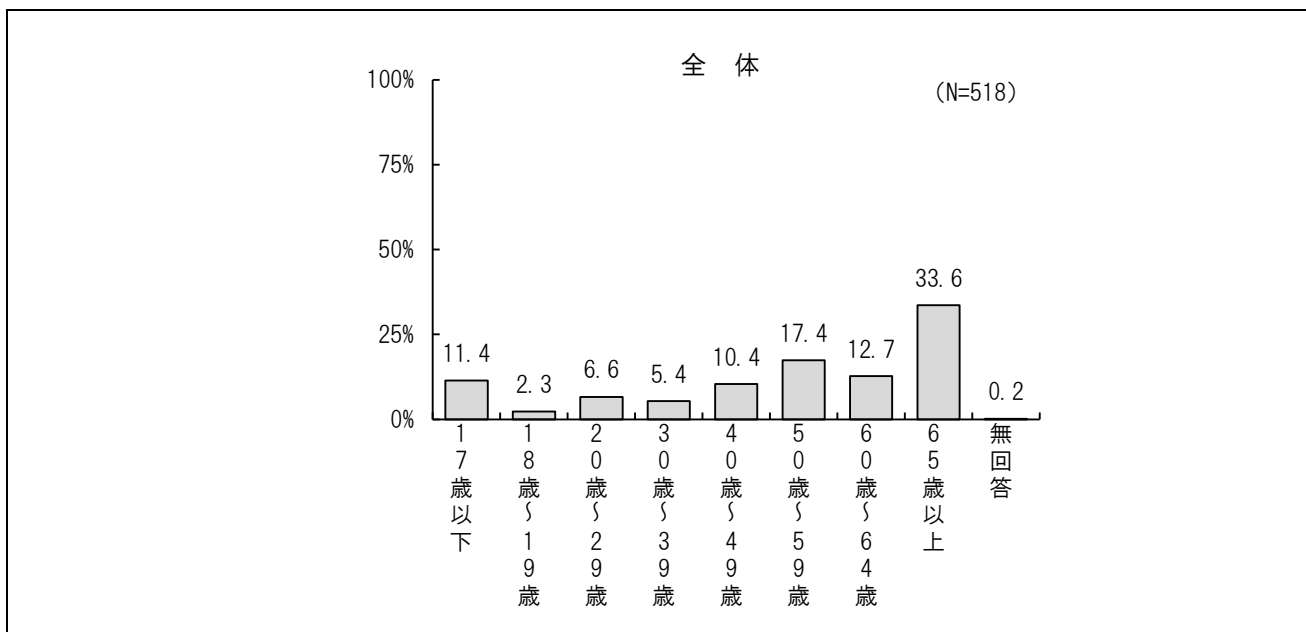


全体では「(具体的に) ○○歳頃」が 78.2%と最も多く、次いで「生まれた時」が 10.6%、「わからない」が 6.3%となっている。

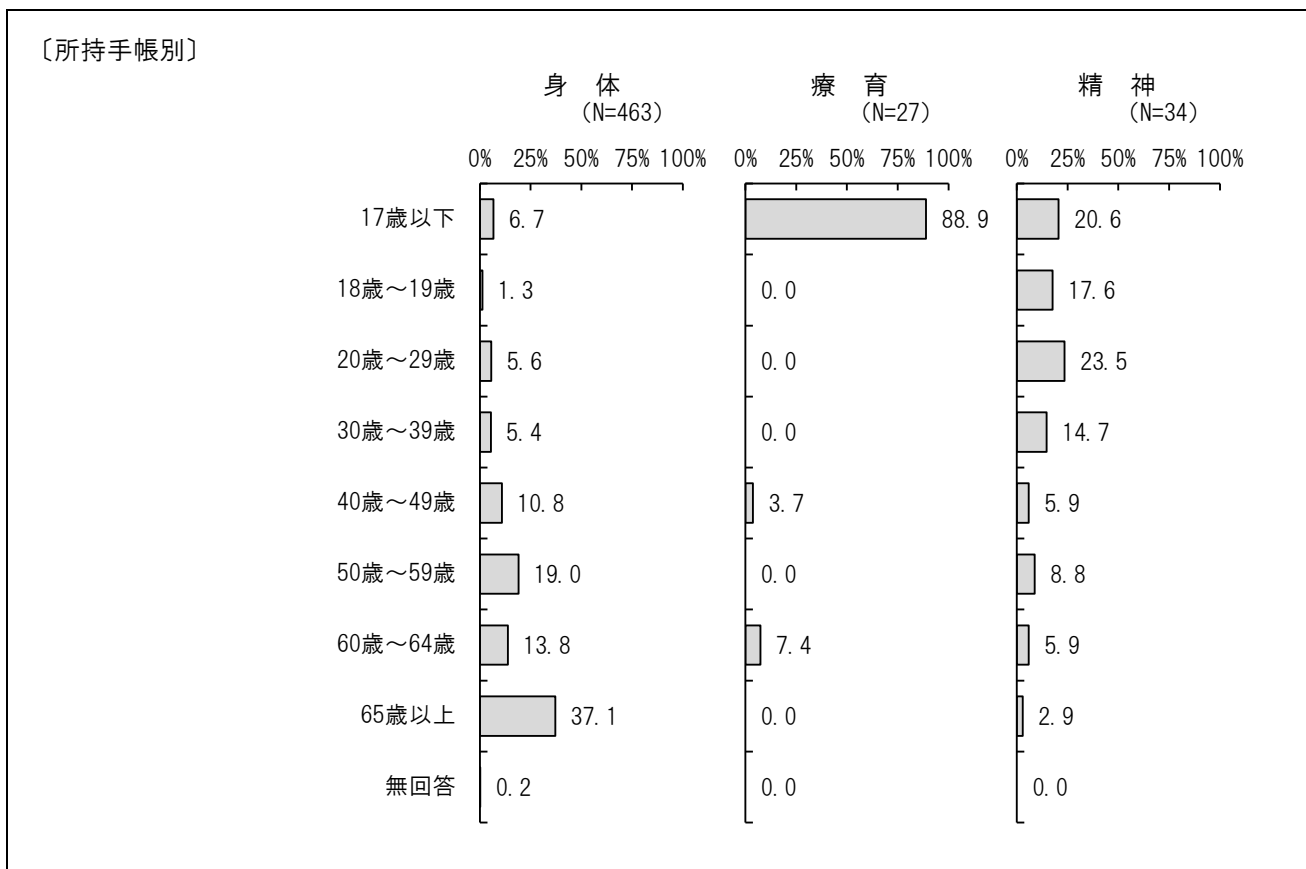
身体・精神では「(具体的に) ○○歳頃」(身体:85.1%、精神:73.9%)、療育では「生まれた時」(43.2%)が最も多くなっている。

(問 10②は、問 10で「2 (具体的に) ○○歳頃」に○をつけた方の具体的な年齢)

問 10② 現在の障がいの状態になった年齢

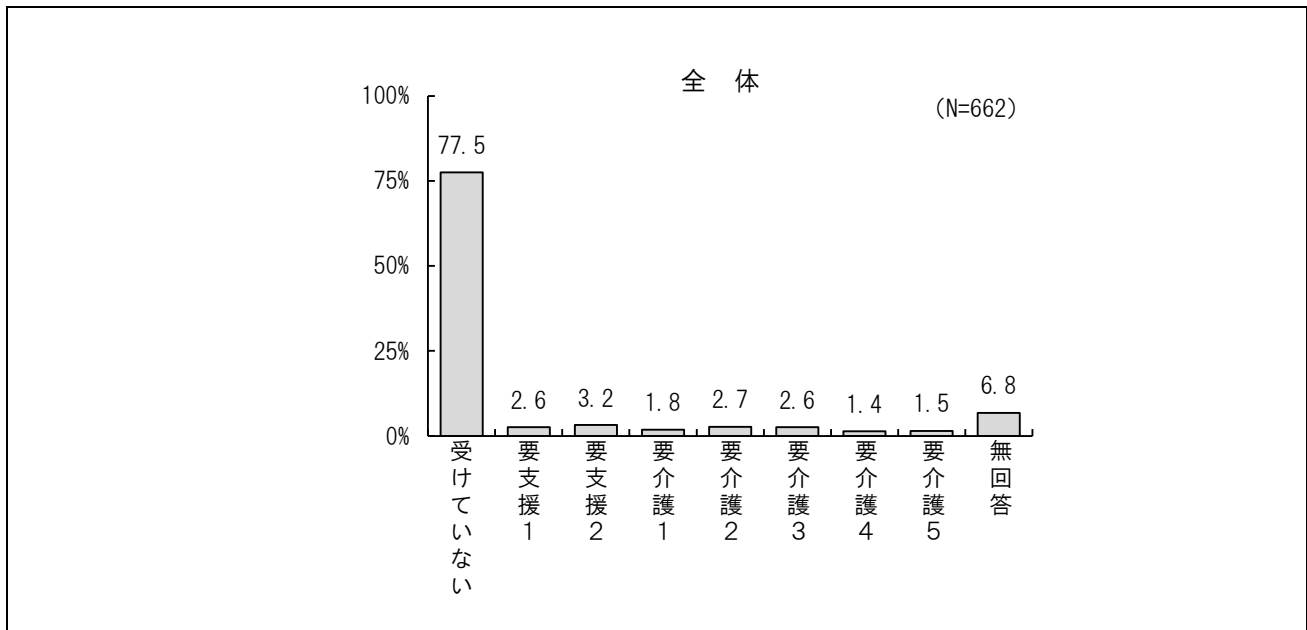


全体では「65歳以上」が33.6%と最も多く、次いで「50歳～59歳」が17.4%、「60歳～64歳」が12.7%などとなっている。

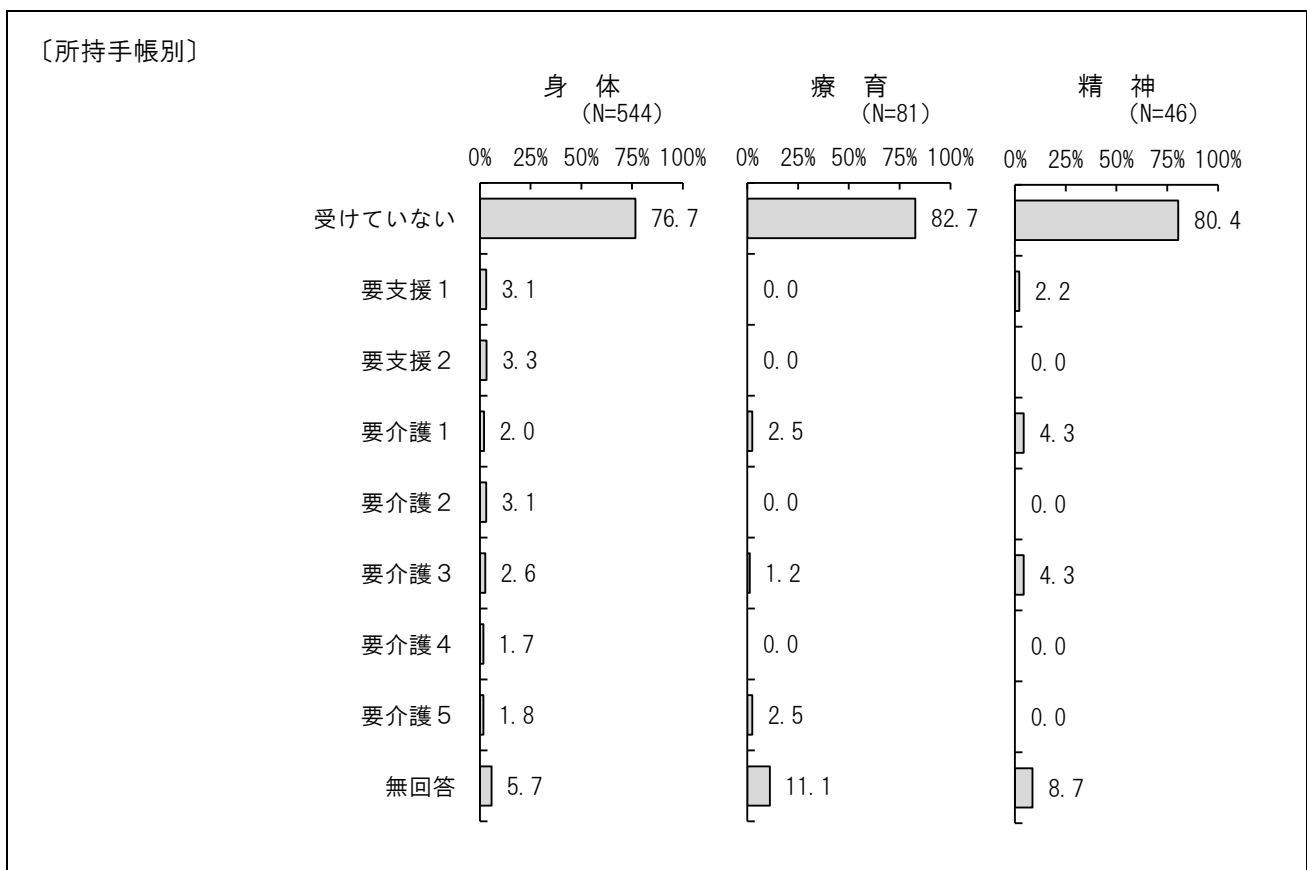


身体では「65歳以上」(37.1%)、療育では「17歳以下」(88.9%)、精神では「20歳～29歳」(23.5%)が最も多くなっている。また、精神では「18歳～19歳」(17.6%)が多くなっている。

問11 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。(○は1つ)



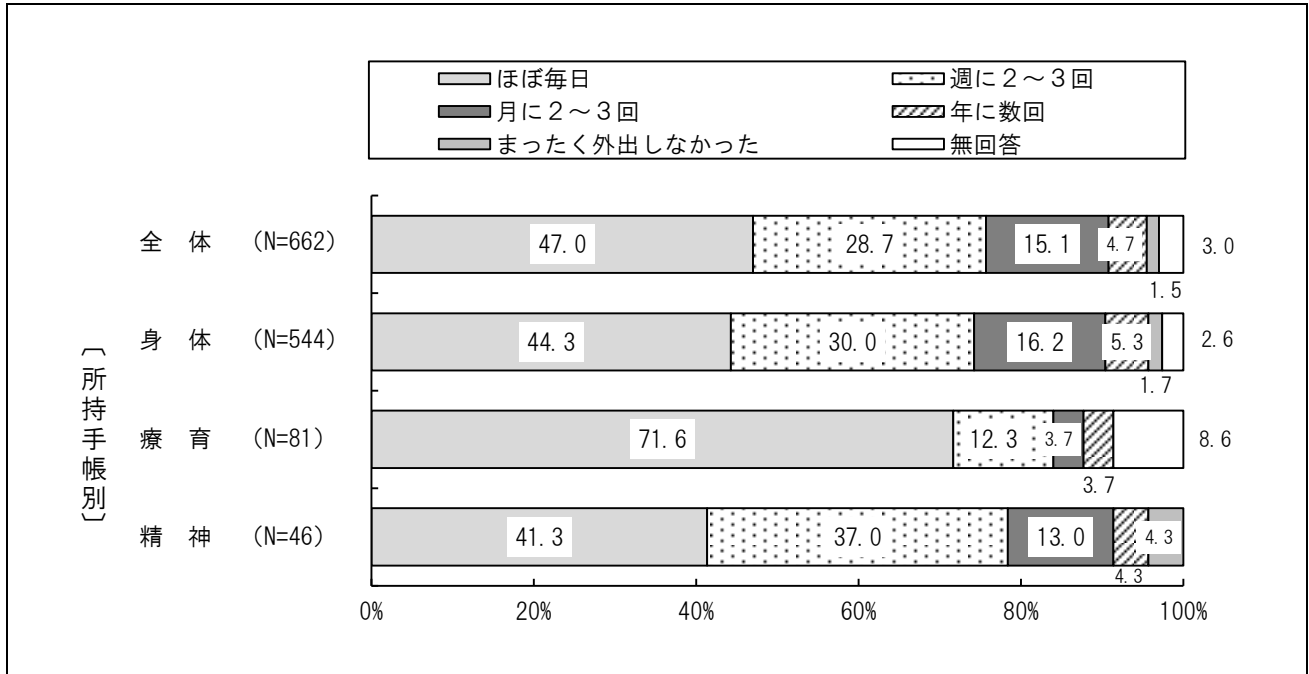
全体では「受けていない」が77.5%と最も多く、次いで「要支援2」が3.2%、「要介護2」が2.7%などとなっている。



いずれの手帳区分でも「受けていない」(身体:76.7%、療育:82.7%、精神:80.4%)が最も多くなっており、所持手帳別の差はあまり見られない。

3 日常生活について

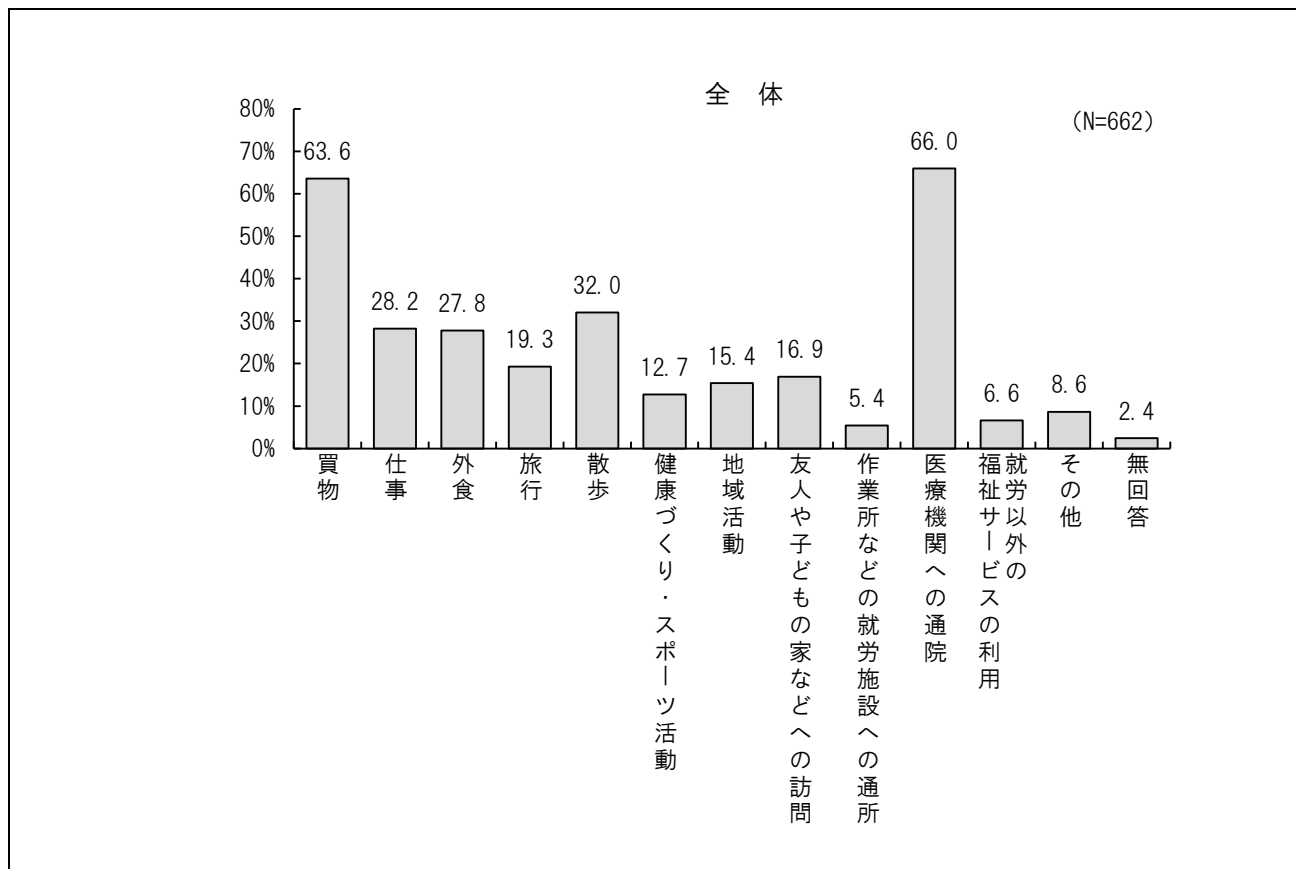
問 12 あなたは、過去1年間にどれくらい外出しましたか。(〇は1つ)



全体では「ほぼ毎日」が47.0%と最も多く、次いで「週に2~3回」が28.7%、「月に2~3回」が15.1%などとなっている。

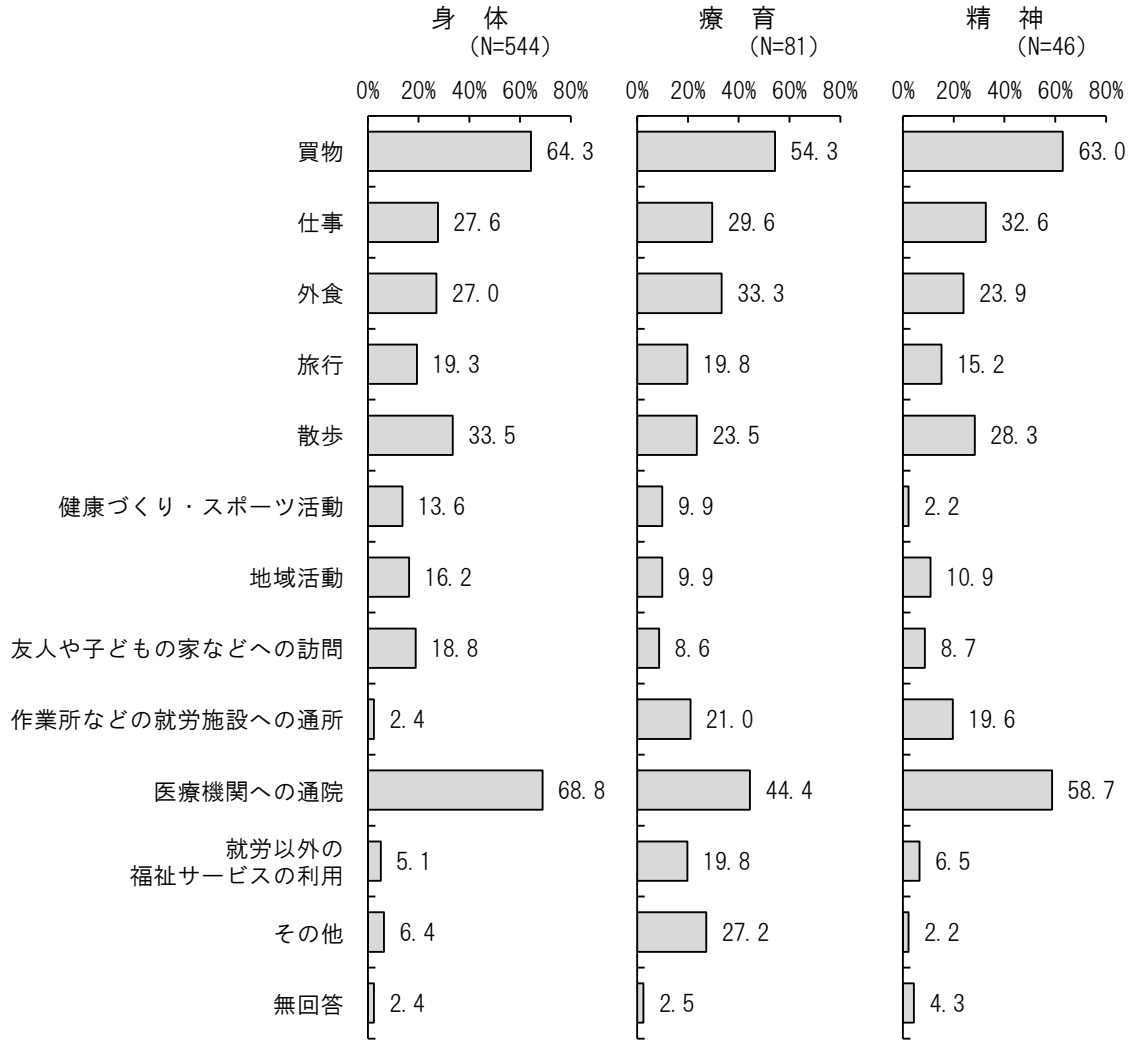
身体・精神では「ほぼ毎日」(身体：44.3%、精神：41.3%)、療育では「ほぼ毎日」(71.6%)が最も多くなっている。

問13 あなたは何のために外出しますか。(〇はあてはまるものすべて)



全体では「医療機関への通院」が66.0%と最も多く、次いで「買い物」が63.6%、「散歩」が32.0%などとなっている。

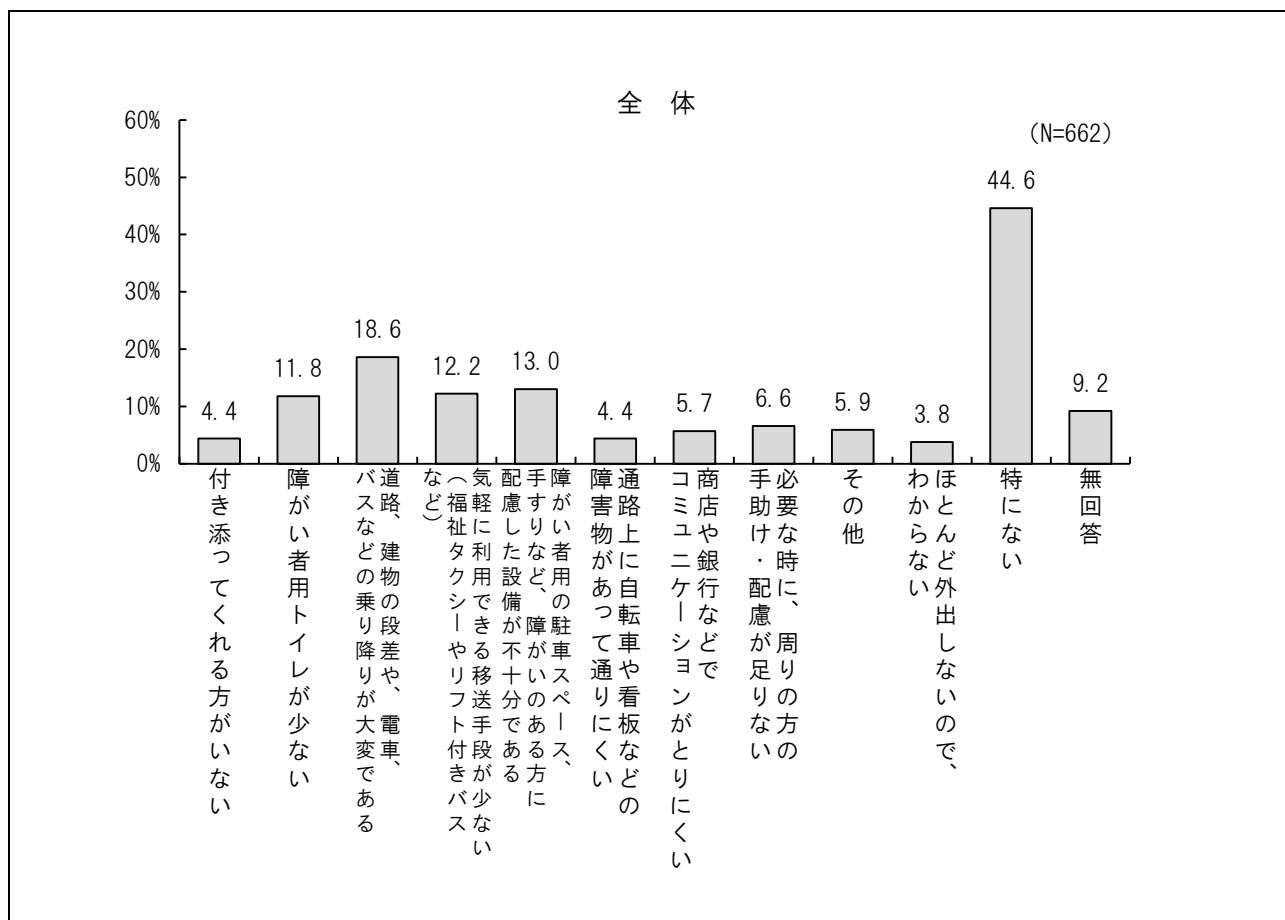
〔所持手帳別〕



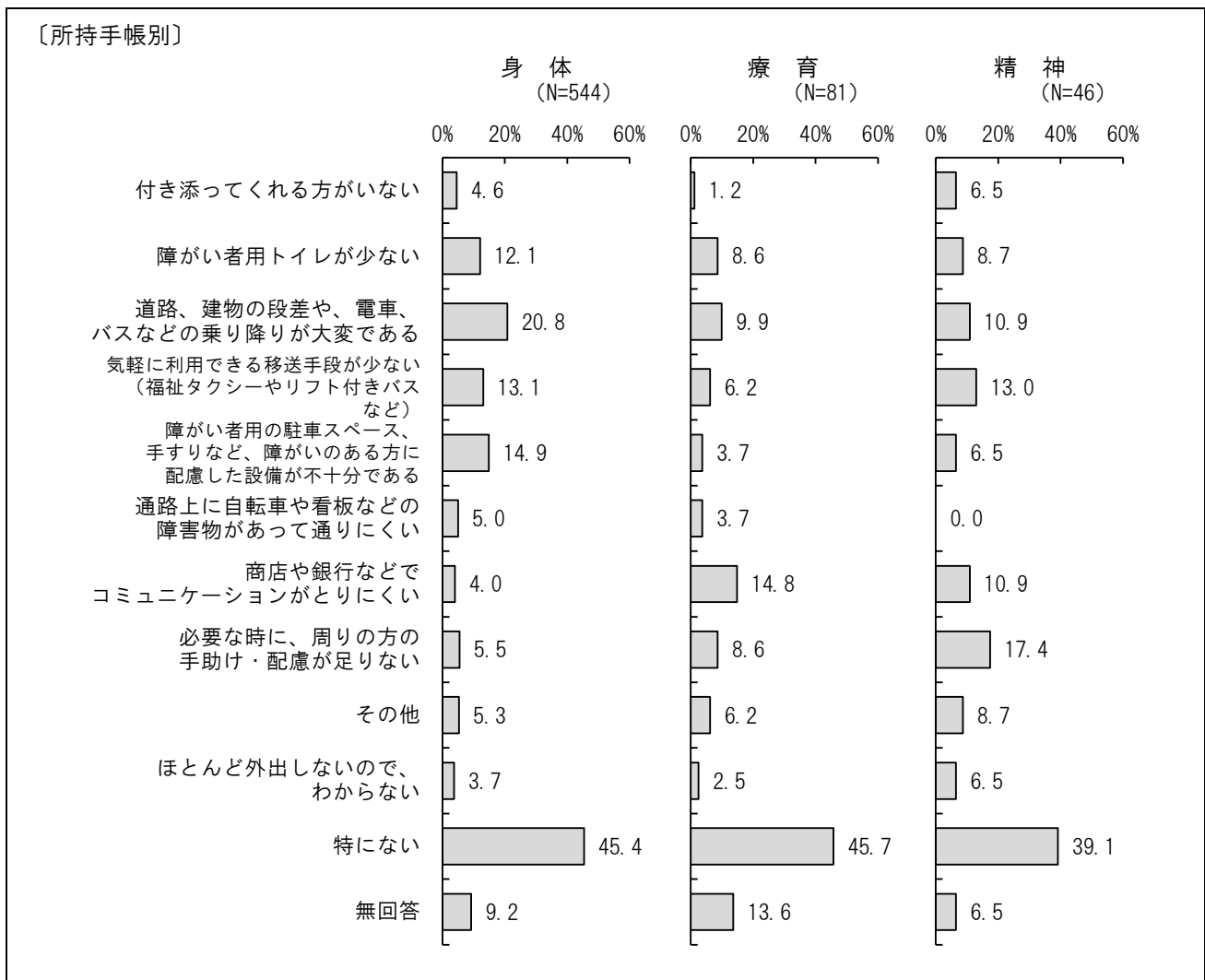
身体では「医療機関への通院」(68.8%)、療育・精神では「買物」(療育：54.3%、精神：63.0%)が最も多くなっている。また、療育では「作業所などの就労施設への通所」(21.0%)、「就労以外の福祉サービスの利用」(19.8%)、「その他」(27.2%)、精神では「作業所などの就労施設への通所」(19.6%)が多くなっている。

問 14 外出の際に、伊豆市内で困ったり、不便に感じたりすることは何ですか。

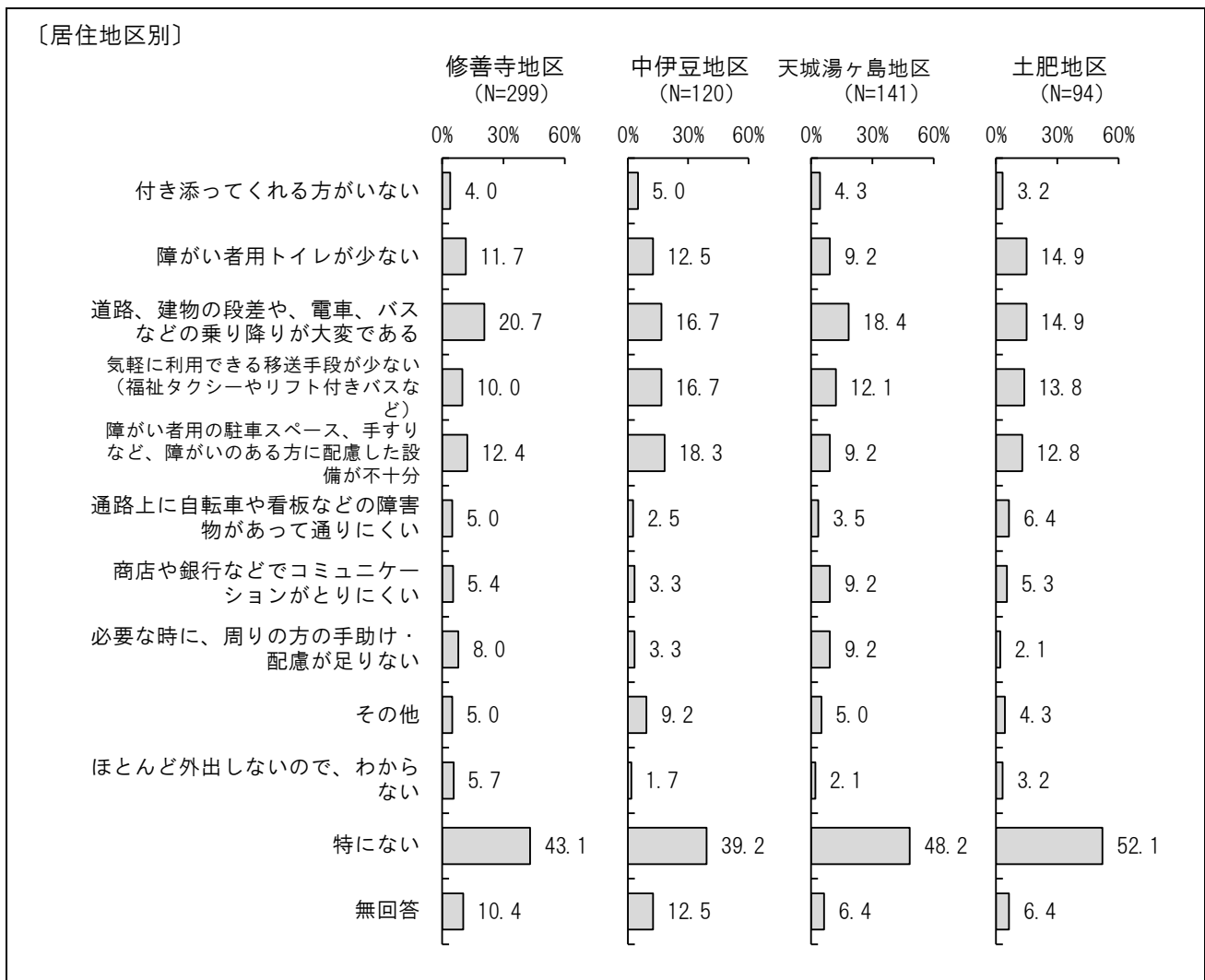
(○はあてはまるものすべて)



全体では「特にない」が 44.6%と最も多く、次いで「道路、建物の段差や、電車、バスなどの乗り降りが大変である」が 18.6%、「障がい者用の駐車スペース、手すりなど、障がいのある方に配慮した設備が不十分である」が 13.0%などとなっている。

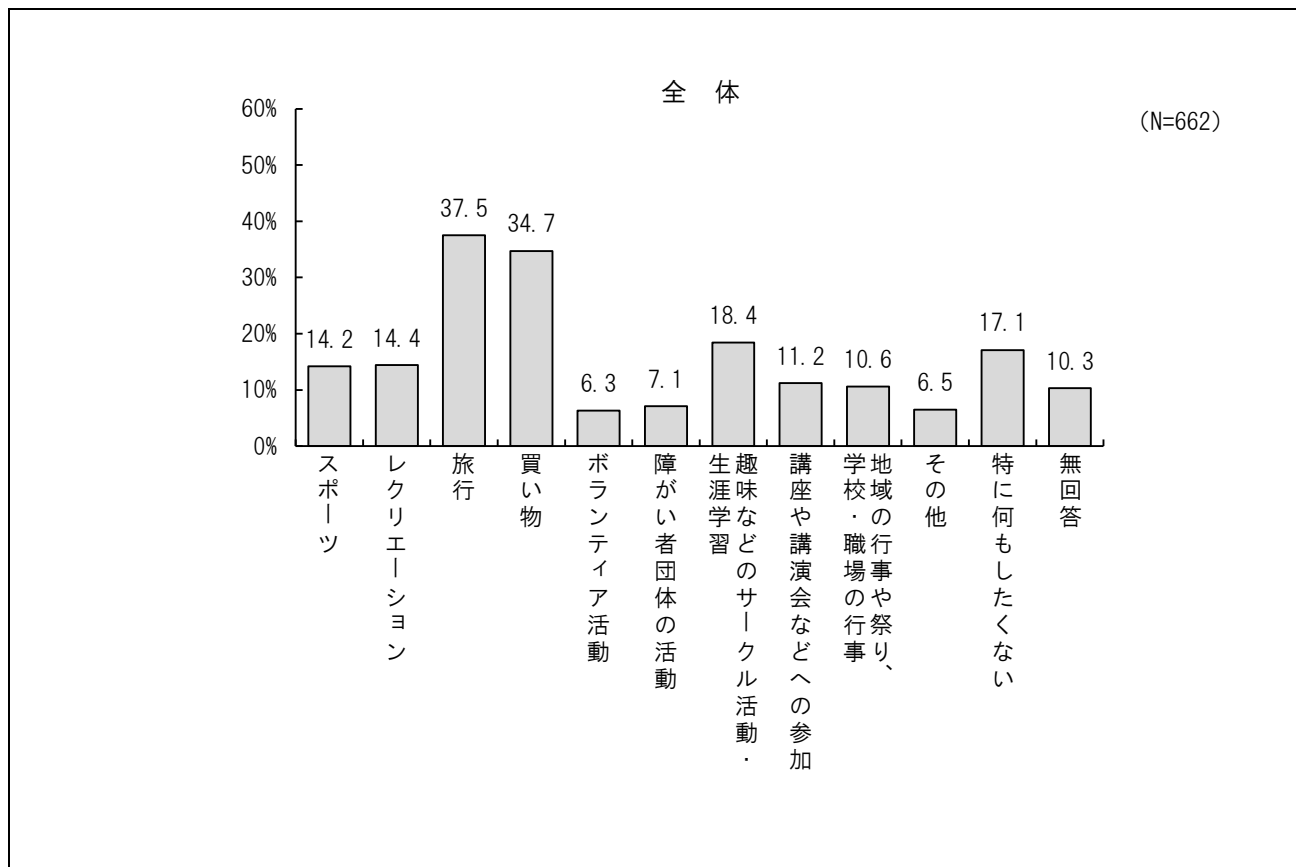


いずれの手帳区分でも「特にない」(身体：45.4%、療育：45.7%、精神：39.1%)が最も多くなっている。「特にない」を除いた結果では、身体では「道路、建物の段差や、電車、バスなどの乗り降りが大変である」(20.8%)、療育では「商店や銀行でコミュニケーションがとりにくい」(14.8%)、精神では「必要な時に、周りの方の手助け・配慮が足りない」(17.4%)が最も多くなっている。



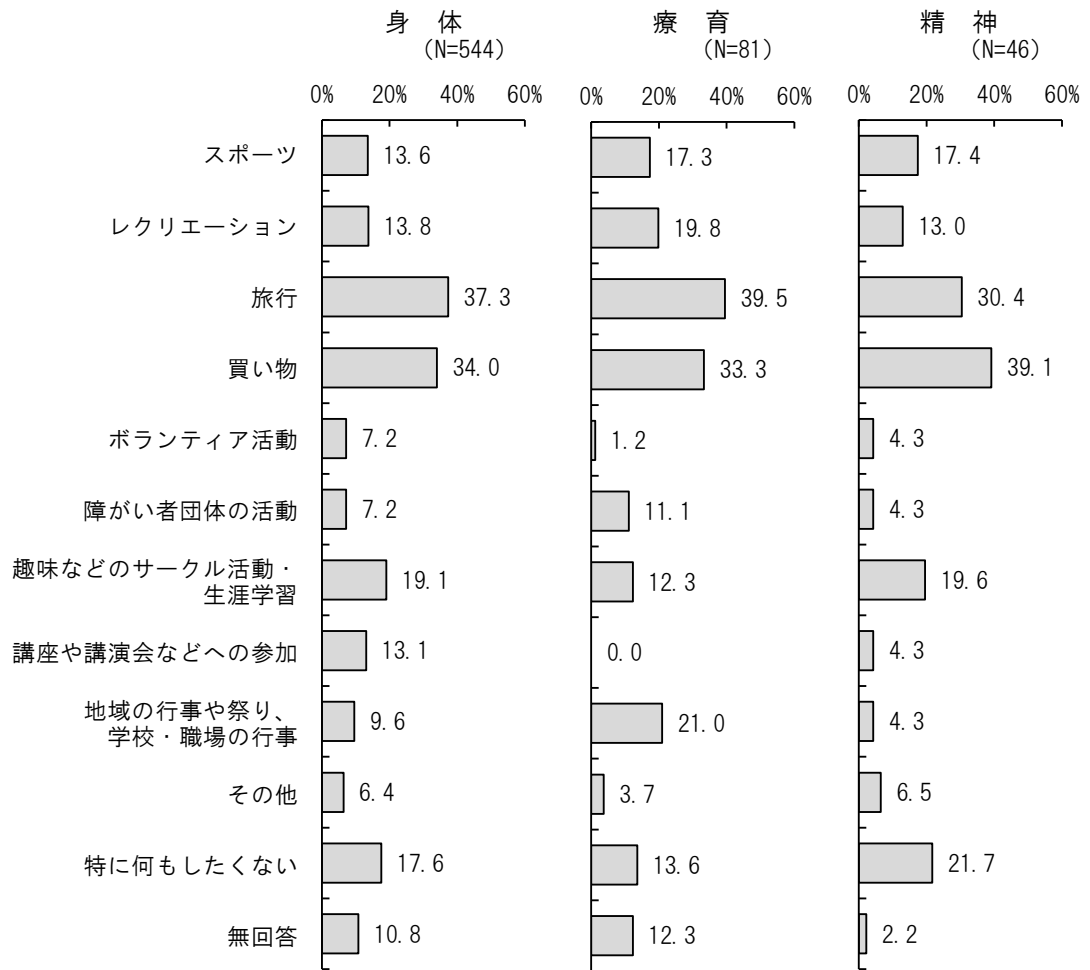
いずれの地区でも「特にない」（修善寺地区：43.1%、中伊豆地区：39.2%、天城湯ヶ島地区：48.2%、土肥地区：52.1%）が最も多くなっている。「特にない」を除いた結果では、修善寺地区・天城湯ヶ島地区では「道路、建物の段差や、電車、バスなどの乗り降りが大変である」（修善寺地区：20.7%、天城湯ヶ島地区：18.4%）、中伊豆地区では「障がい者用の駐車スペース、手すりなど、障がいのある方に配慮した設備が不十分である」（18.4%）、土肥地区では「障がい者用トイレが少ない」と「道路、建物の段差や、電車、バスなどの乗り降りが大変である」（各14.9%）が最も多くなっている。

問 15 あなたは、今後どのような活動をしたと思いますか。(〇はあてはまるものすべて)



全体では「旅行」が37.5%と最も多く、次いで「買い物」が34.7%、「趣味などのサークル活動・生涯学習」が18.4%などとなっている。

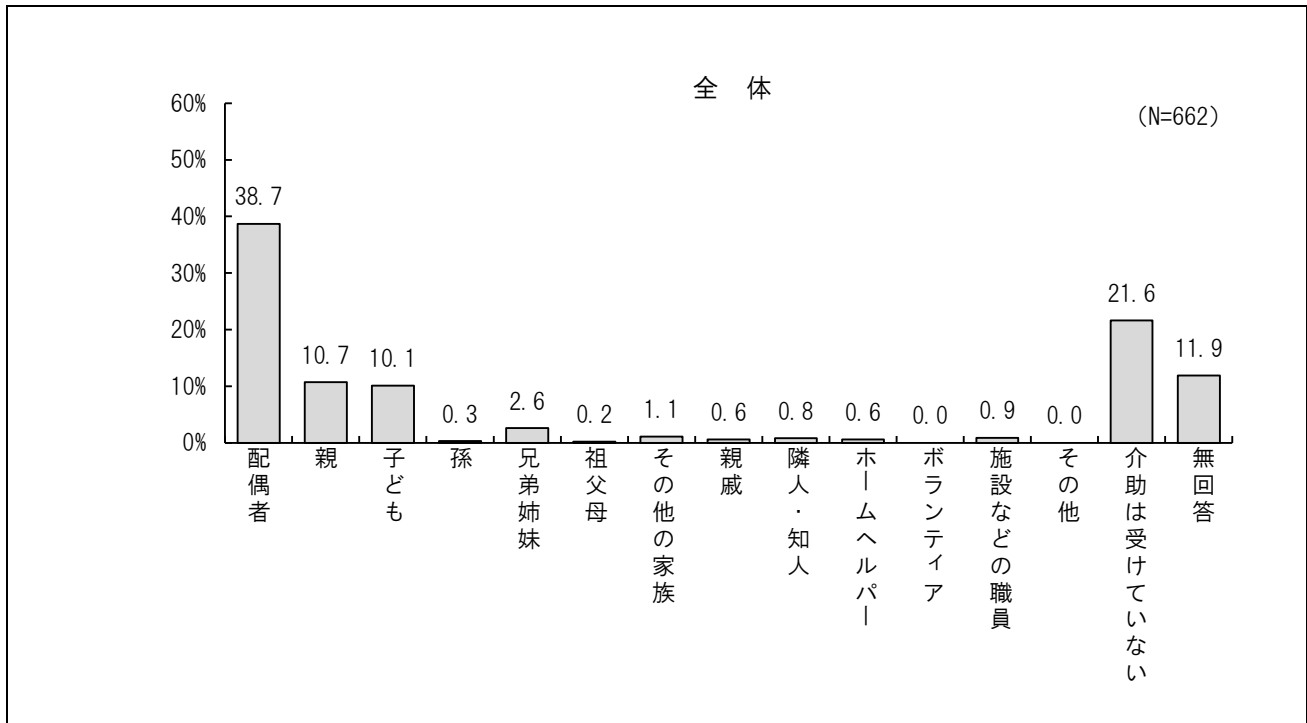
〔所持手帳別〕



身体・療育では「旅行」（身体：37.3%、療育：39.5%）、精神では「買い物」（39.1%）が最も多くなっている。また、療育では「地域の行事や祭り、学校・職場の行事」（21.0%）が多くなっている。

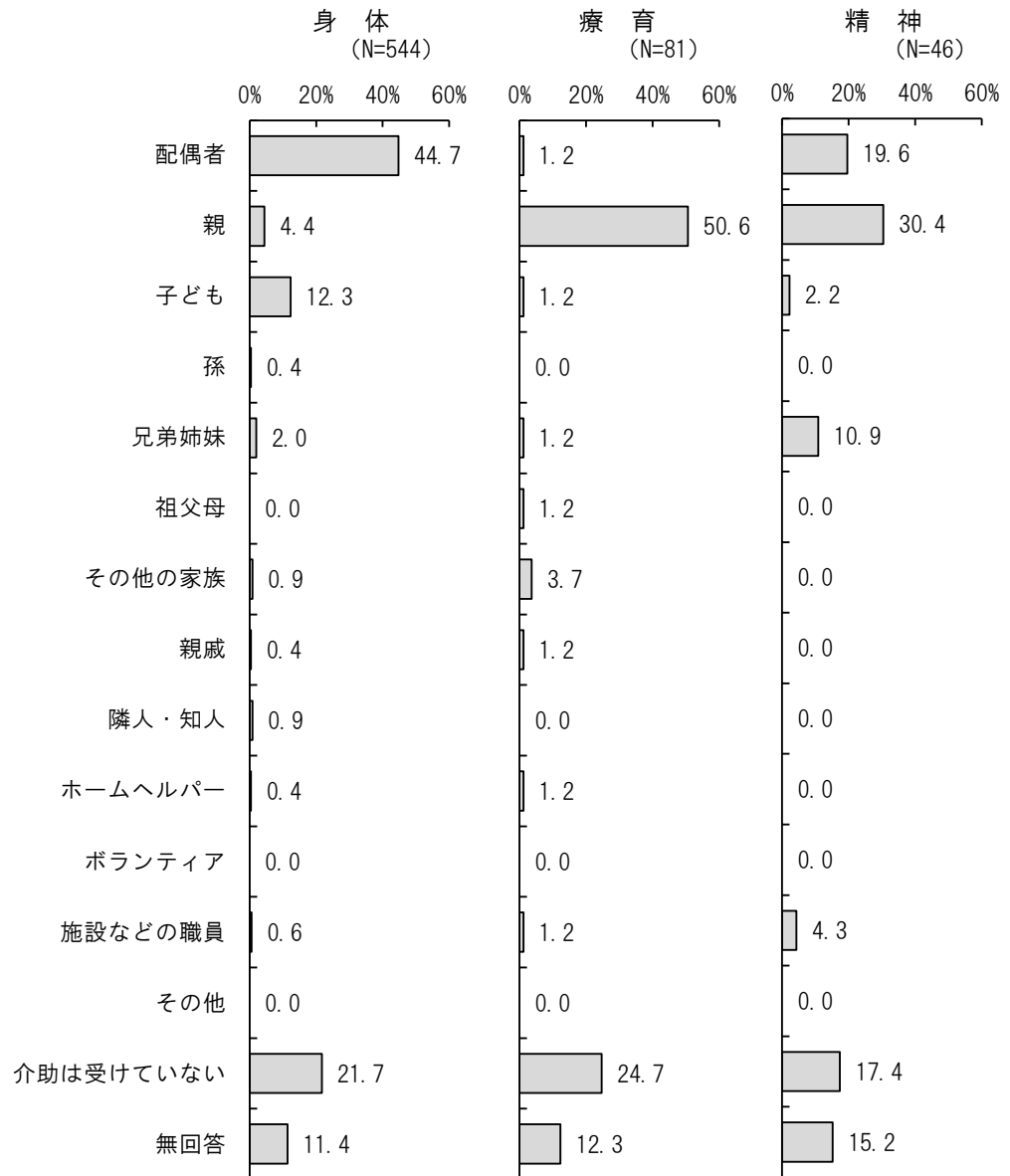
4 介助者について

問 16 日常あなたを主に介助してくれる方を1人お答えください。(○は1つ)



全体では「配偶者」が38.7%と最も多く、次いで「介助は受けていない」が21.6%、「親」が10.7%などとなっている。

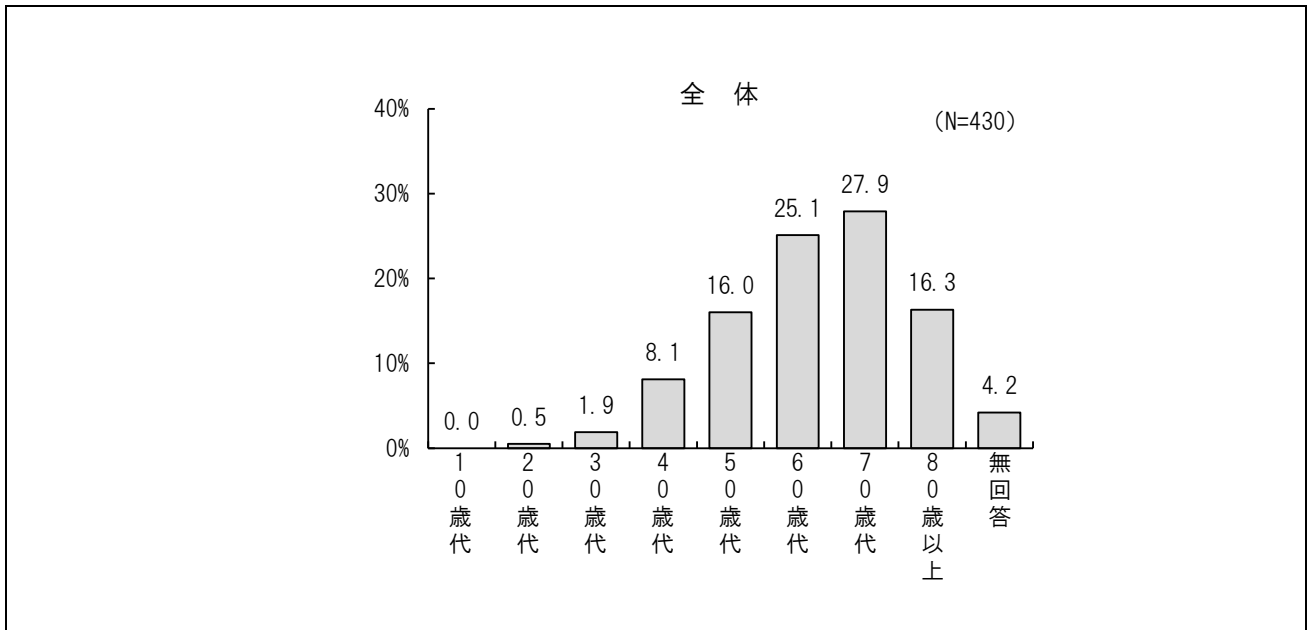
〔所持手帳別〕



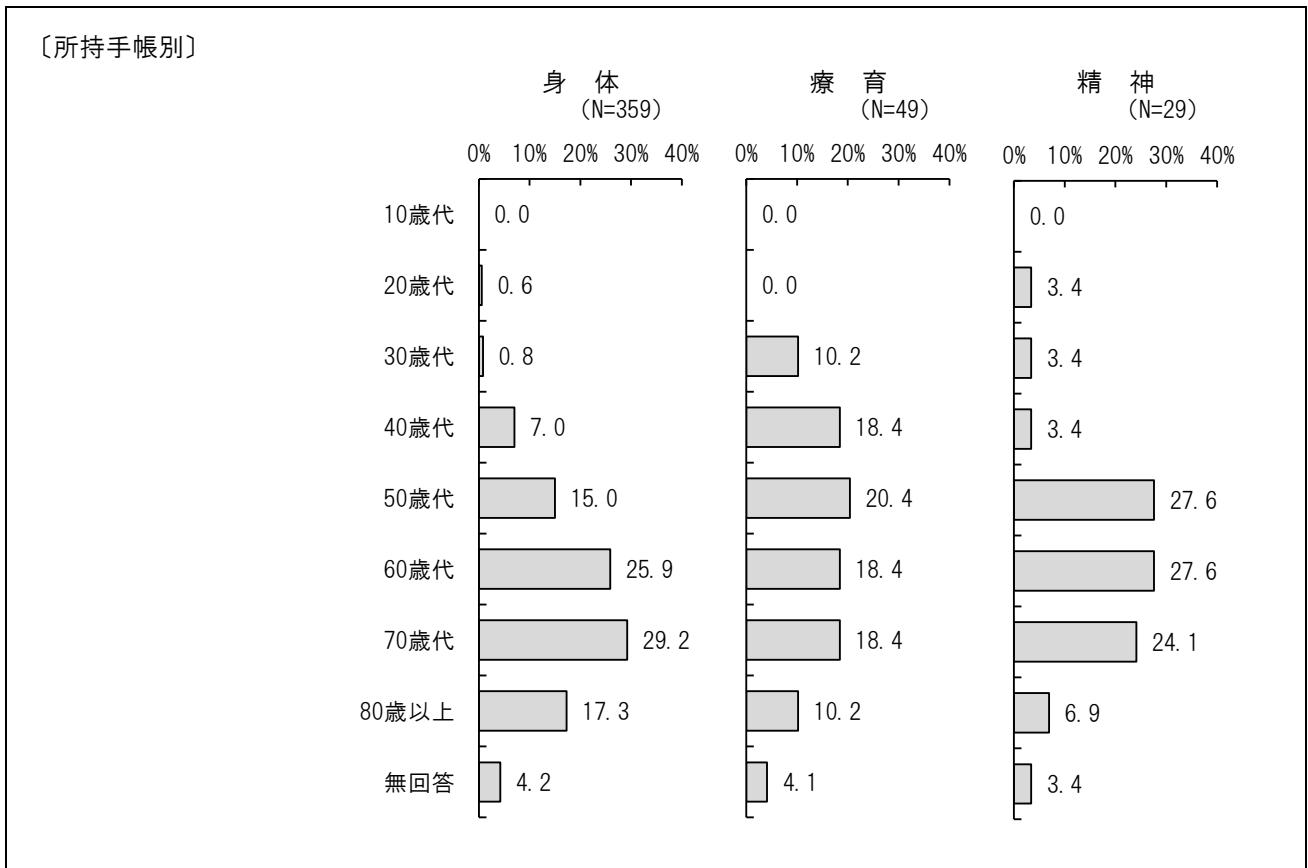
身体では「配偶者」(44.7%)、療育・精神では「親」(療育：50.6%、精神：30.4%)が最も多くなっている。

(問16-1～問16-3は、問16で「1」から「9」に回答した方のみお答えください。)

問16-1 あなたを主に介助してくれる方の年齢は何歳代ですか。(〇は1つ)



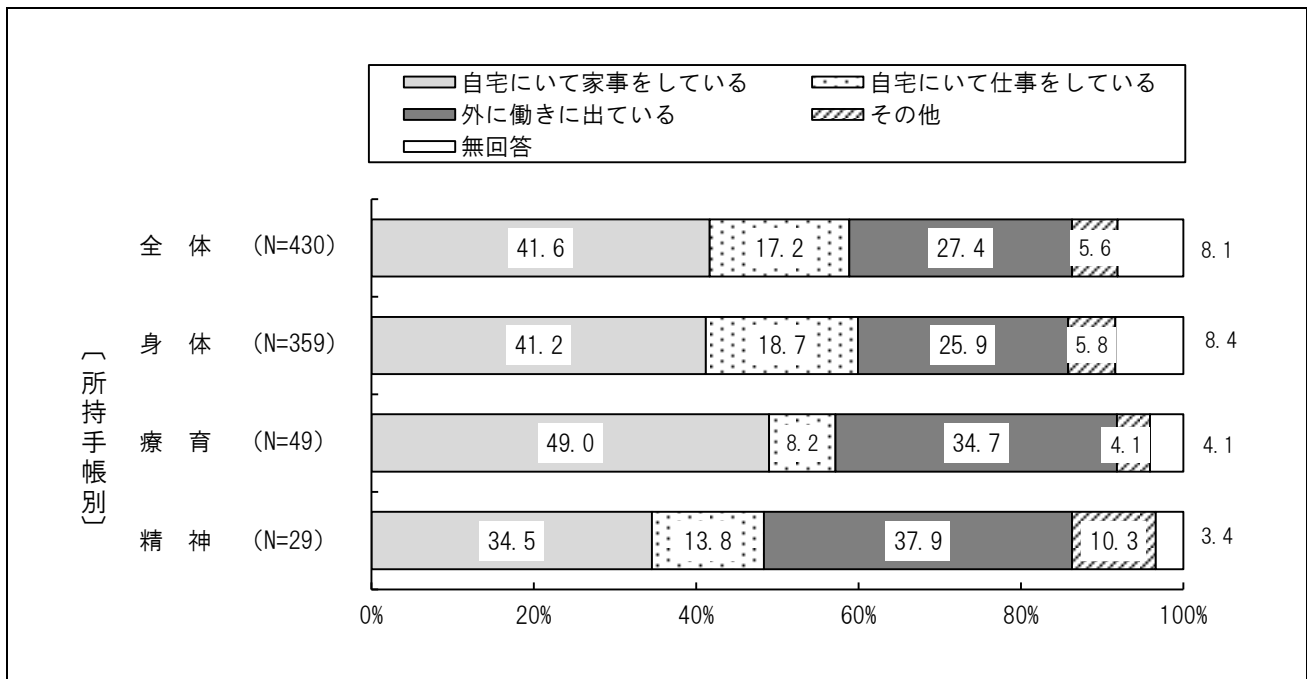
全体では「70歳代」が27.9%と最も多く、次いで「60歳代」が25.1%、「80歳以上」が16.3%などとなっている。



身体では「70歳代」(29.2%)、療育では「50歳代」(20.4%)、精神では「50歳代」と「60歳代」(各27.6%)が最も多くなっている。また、療育では「40歳代」が多くなっている。

(問 16-1 ~ 問 16-3 は、問 16 で「1」から「9」に回答した方のみお答えください。)

問 16-2 あなたを主に介助してくれる方は、お仕事をされていますか。(○は1つ)

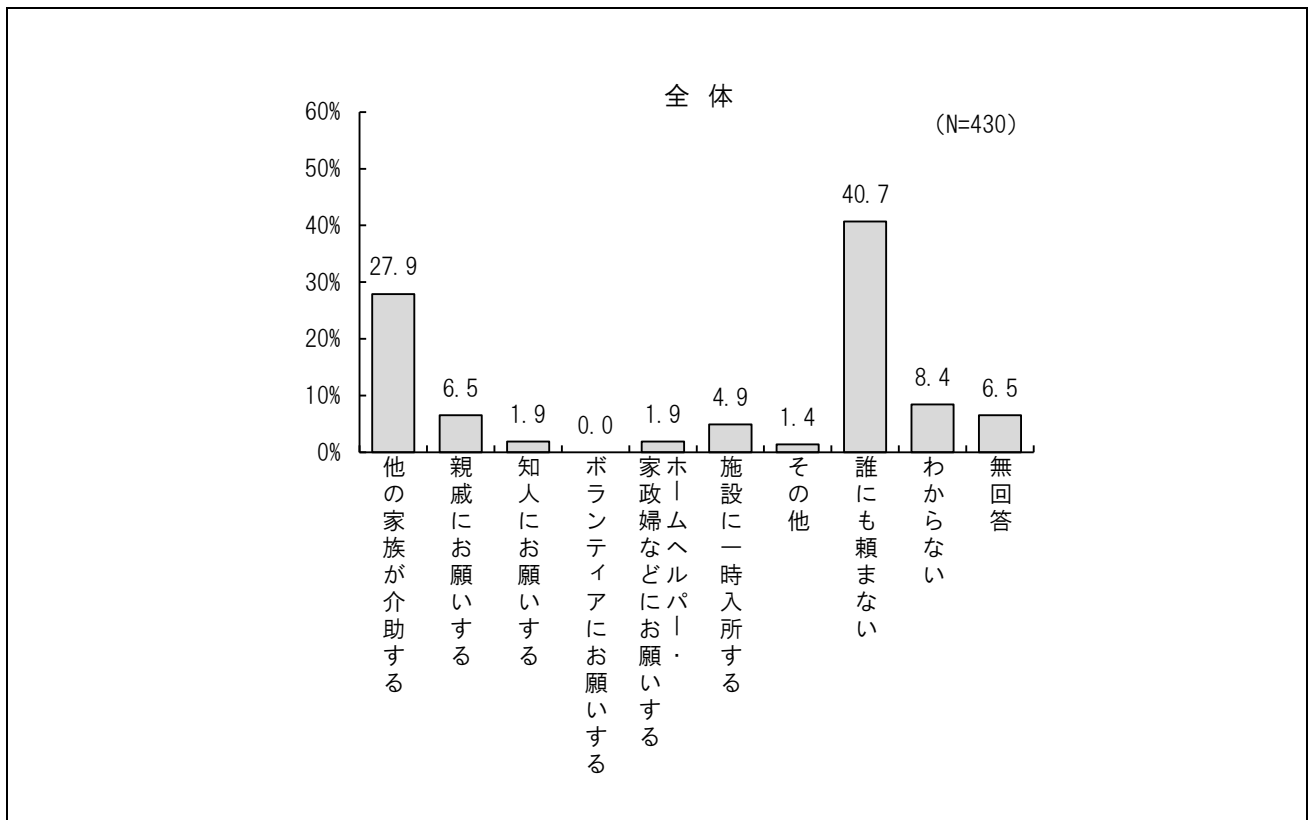


全体では「自宅にいて家事をしている」が 41.6% と最も多く、次いで「外に働きに出ている」が 27.4%、「自宅にいて仕事をしている」が 17.2% などとなっている。

身体・療育では「自宅にいて家事をしている」(身体：41.2%、療育：49.0%)、精神では「外に働きに出ている」(37.9%) が最も多くなっている。

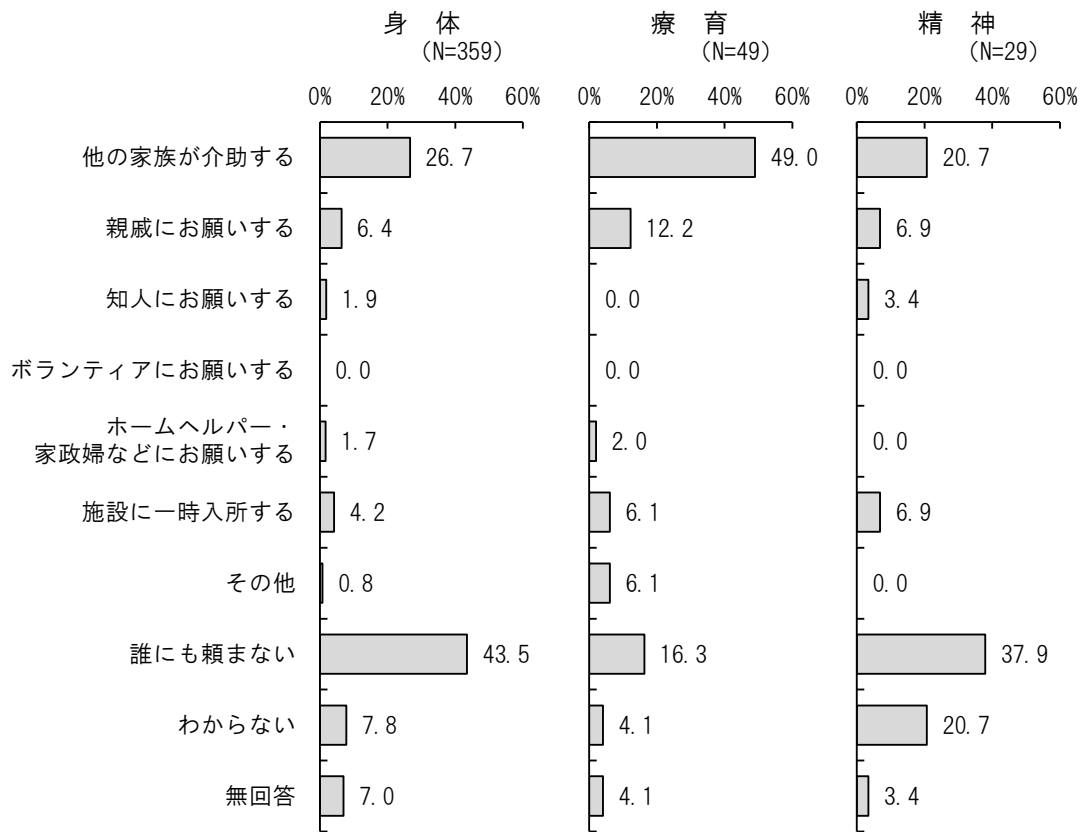
(問 16-1 ~ 問 16-3 は、問 16 で「1」から「9」に回答した方のみお答えください。)

問 16-3 あなたを主に介助してくれる方が一時的に不在の場合、どうしていますか。(○は1つ)



全体では「誰にも頼まない」が 40.7% と最も多く、次いで「他の家族が介助する」が 27.9%、「わからない」が 8.4% などとなっている。

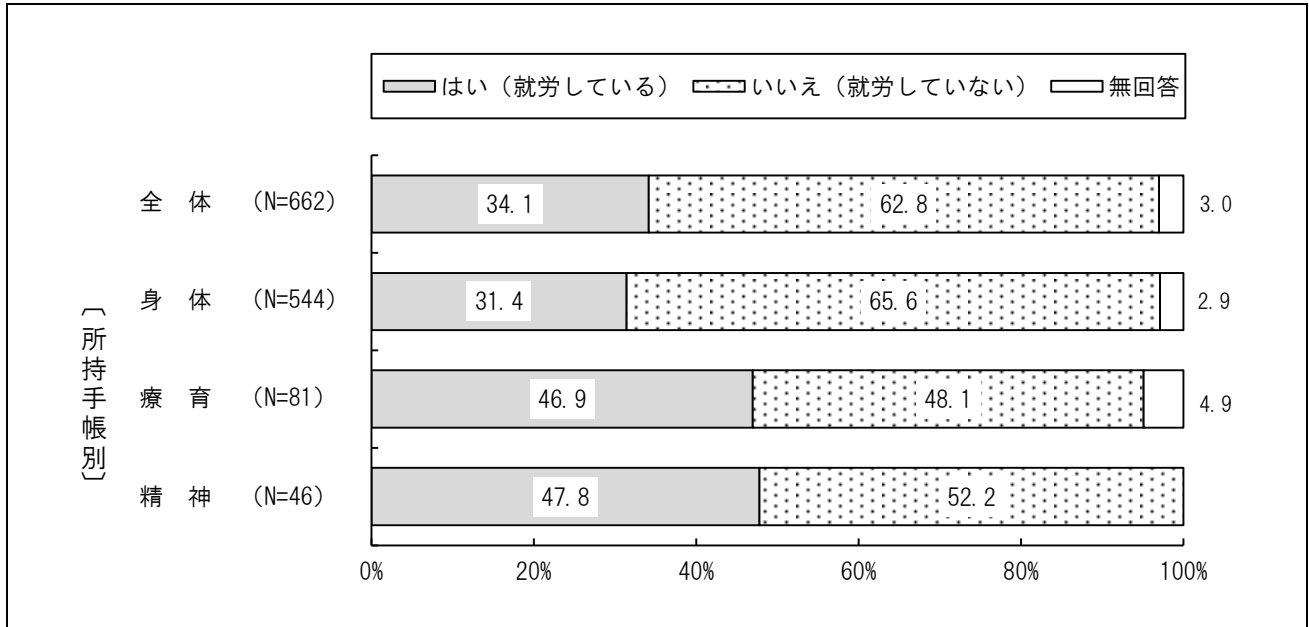
〔所持手帳別〕



身体と精神では「誰にも頼まない」（身体：43.5%、精神：37.9%）、療育では「他の家族が介助する」（49.0%）が最も多くなっている。

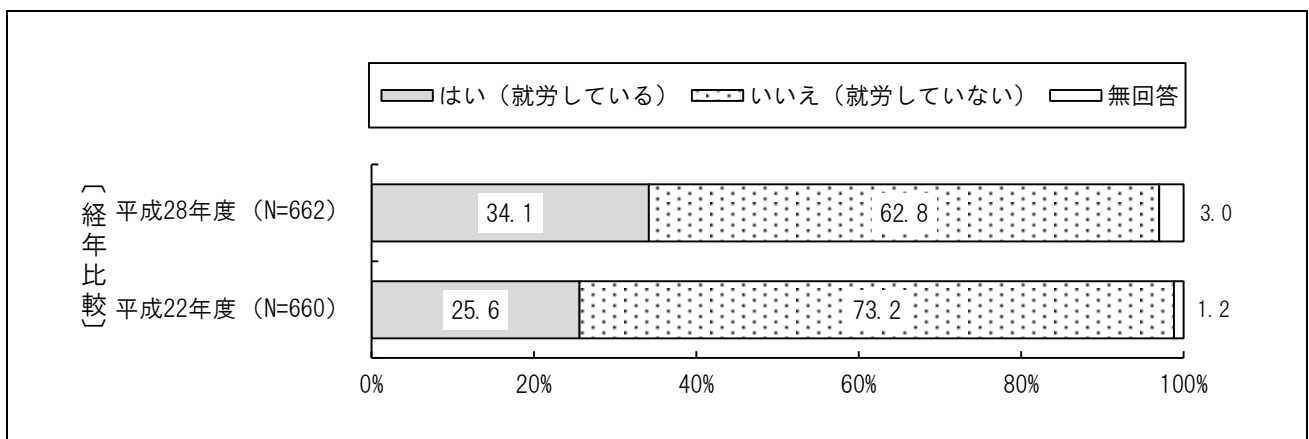
5 就労について

問 17 あなたは、現在仕事をしていますか。(○は1つ)



全体では「はい (就労している)」が 34.1%、「いいえ (就労していない)」が 62.8%となっている。

身体では「いいえ (就労していない)」(65.6%)、療育・精神では「はい (就労している)」(療育：46.9%、精神：47.8%)が多くなっている。

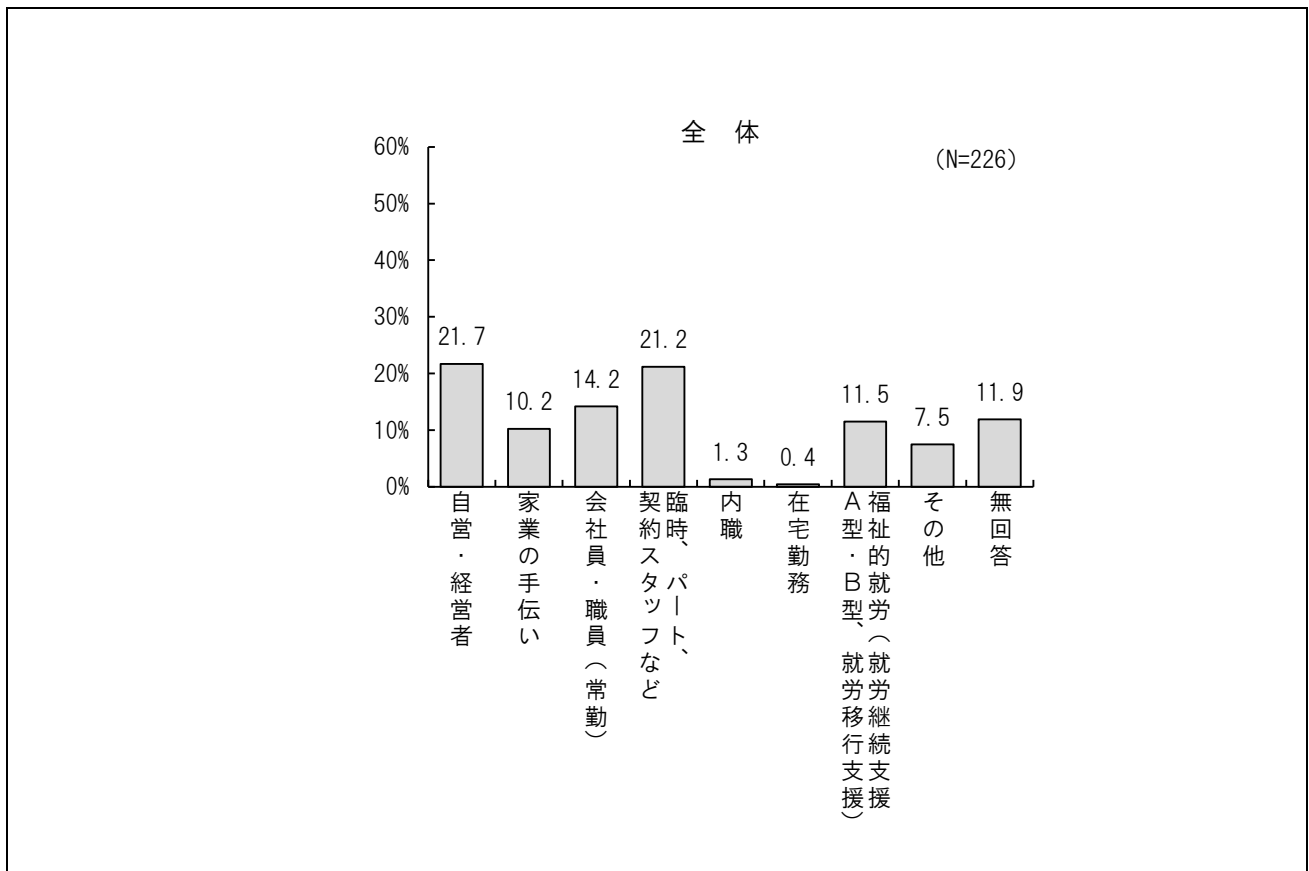


前回調査との比較では、「はい (就労している)」が平成 22 年度よりも 8.5 ポイント多くなっている。

「いいえ (就労していない)」は平成 22 年度よりも 10.4 ポイント少なくなっている。

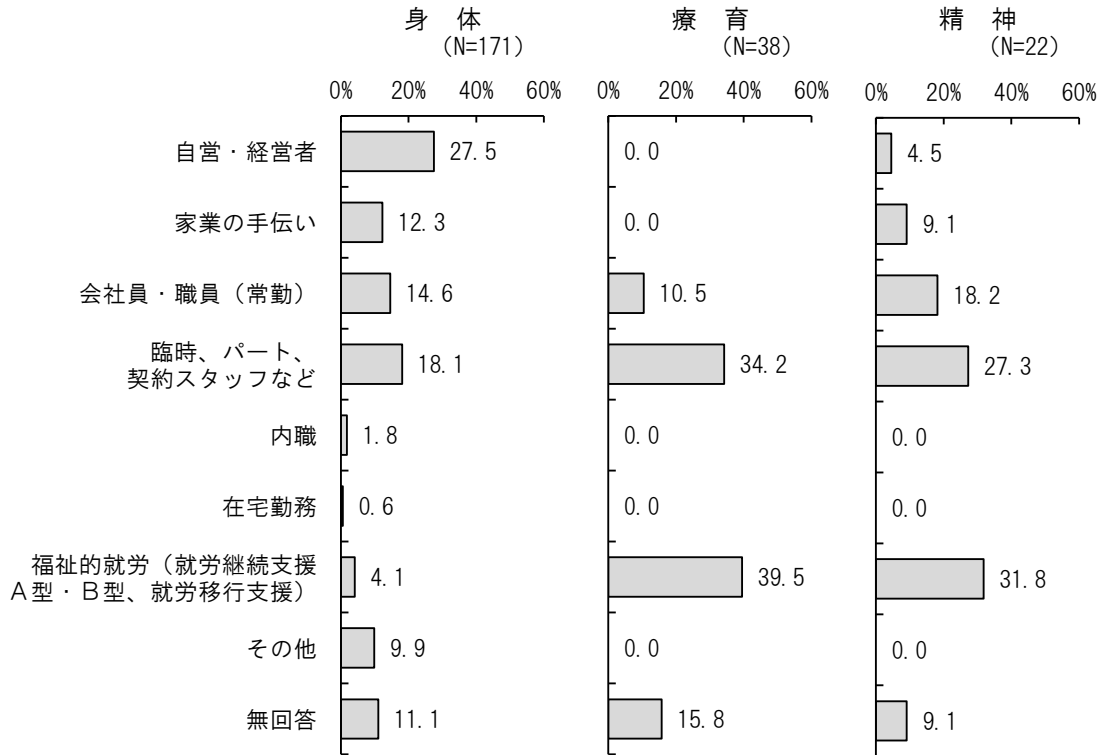
(問17-1～問17-3は、問17で「1 はい(就労している)」に回答した方のみお答えください。)

問17-1 仕事は次のどれですか。(○は1つ)



全体では「自営・経営者」が21.7%と最も多く、次いで「臨時、パート、契約スタッフなど」が21.2%、「会社員・職員(常勤)」が14.2%となっている。

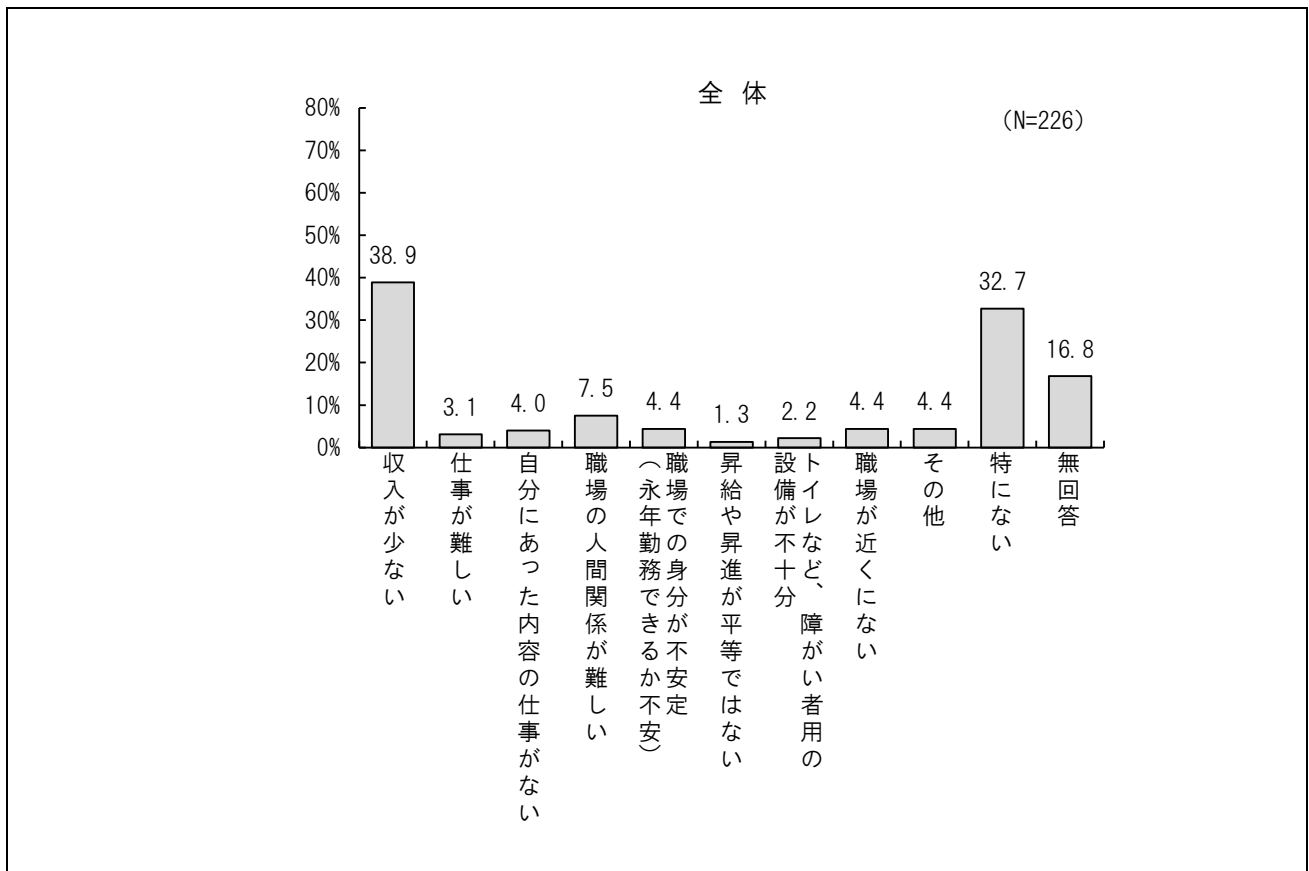
〔所持手帳別〕



身体では「自営・経営者」(27.5%)、療育・精神では「福祉的就労（就労継続支援A型・B型、就労移行支援）」(療育：39.5%、精神：31.8%)が最も多くなっている。また、療育では「臨時、パート、契約スタッフなど」(34.2%)と多くなっている。

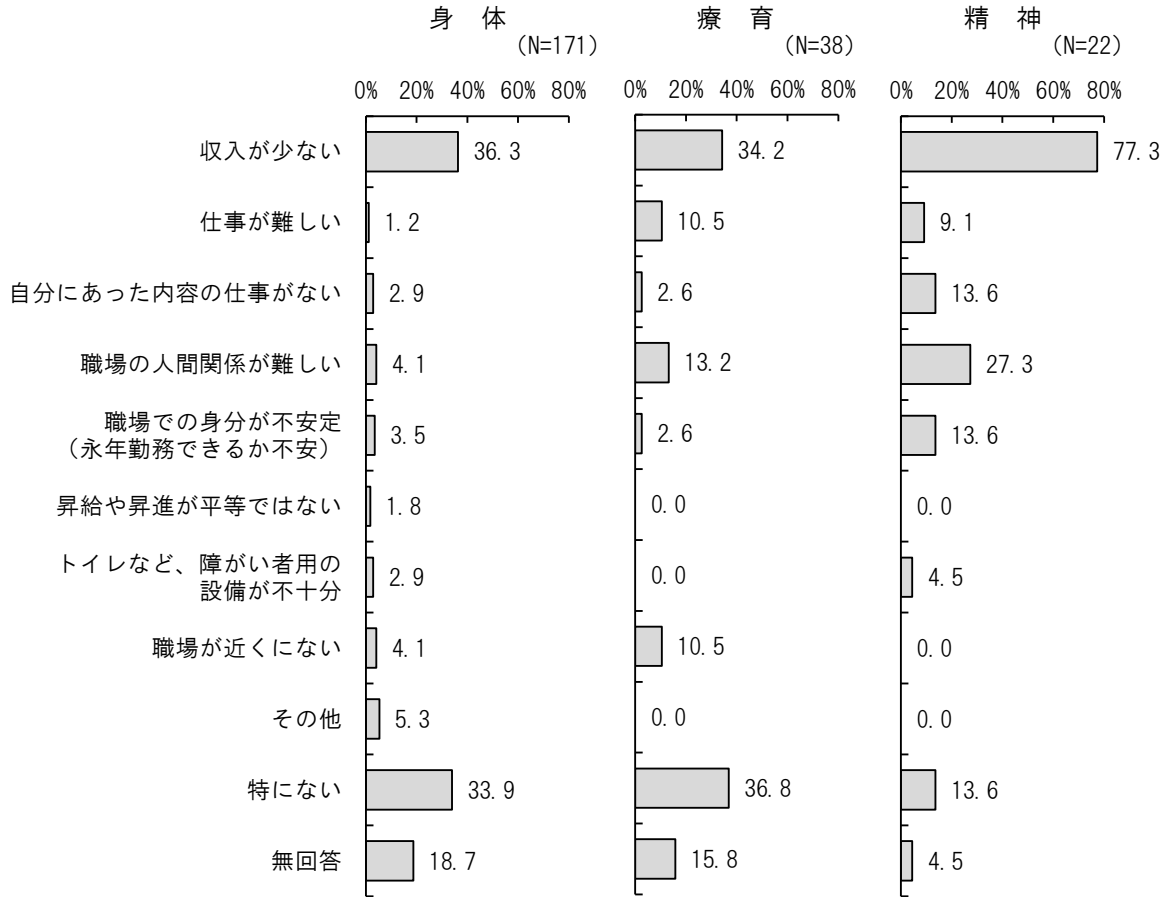
(問17-1～問17-3は、問17で「1 はい(就労している)」に回答した方のみお答えください。)

問17-2 仕事をする上で、何か困っていることがありますか。(○はあてはまるものすべて)



全体では「収入が少ない」が38.9%と最も多く、次いで「特にない」が32.7%、「職場の人間関係が難しい」が7.5%となっている。

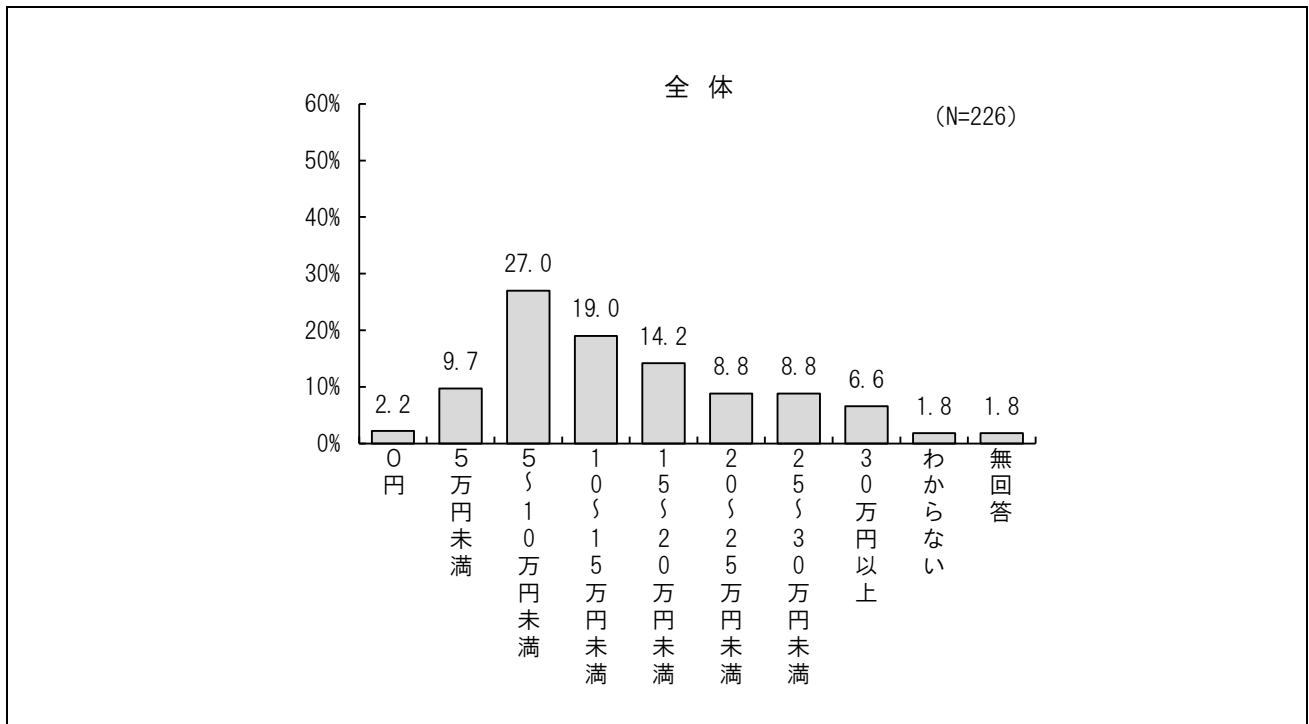
〔所持手帳別〕



身体・精神では「収入が少ない」（身体：36.3%、精神：77.3%）、療育では「特にない」（36.8%）、が最も多く、療育では次いで「収入が少ない」（34.2%）となっている。また、精神では「職場の人間関係が難しい」（27.3%）が多くなっている。

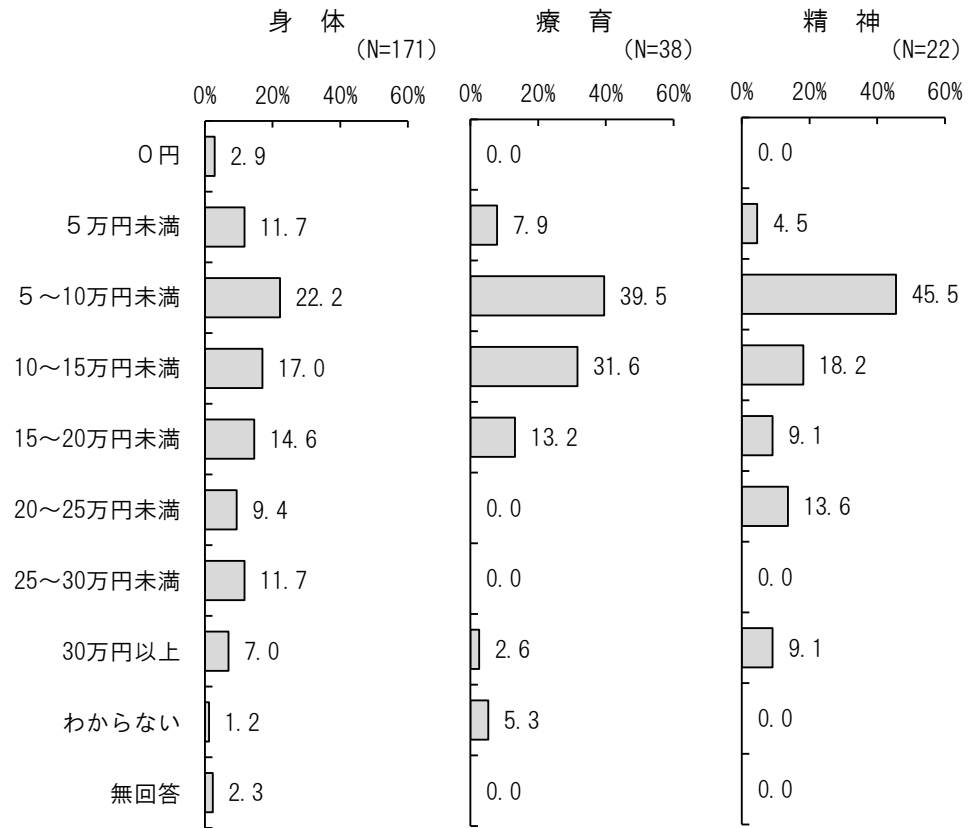
(問17-1～問17-3は、問17で「1 はい(就労している)」に回答した方のみお答えください。)

問17-3 あなたの月平均の収入をお答えください。(〇は1つ)(収入には、あなたが働いて得た収入、就労支援施設等からの収入のほか、年金・手当等を含めてください。)



全体では「5～10万円未満」が27.0%と最も多く、次いで「10～15万円未満」が19.0%、「15～20万円未満」が14.2%などとなっている。

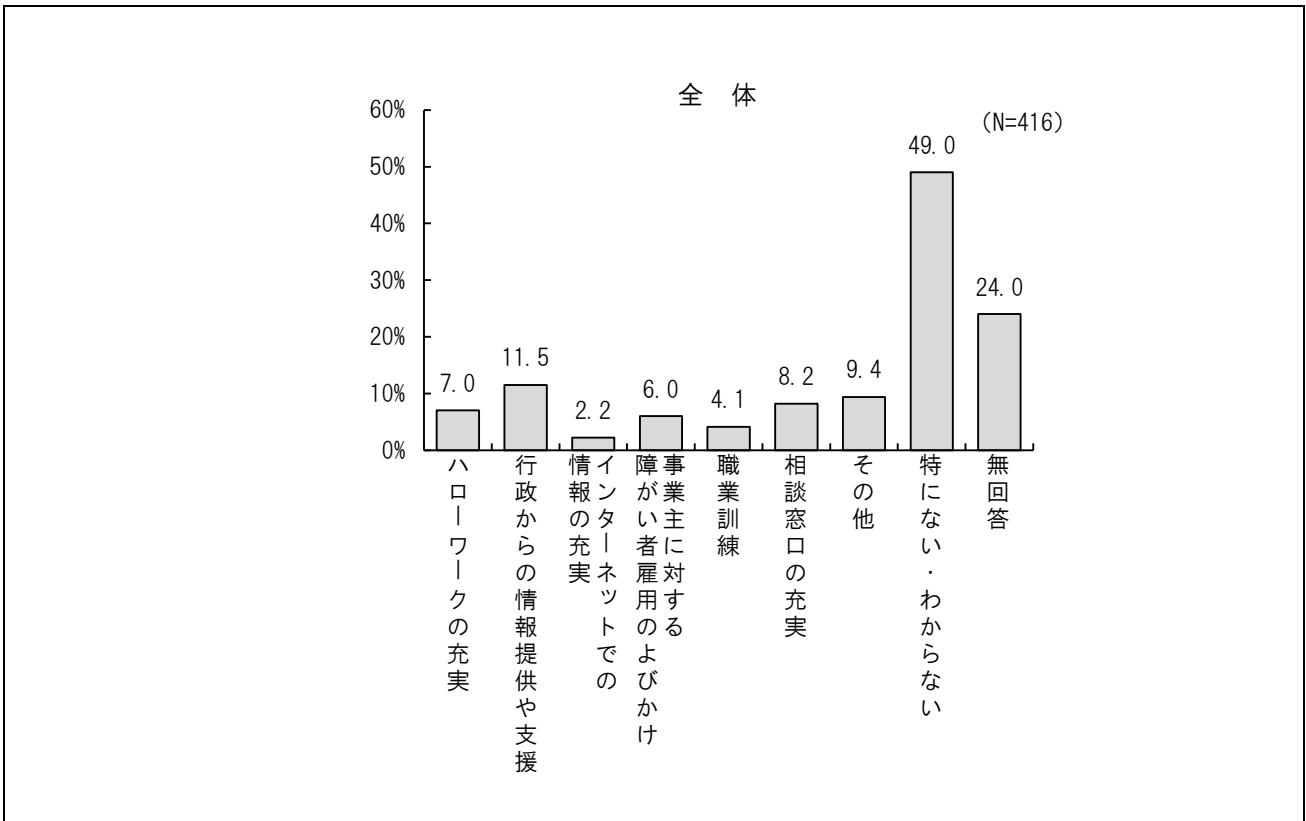
〔所持手帳別〕



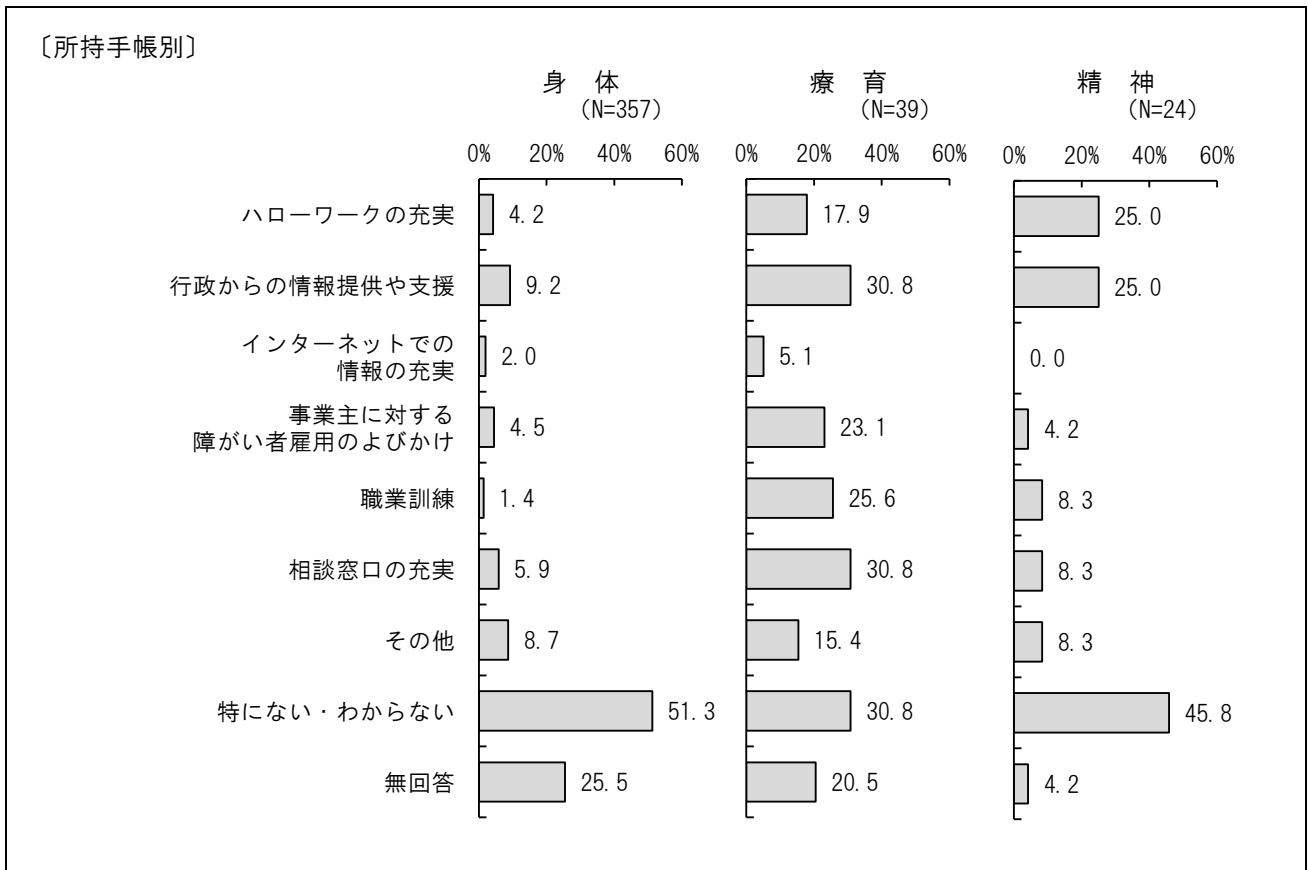
いずれの手帳区分でも「5~10万円未満」(身体:22.2%、療育:39.5%、精神:45.5%)が最も多くなっている。また、療育では「10~15万円未満」(31.6%)が多くなっている。

(問17-4は、問17で「2 いいえ」に回答した方のみお答えください。)

問17-4 あなたが仕事を見つけるために何が必要ですか。(〇はあてはまるものすべて)

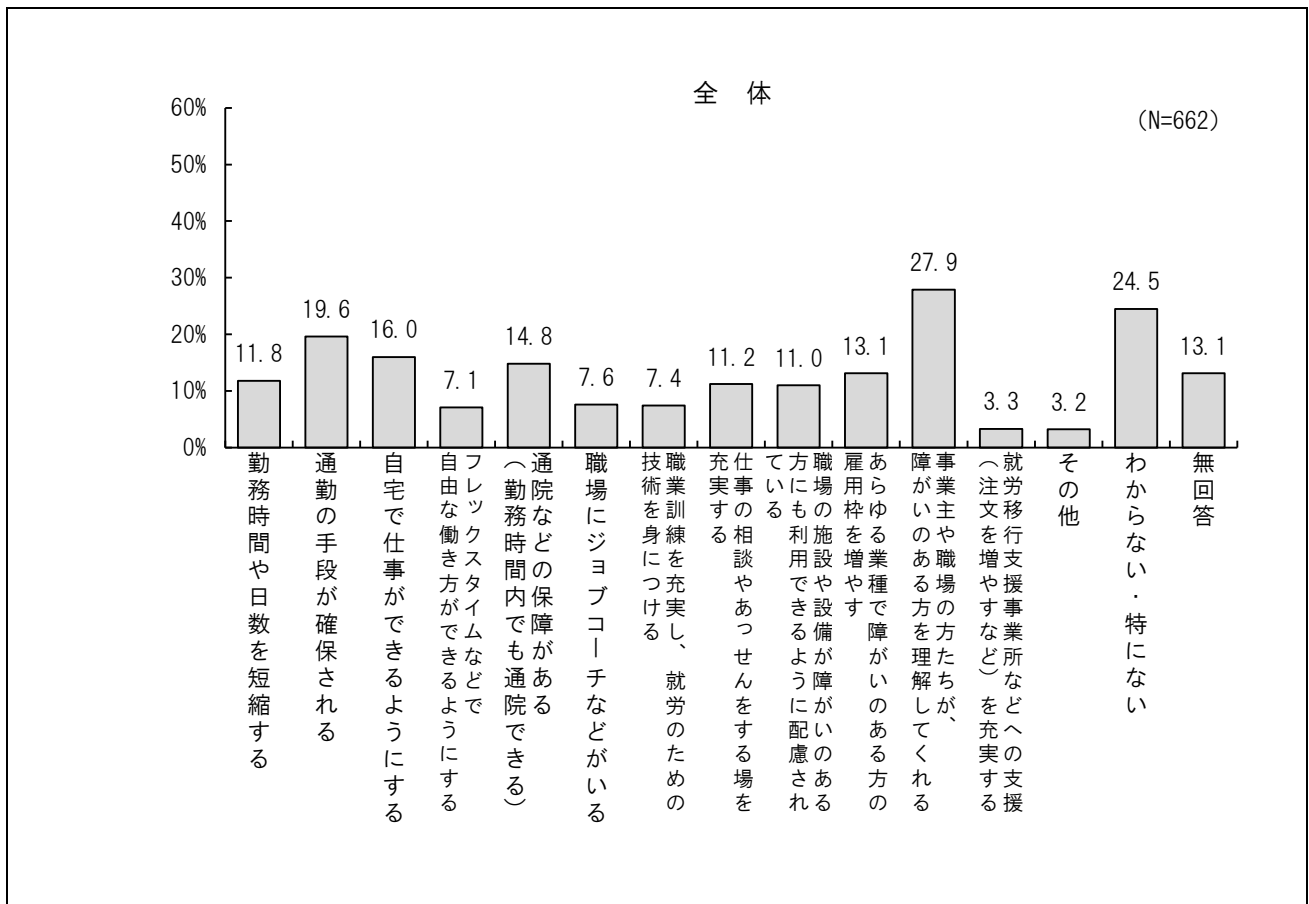


全体では「特にない・わからない」が49.0%と最も多く、次いで「行政からの情報提供や支援」が11.5%、「その他」が9.4%などとなっている。



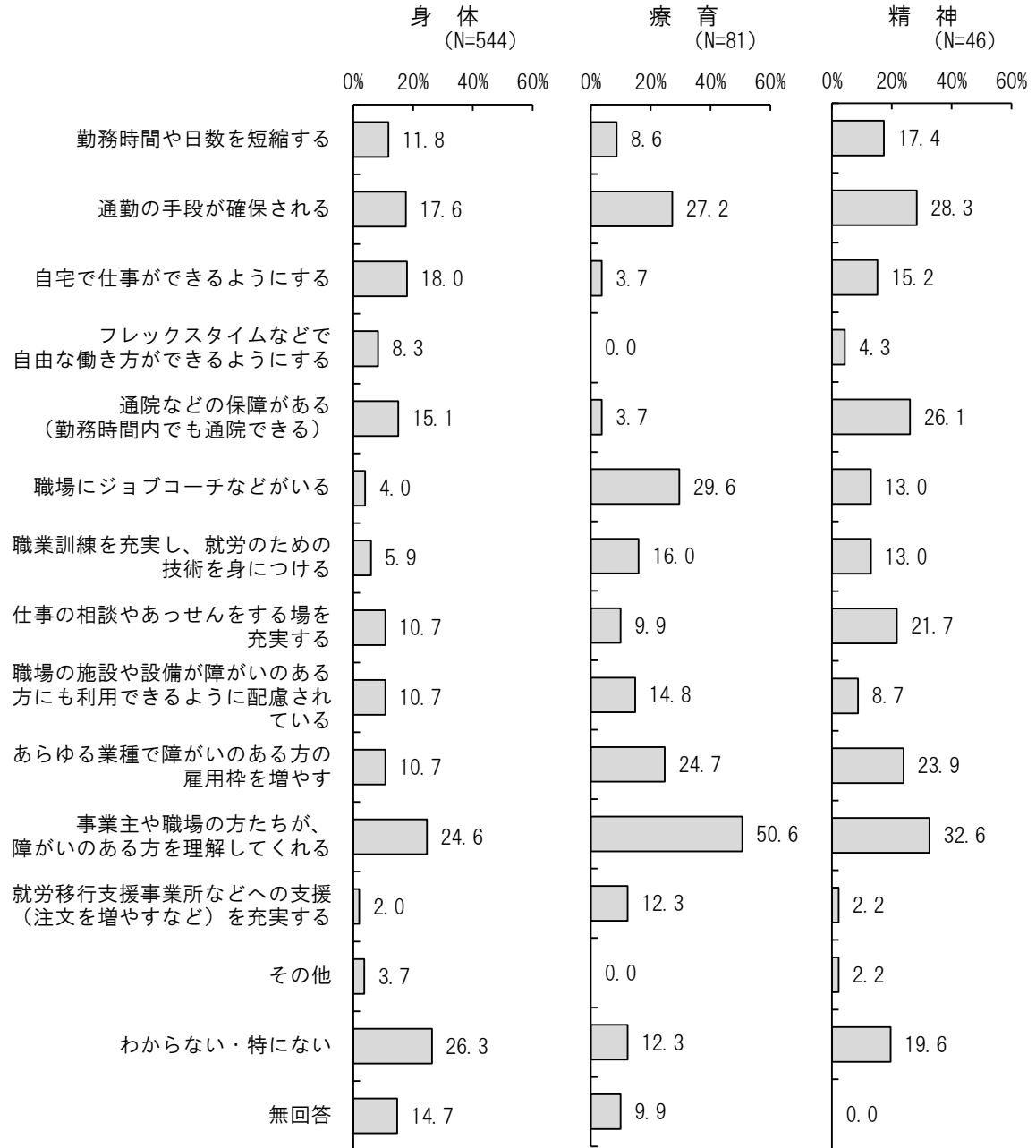
いずれの手帳区分でも「特にない・わからない」（身体：51.3%、療育：30.8%、精神：45.8%）が最も多くなっている（療育では「行政からの情報提供や支援」と「相談窓口の充実」（各 30.8%）も同率）。「特にない・わからない」を除いた結果では、身体では「行政からの情報提供や支援」（9.2%）、療育では「行政からの情報提供や支援」と「相談窓口の充実」（各 30.8%）、精神では「ハローワークの充実」と「行政からの情報提供や支援」（各 25.0%）が最も多くなっている。また、療育では「ハローワークの充実」（17.9%）、「事業主に対する障がい者雇用のよびかけ」（23.1%）、「職業訓練」（25.6%）が多くなっている。

問 18 今後、障がいのある方が働きやすくなるためには、どのような条件や環境整備が必要だと考えますか。(〇は3つまで)



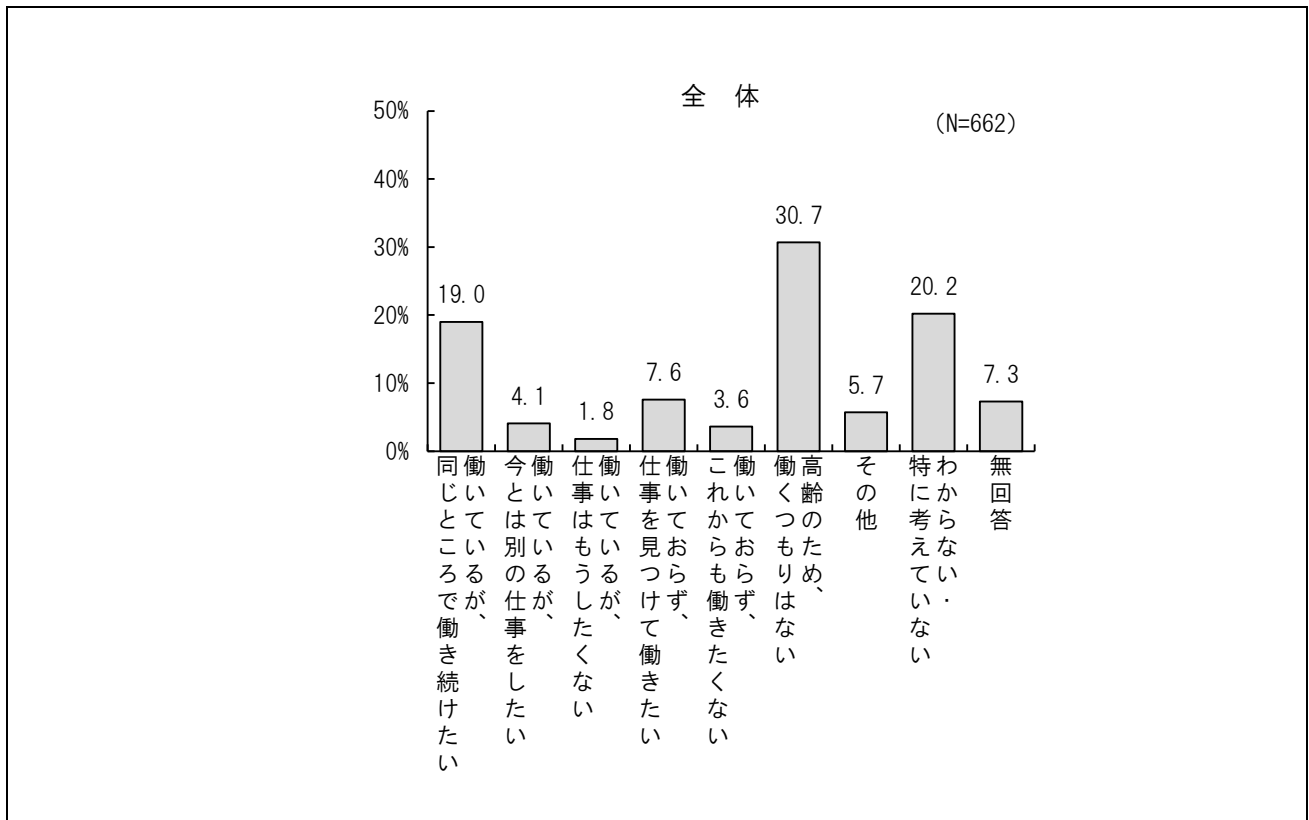
全体では「事業主や職場の方たちが、障がいのある方を理解してくれる」が27.9%と最も多く、次いで「わからない・特にない」が24.5%、「通勤の手段が確保される」が19.6%などとなっている。

〔所持手帳別〕



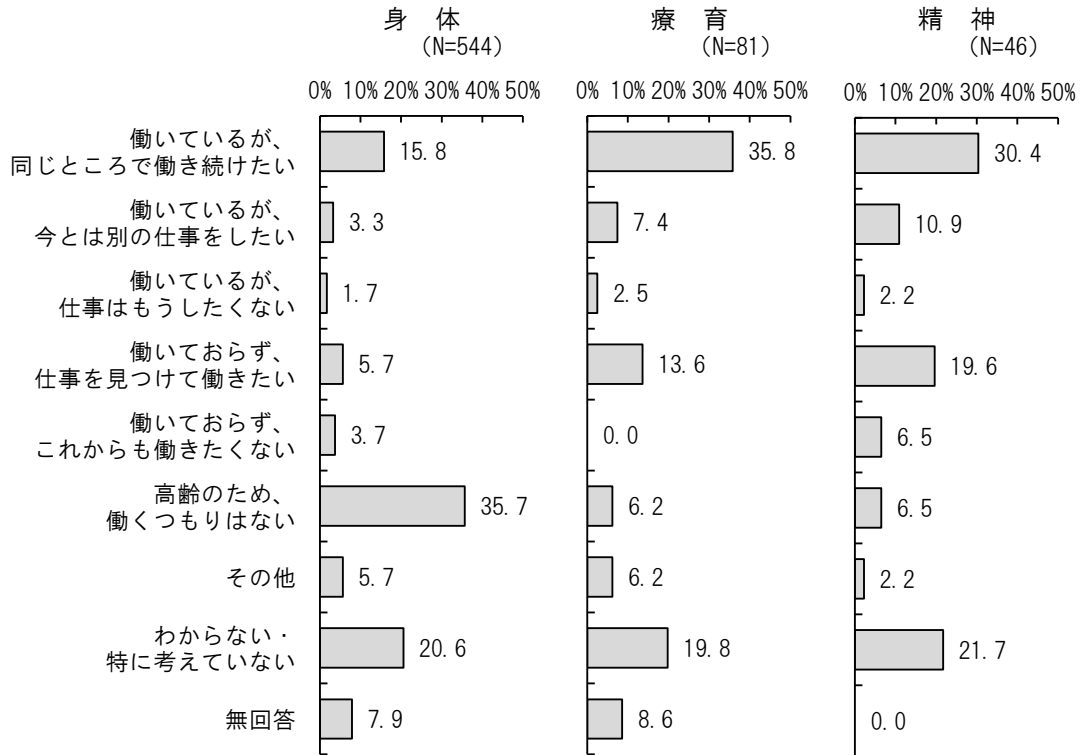
身体では「わからない・特にない」(26.3%)、療育・精神では「事業主や職場の方たちが、障がいのある方を理解してくれる」(療育：50.6%、精神：32.6%)が最も多く、身体では次いで「事業主や職場の方たちが、障がいのある方を理解してくれる」(24.6%)となっている。また、療育では「職場にジョブコーチなどがある」(29.6%)、「あらゆる業種で障がいのある方の雇用枠を増やす」(24.7%)、精神では「通院などの保障がある(勤務時間内でも通院できる)」(26.1%)、「あらゆる業種で障がいのある方の雇用枠を増やす」(23.9%)が多くなっている。

問 19 あなたは、今後仕事についてどのように考えていますか。(○は1つ)



全体では「高齢のため、働くつもりはない」が30.7%と最も多く、次いで「わからない・特に考えていない」が20.2%、「働いているが、同じところで働き続けたい」が19.0%などとなっている。

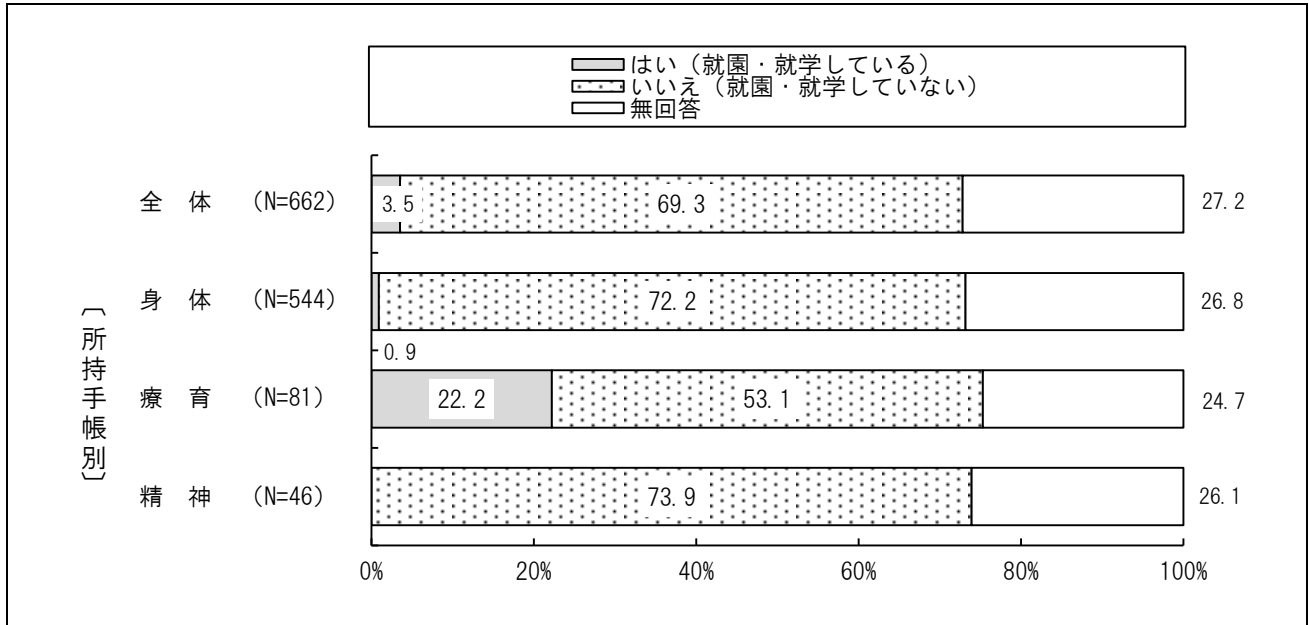
〔所持手帳別〕



身体では「高齢のため、働くつもりはない」(35.7%)、療育・精神では「働いているが、同じところで働き続けたい」(療育：35.8%、精神：30.4%)が最も多くなっている。また、精神では「働いておらず、仕事を見つけて働きたい」(19.6%)が多くなっている。

6 就園・就学について

問 20 あなたは、こども園・保育園・児童発達支援施設、学校に通っていますか。

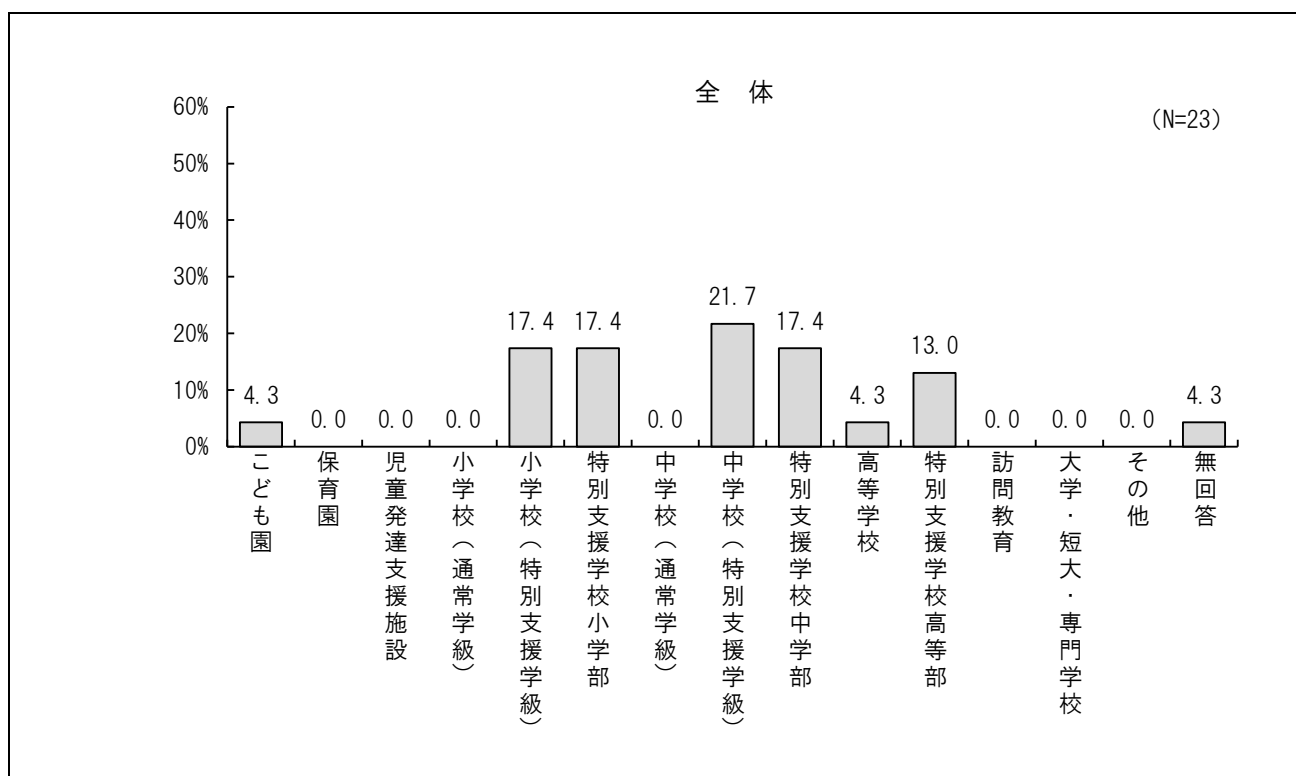


全体では「はい (就園・就学している)」が 3.5%、「いいえ (就園・就学していない)」が 69.3%となっている。

いずれの手帳区分でも「いいえ (就園・就学していない)」(身体:72.2%、療育:53.1%、精神:73.9%)が多くなっている。また、療育では「はい (就園・就学している)」(22.2%)が多くなっている。

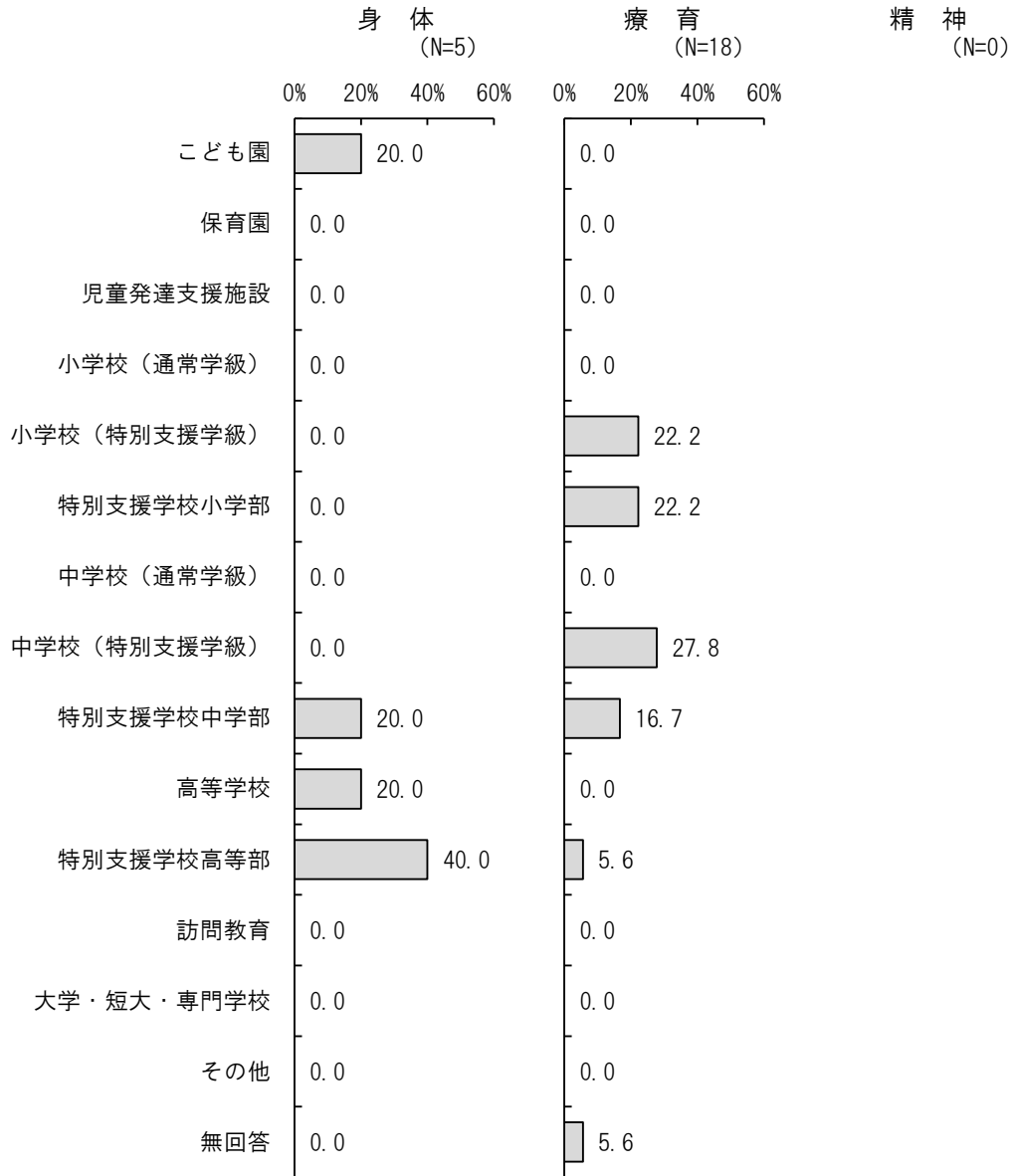
(問 20-1 ~ 問 20-3 は、問 20 で「1 はい」に回答した方のみお答えください。)

問 20-1 通われているところはどちらですか。(○は1つ)



全体では「中学校(特別支援学級)」が21.7%と最も多く、次いで「小学校(特別支援学級)」、「特別支援学校小学部」、「特別支援学校中学部」がそれぞれ17.4%などとなっている。

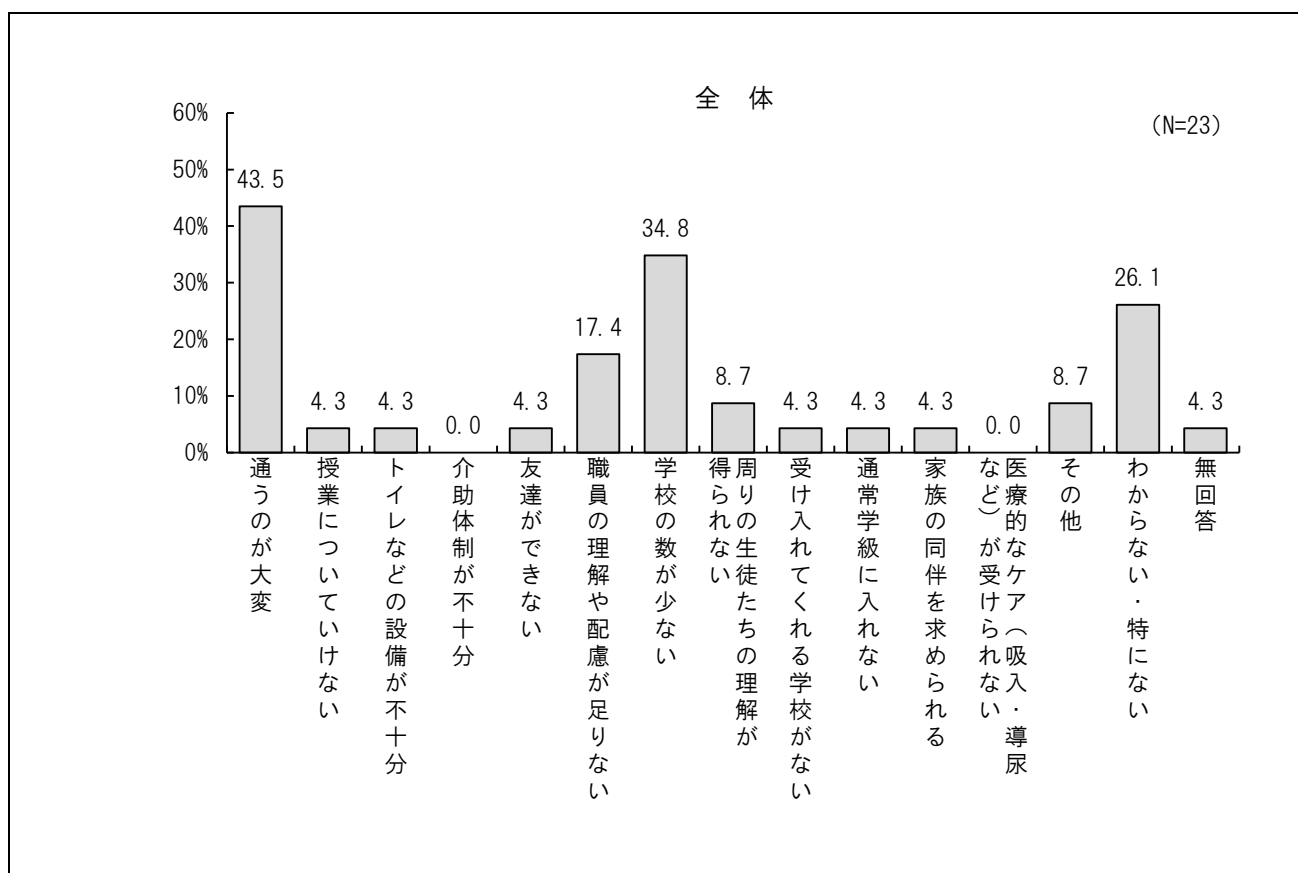
〔所持手帳別〕



(この間は回答者数が少ないため、コメントは割愛する。)

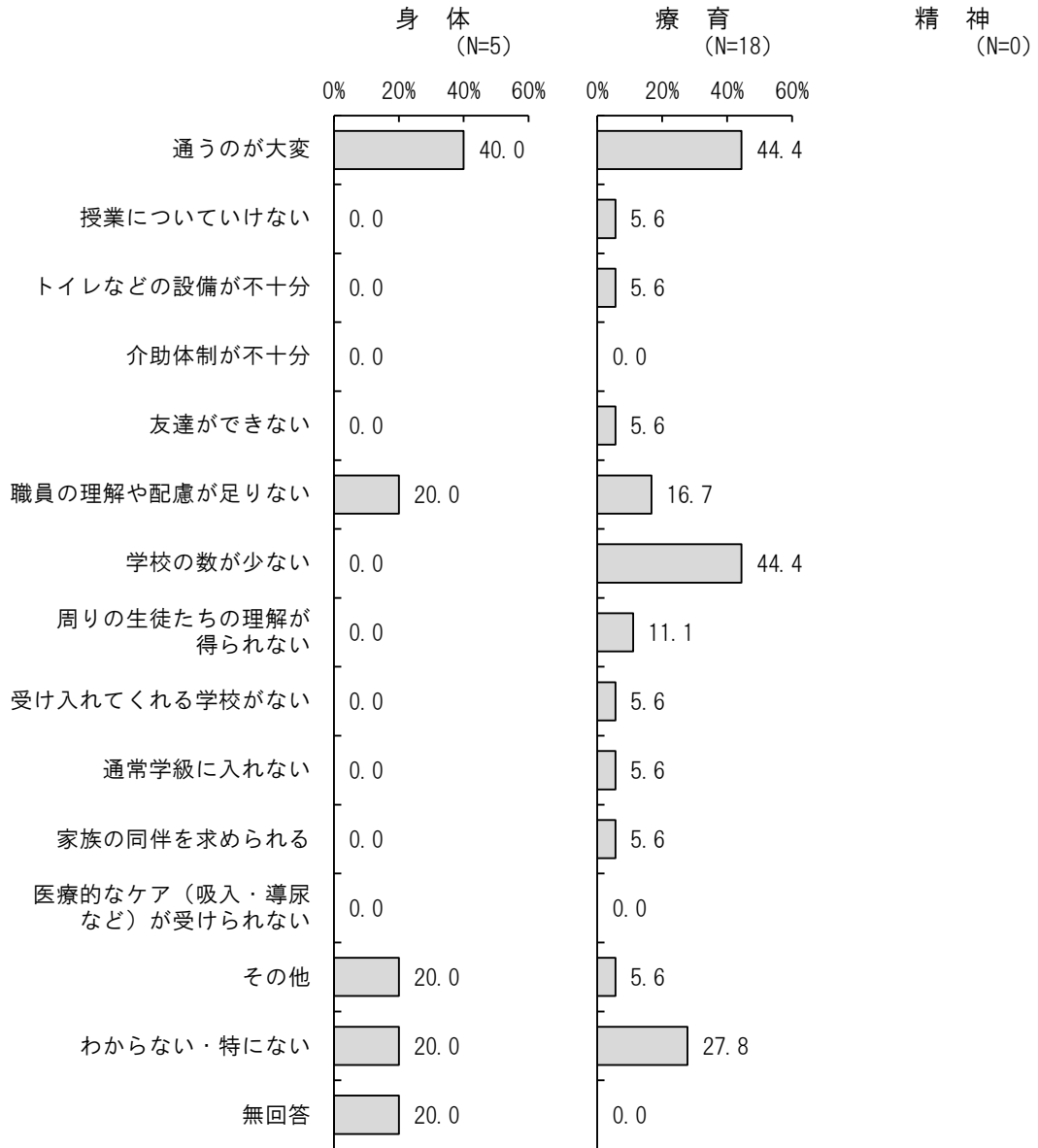
(問 20-1 ~ 問 20-3 は、問 20 で「1 はい」に回答した方のみお答えください。)

問 20-2 通園・通学上の問題点をお聞かせください。



全体では「通うのが大変」が 43.5%と最も多く、次いで「学校の数が少ない」が 34.8%、「わからない・特にない」が 26.1%などとなっている。

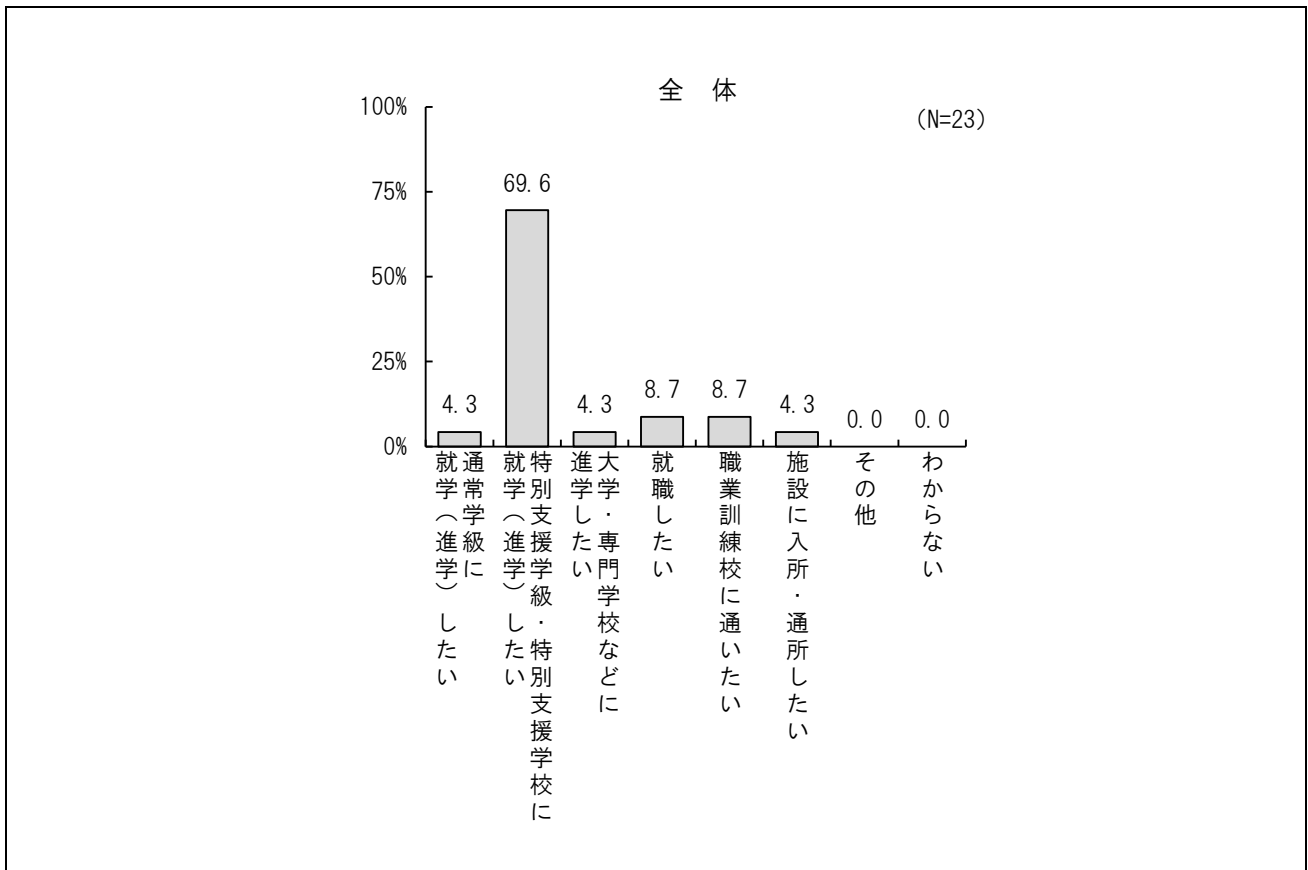
〔所持手帳別〕



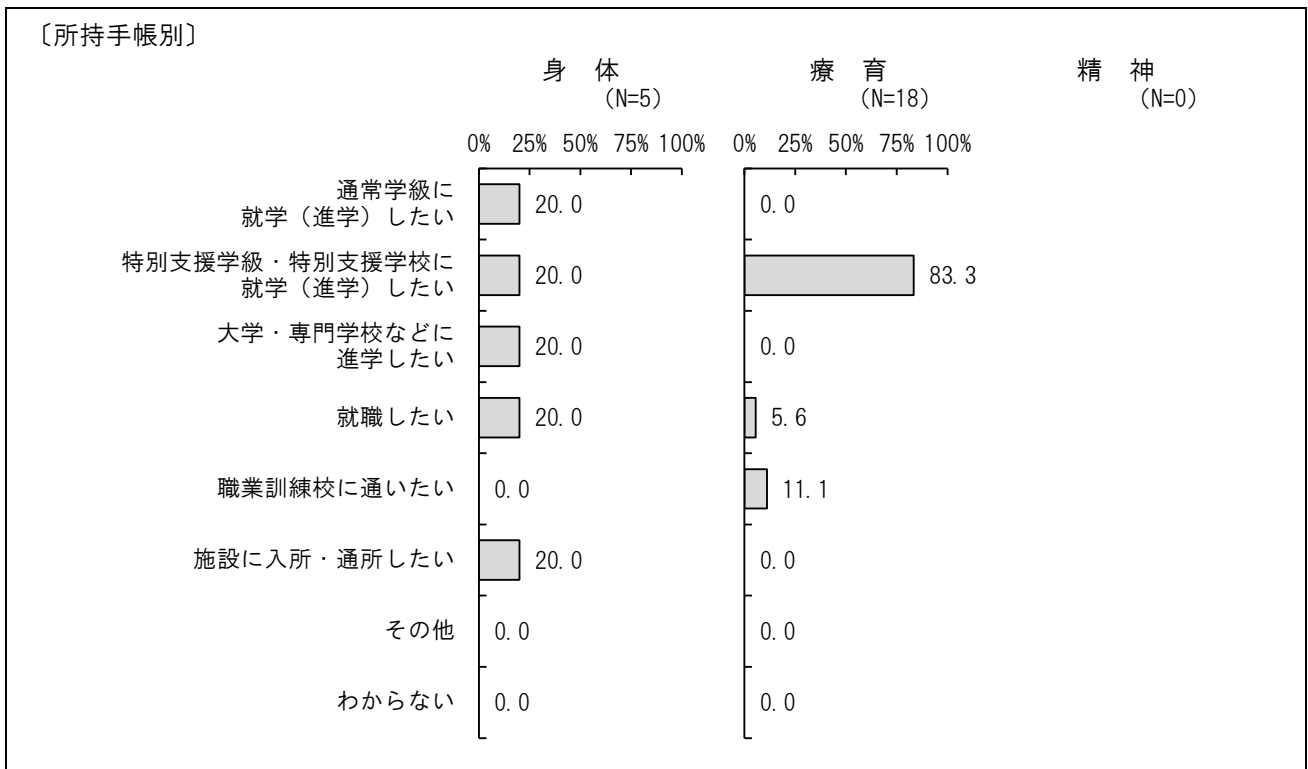
(この間は回答者数が少ないため、コメントは割愛する。)

(問 20-1 ~ 問 20-3 は、問 20 で「1 はい」に回答した方のみお答えください。)

問 20-3 卒業 (園) 後の進路はどう考えていますか。(○は1つ)



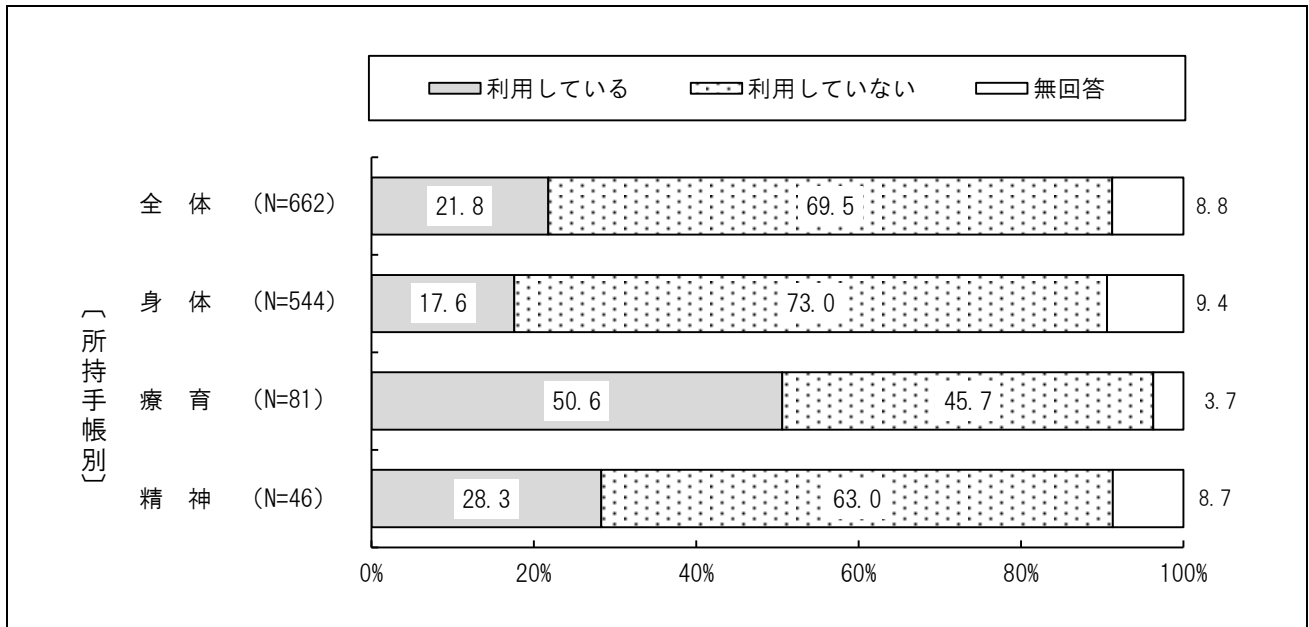
全体では「特別支援学級・特別支援学校に就学 (進学) したい」が 69.6% と最も多く、次いで「就職したい」と「職業訓練校に通いたい」がそれぞれ 8.7% などとなっている。



(この問は回答者数が少ないため、コメントは割愛する。)

7 福祉サービスの利用について

問 21 あなたは、障害者総合支援法・児童福祉法のサービスを利用していますか。(○は1つ)

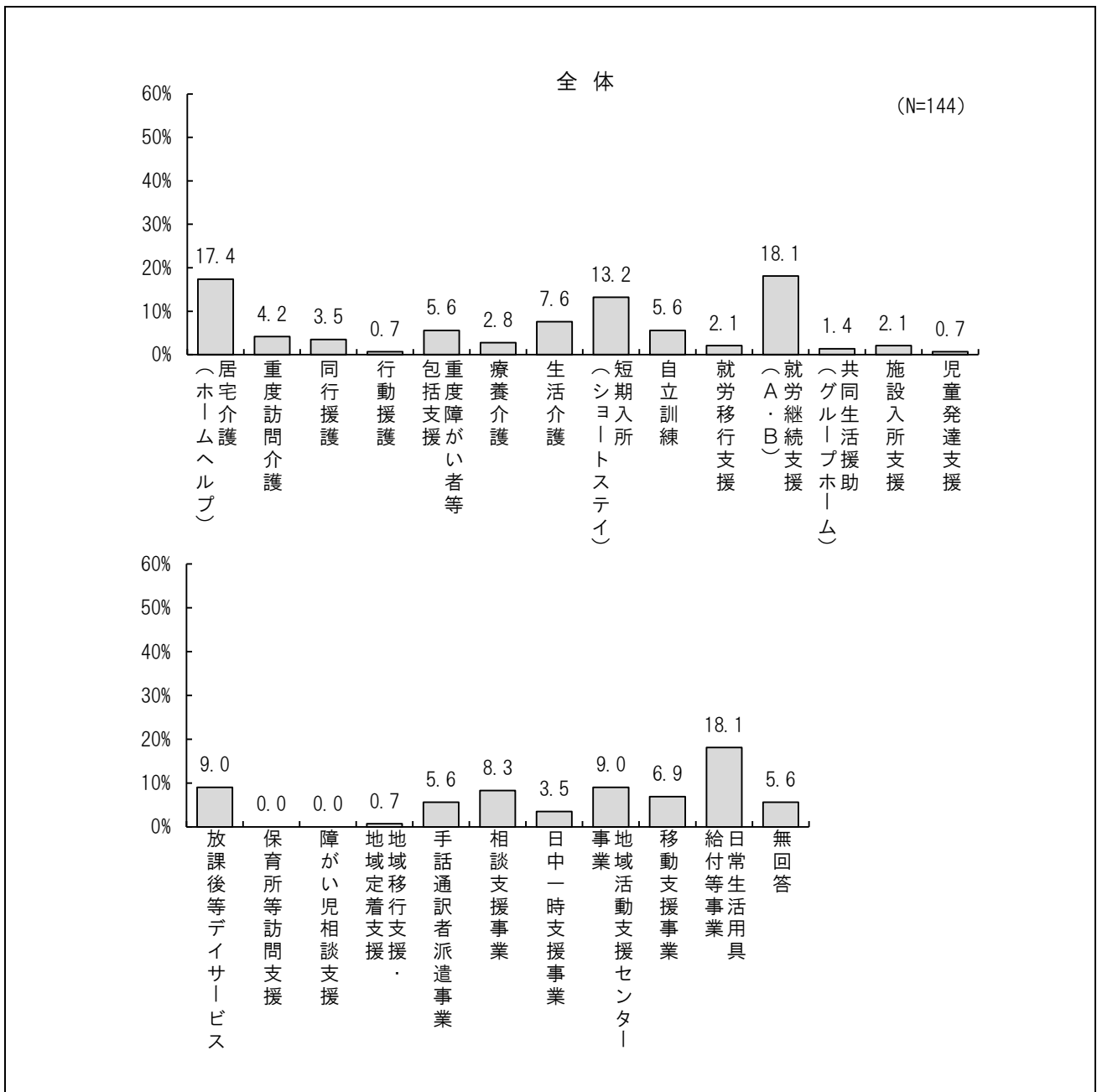


全体では「利用している」が21.8%、「利用していない」が69.5%となっている。

身体・精神では「利用していない」(身体:73.0%、精神:63.0%)、療育では「利用している」(50.6%)が多くなっている。

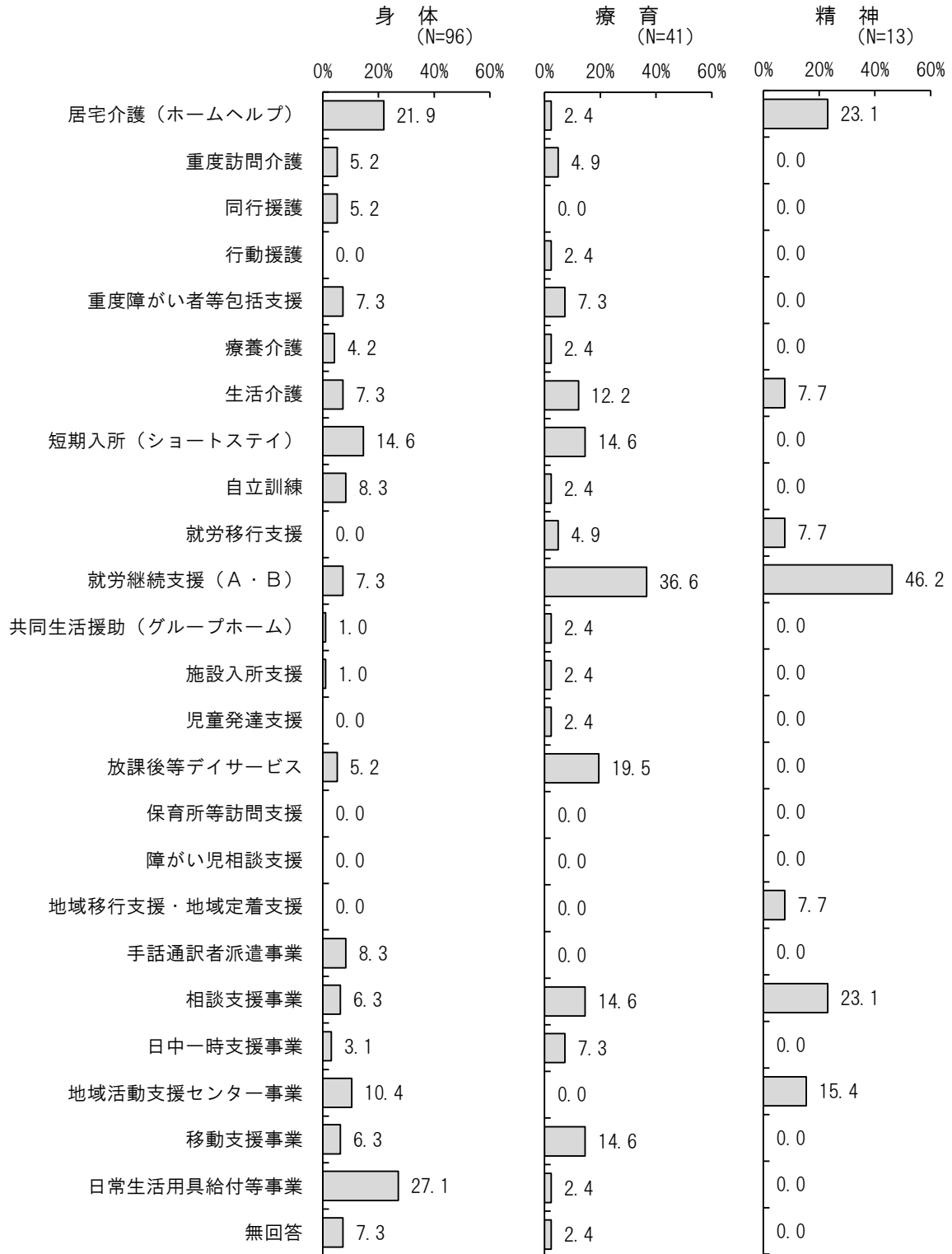
(問 21-1 は、問 21 で「1 利用している」に回答した方のみお答えください。)

問 21-1 利用しているサービスは何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



全体では「就労継続支援 (A・B)」、「日常生活用具給付等事業」がそれぞれ 18.1%と最も多く、次いで「居宅介護 (ホームヘルプ)」が 17.4%、「短期入所 (ショートステイ)」が 13.2%などとなっている。

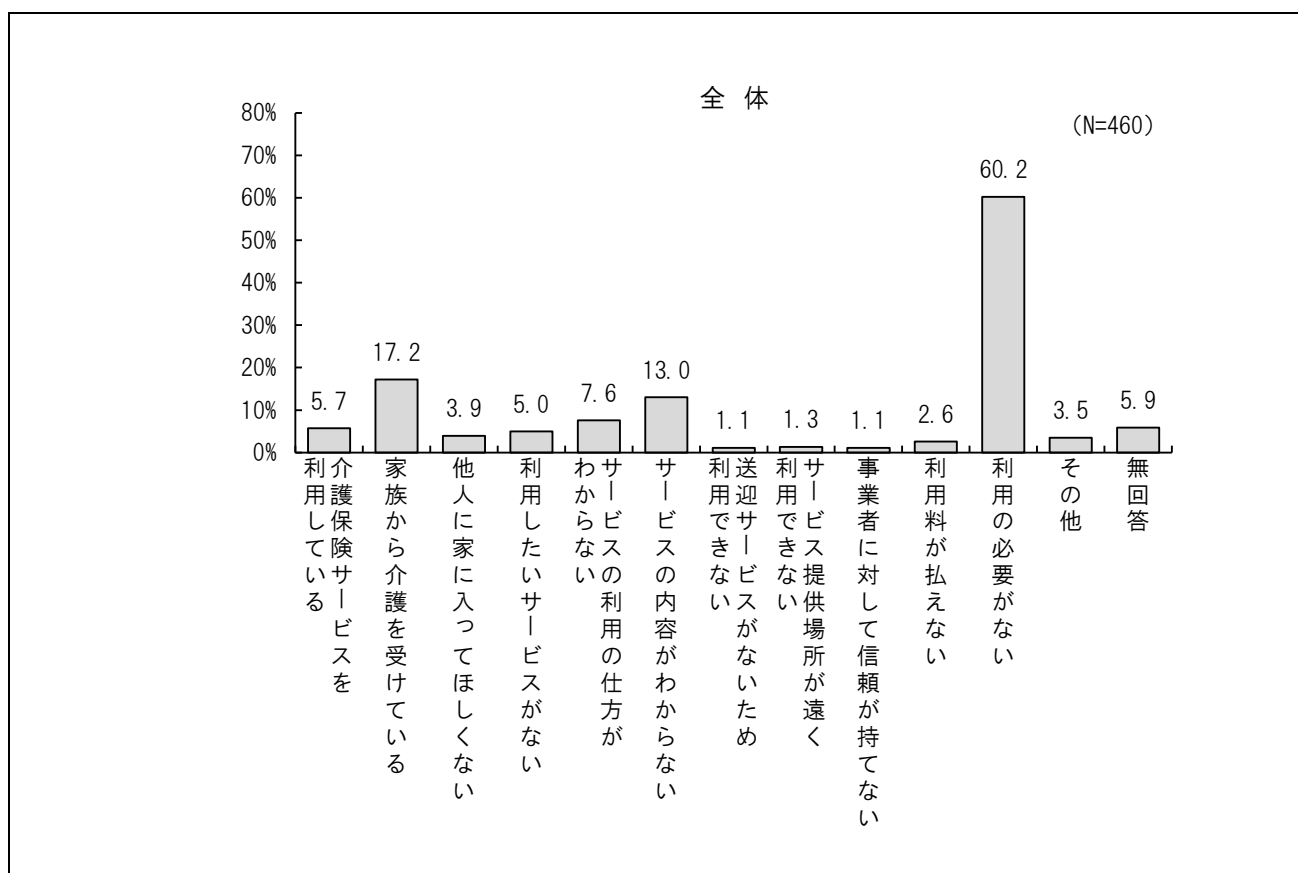
〔所持手帳別〕



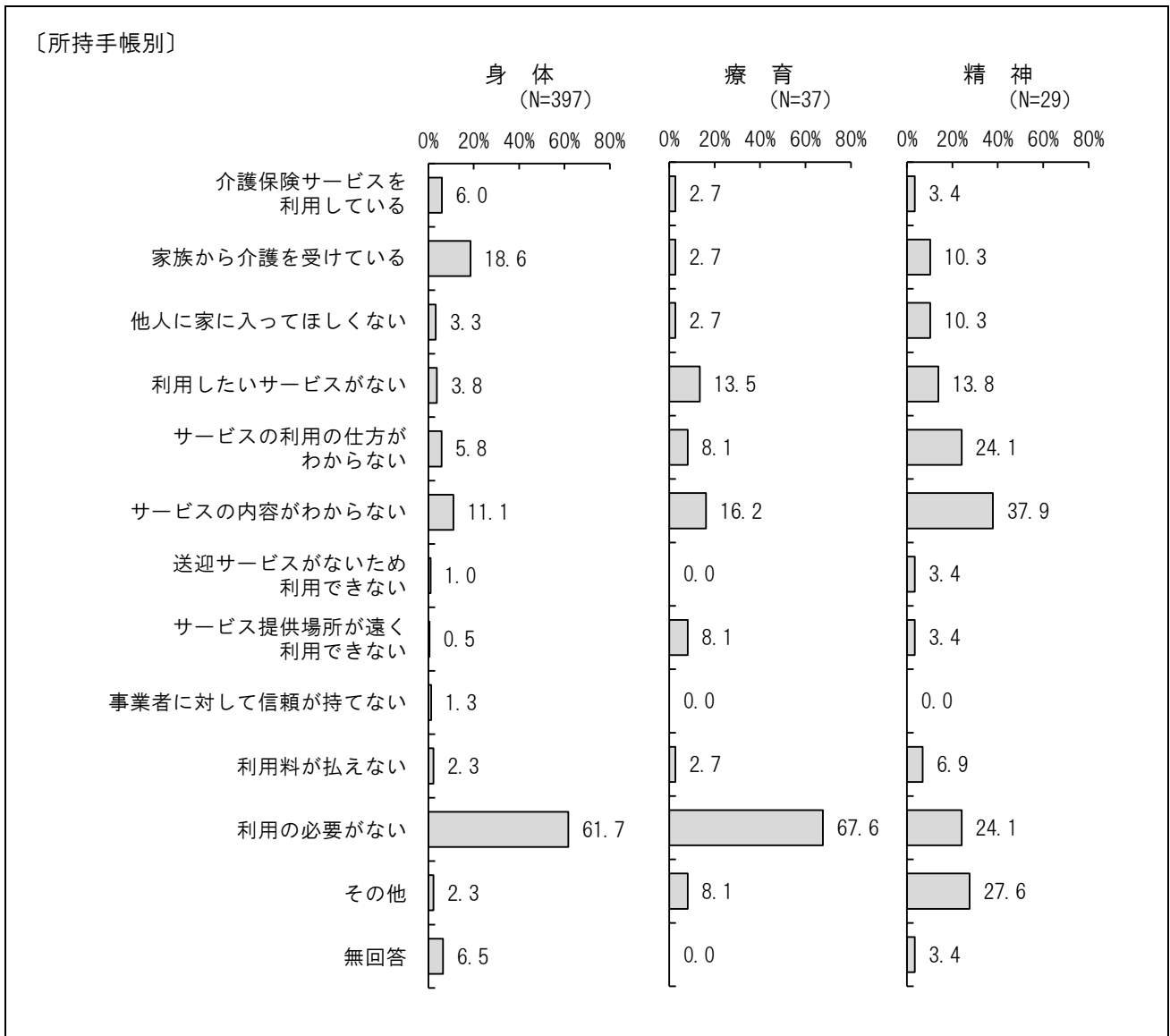
身体では「日常生活具給付等事業」(27.1%)、療育・精神では「就労継続支援(A・B)」(療育:36.6%、精神:46.2%)が最も多くなっている。また、療育では「放課後等デイサービス」(19.5%)、精神では「相談支援事業」(23.1%)が多くなっている。

(問 21-2 は、問 21 で「2 利用していない」に回答した方のみお答えください。)

問 21-2 現在、福祉サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

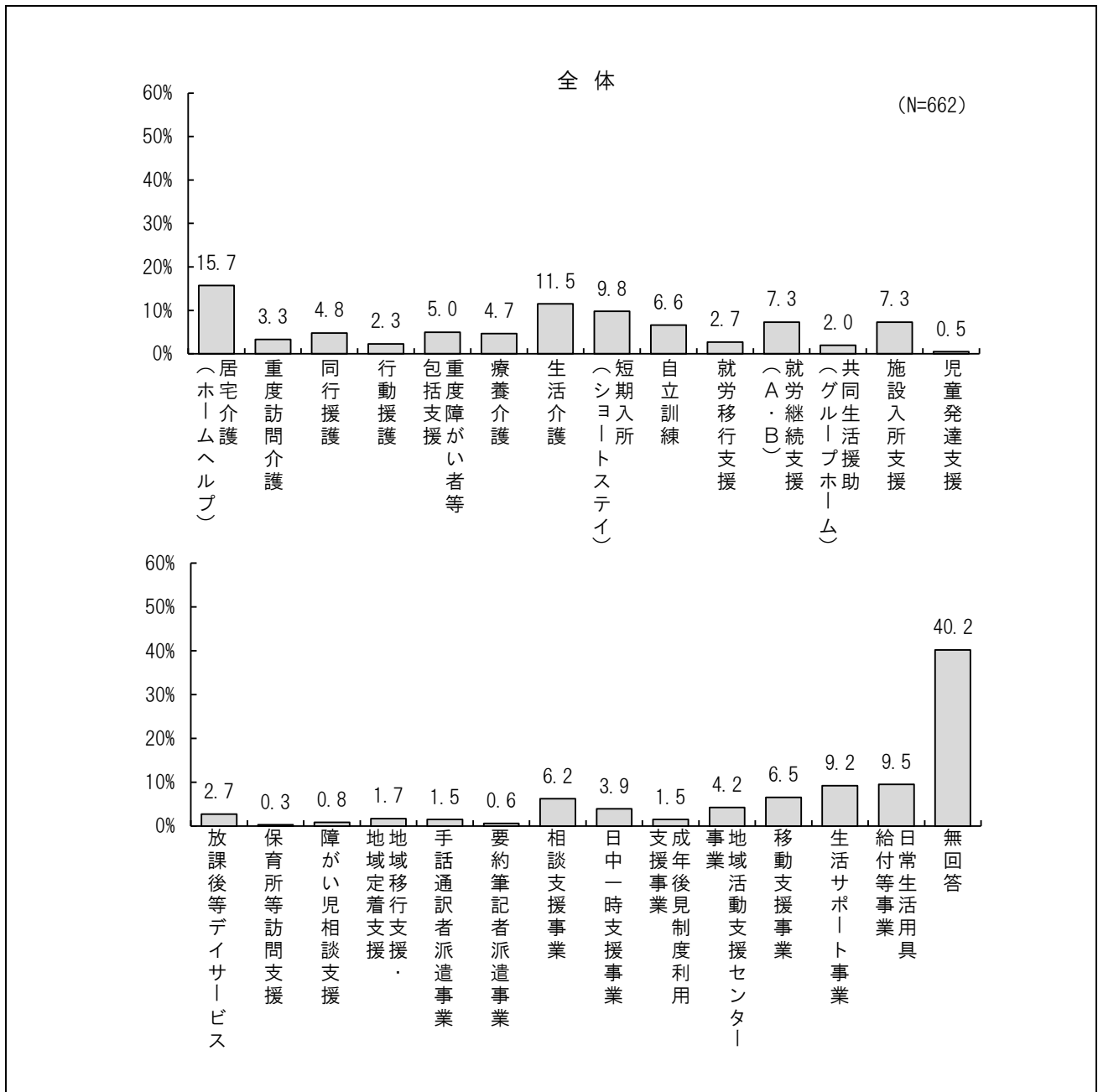


全体では「利用の必要がない」が 60.2%と最も多く、次いで「家族から介護を受けている」が 17.2%、「サービスの内容がわからない」が 13.0%などとなっている。



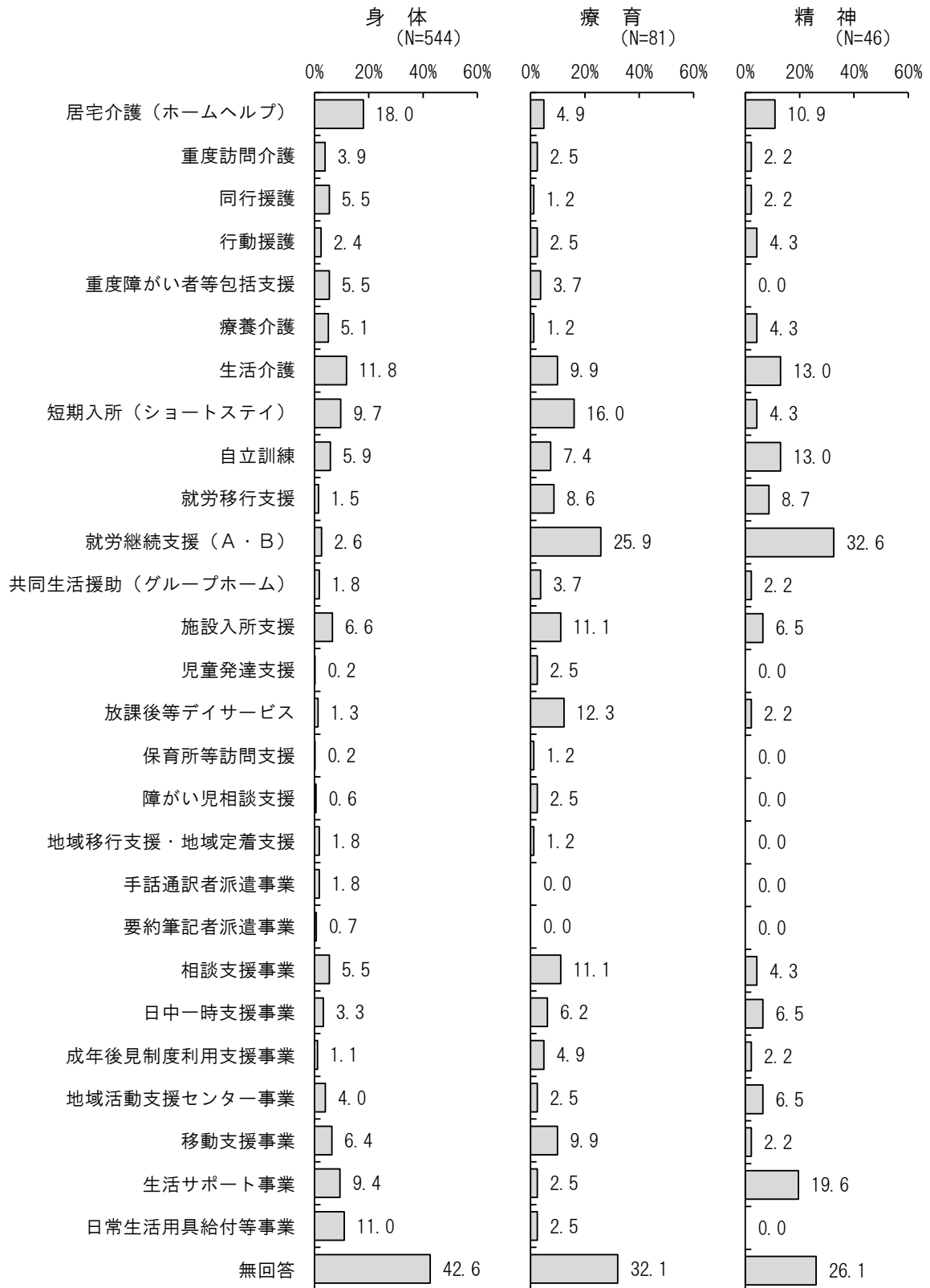
身体・療育では「利用の必要がない」（身体：61.7%、療育：67.6%）、精神では「サービスの内容がわからない」（37.9%）が最も多く、身体では次いで「家族から介護を受けている」（18.6%）、療育では次いで「サービスの内容がわからない」（16.2%）が多くなっている。また、精神では「サービスの利用の仕方がわからない」（24.1%）、「その他」（27.6%）が多くなっている。

問 22 今後利用したい（利用を継続したい）サービスは何ですか。（〇はあてはまるものすべて）



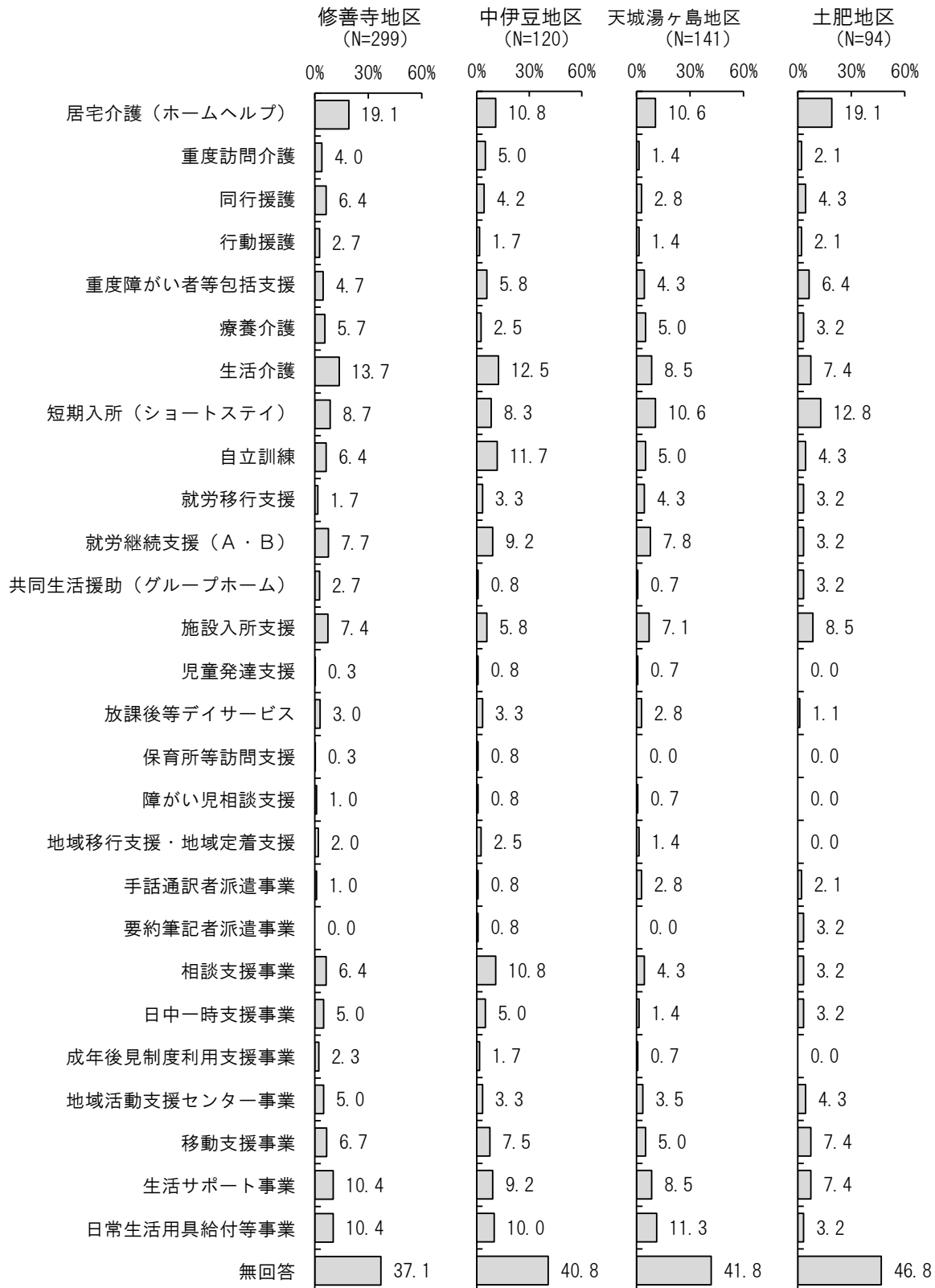
全体では「居宅介護（ホームヘルプ）」が 15.7%と最も多く、次いで「生活介護」が 11.5%、「短期入所（ショートステイ）」が 9.8%などとなっている。

〔所持手帳別〕



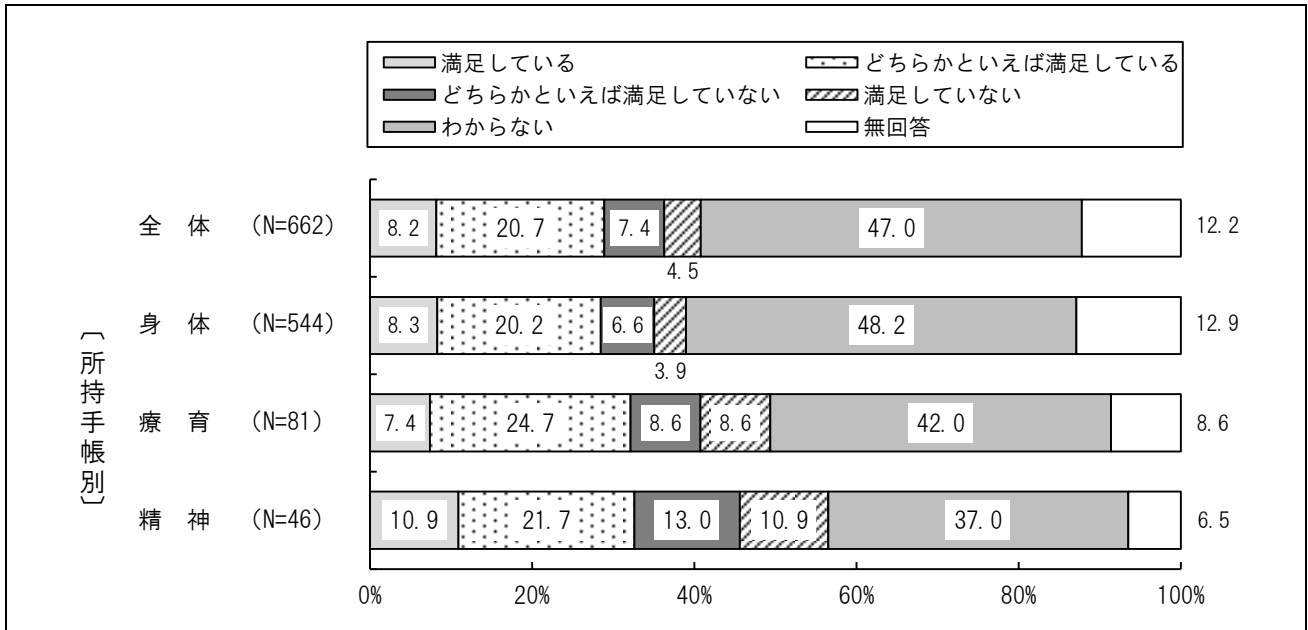
身体では「居宅介護 (ホームヘルプ)」(18.0%)、療育・精神では「就労継続支援A・B」(療育:25.9%、精神:32.6%) が最も多くなっている。また、療育では「放課後等デイサービス」(12.3%)、精神では「生活サポート事業」(19.6%) が多くなっている。

〔居住地区別〕



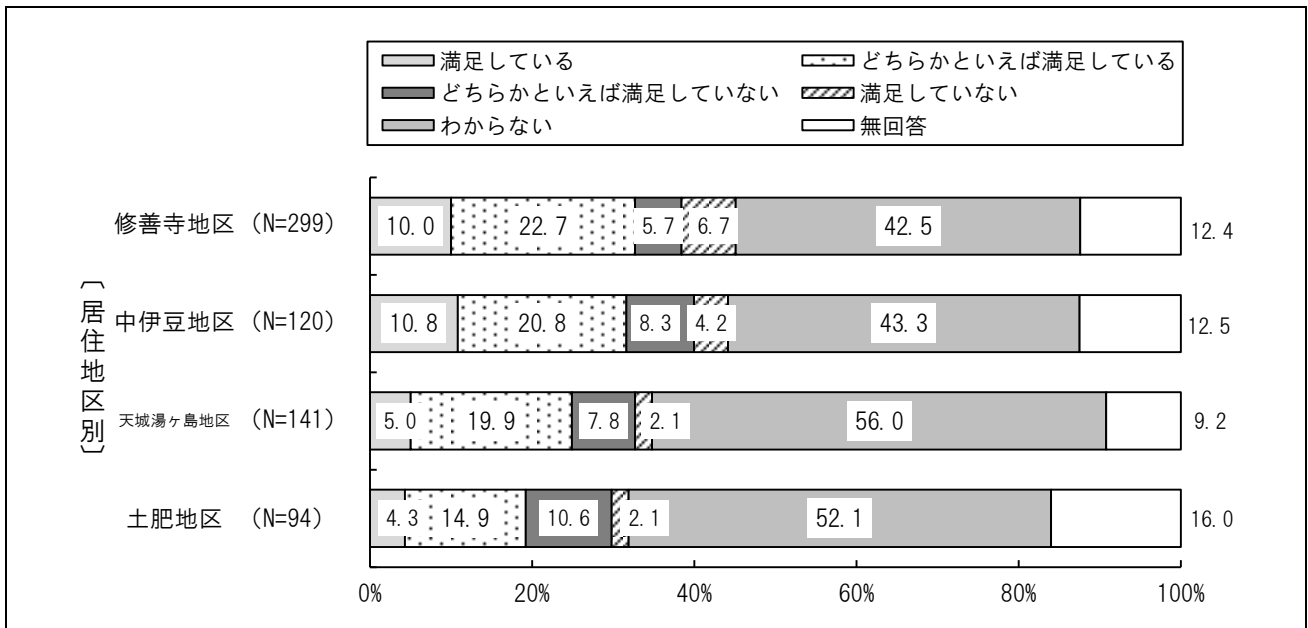
修善寺地区・天城湯ヶ島地区・土肥地区では「居宅介護（ホームヘルプ）」（修善寺地区：19.1%、天城湯ヶ島地区：10.6%、土肥地区：19.1%）、中伊豆地区では「生活介護」（12.5%）が最も多くなっている（天城湯ヶ島地区では「短期入所（ショートステイ）」（10.6%）も同率）が、地区別では大きな差は見られなかった。

問 23 障がい福祉サービス全般についてどのように思いますか。(〇は1つ)



全体では「わからない」が47.0%と最も多く、次いで「どちらかといえば満足している」が20.7%、「満足している」が8.2%などとなっている。「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』は28.9%、「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせた『不満』は11.9%となっている。

いずれの手帳区分でも「わからない」(身体：48.2%、療育：42.0%、精神：37.0%)が最も多くなっているが、精神では「どちらかといえば満足していない」と「満足していない」を合わせた『不満』(23.9%)は所持手帳別で最も多くなっている。

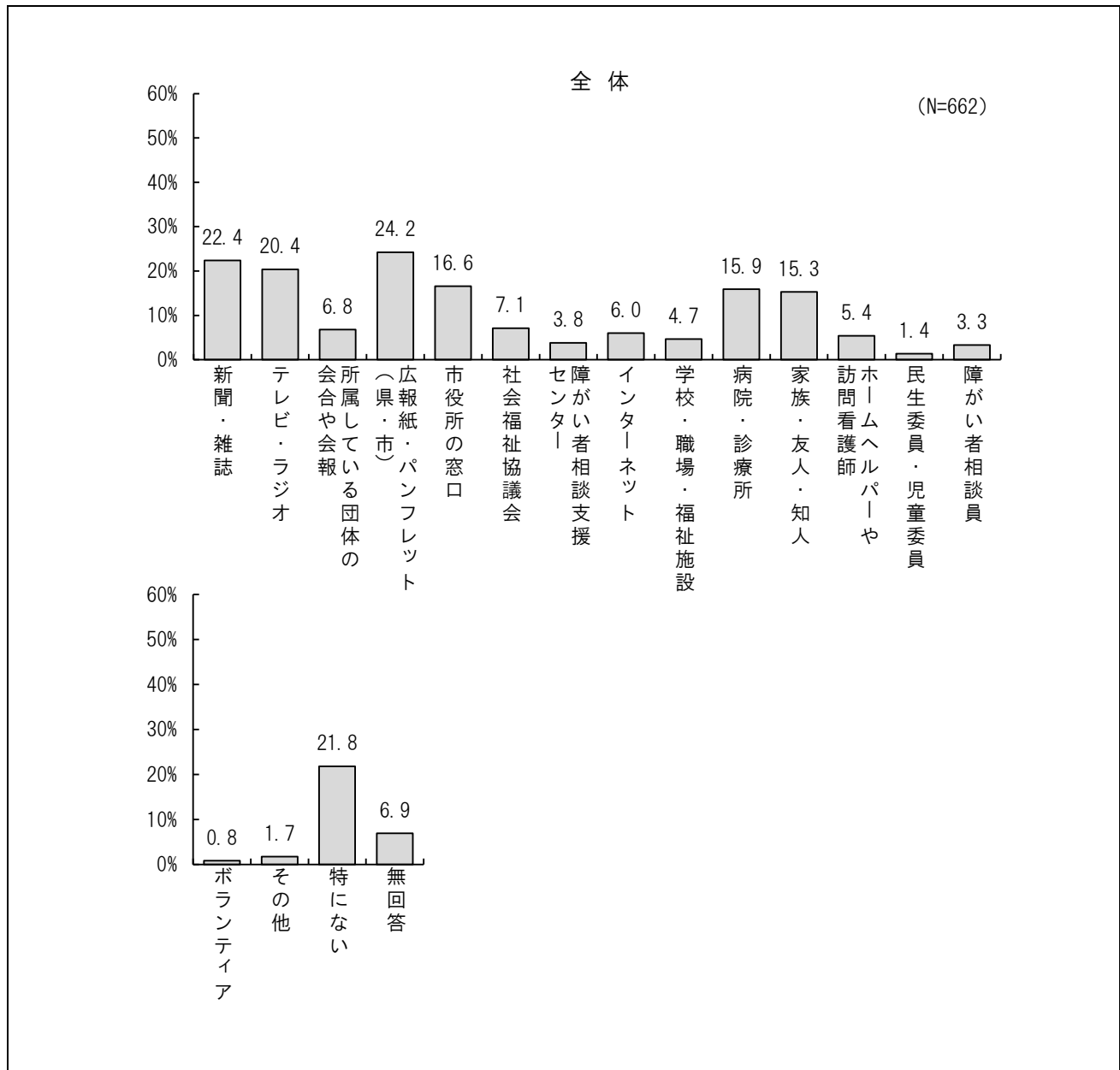


いずれの地区でも「わからない」(修善寺地区：42.5%、中伊豆地区：43.3%、天城湯ヶ島地区：56.0%、土肥地区：52.1%)が最も多くなっているが、修善寺地区・中伊豆地区では「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足』(修善寺地区：32.7%、中伊豆地区：31.6%)が3割を超えて多くなっている。

8 福祉に関する情報について

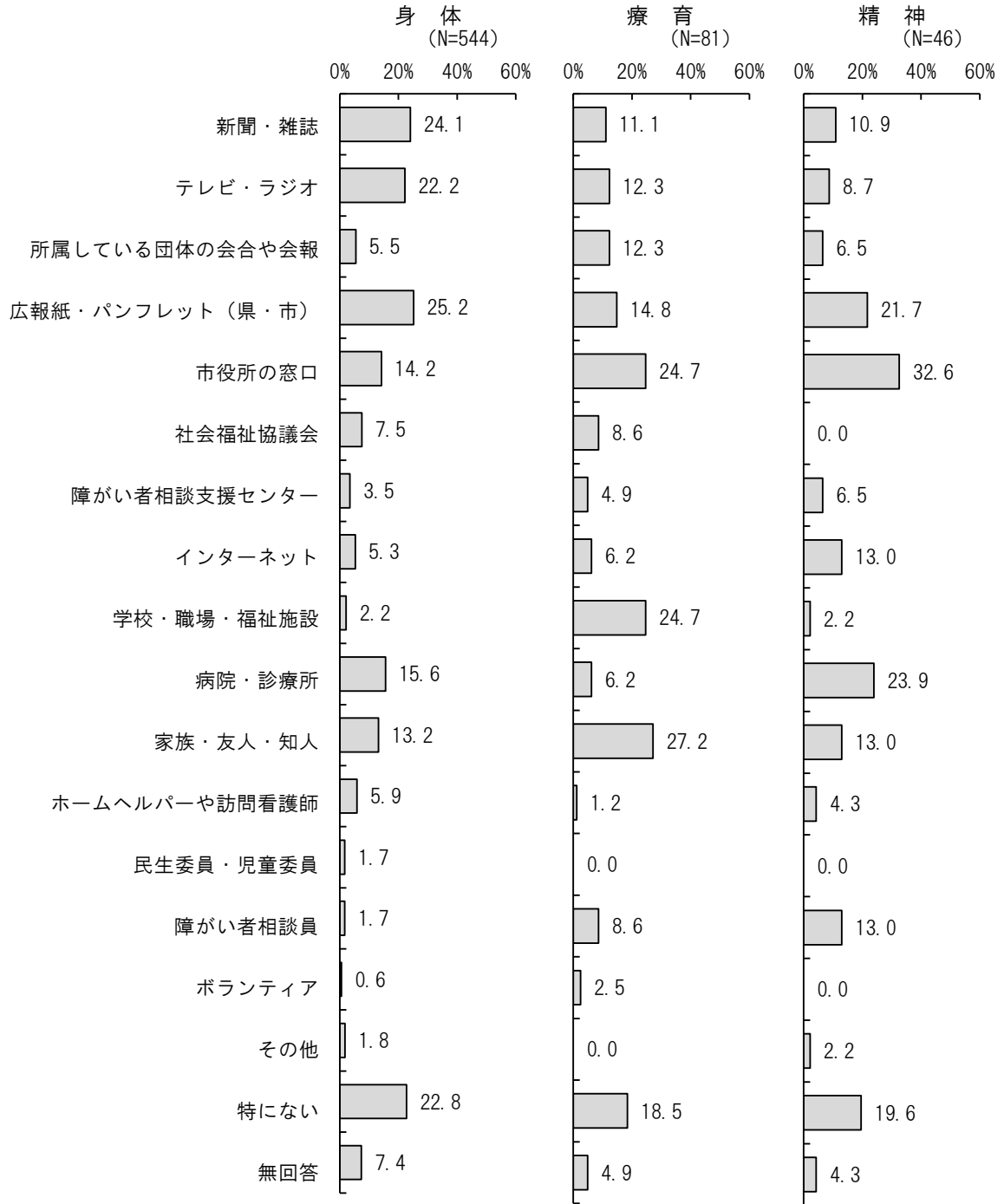
問 24 あなたは、ふだん、福祉サービスに関する情報を、主にどこから得ていますか。

(○はあてはまるものすべて)



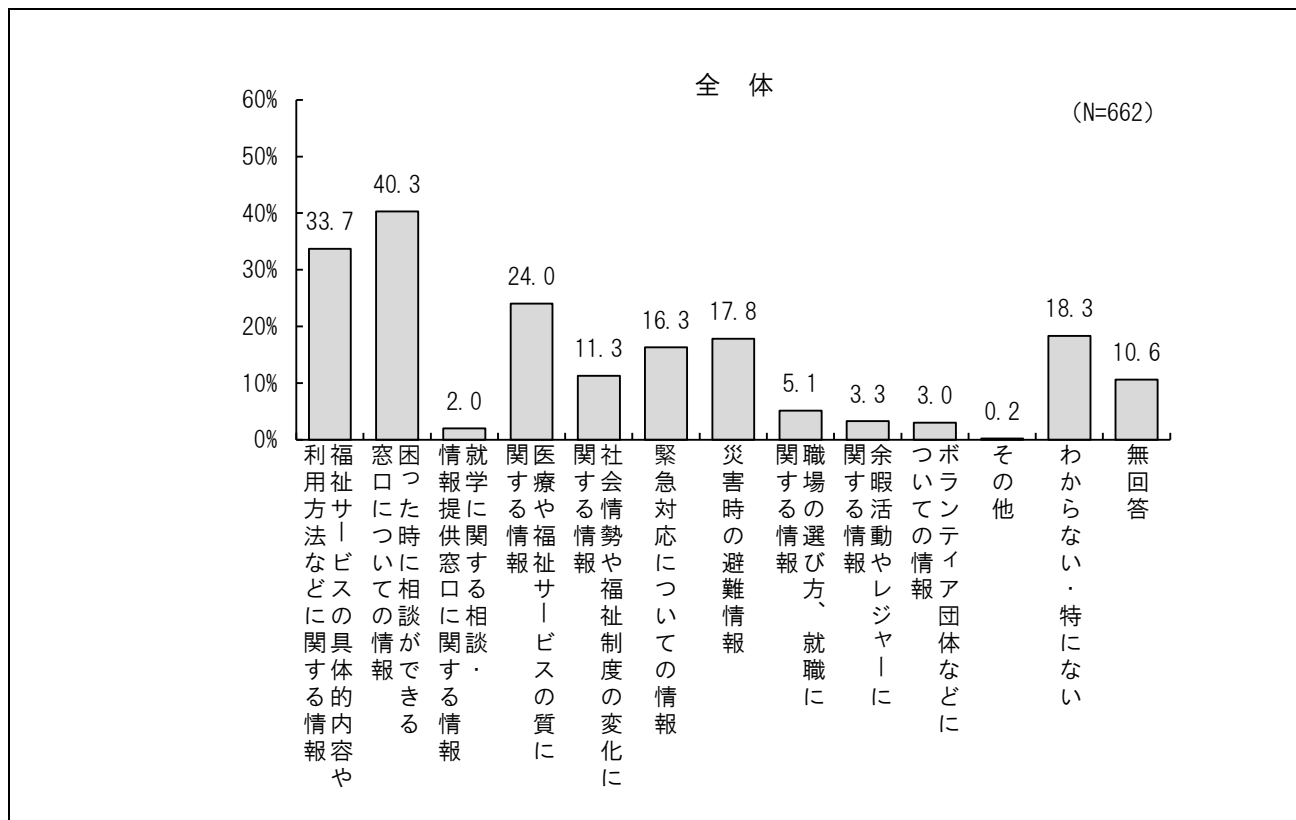
全体では「広報紙・パンフレット（県・市）」が24.2%と最も多く、次いで「新聞・雑誌」が22.4%、「特にない」が21.8%などとなっている。

〔所持手帳別〕



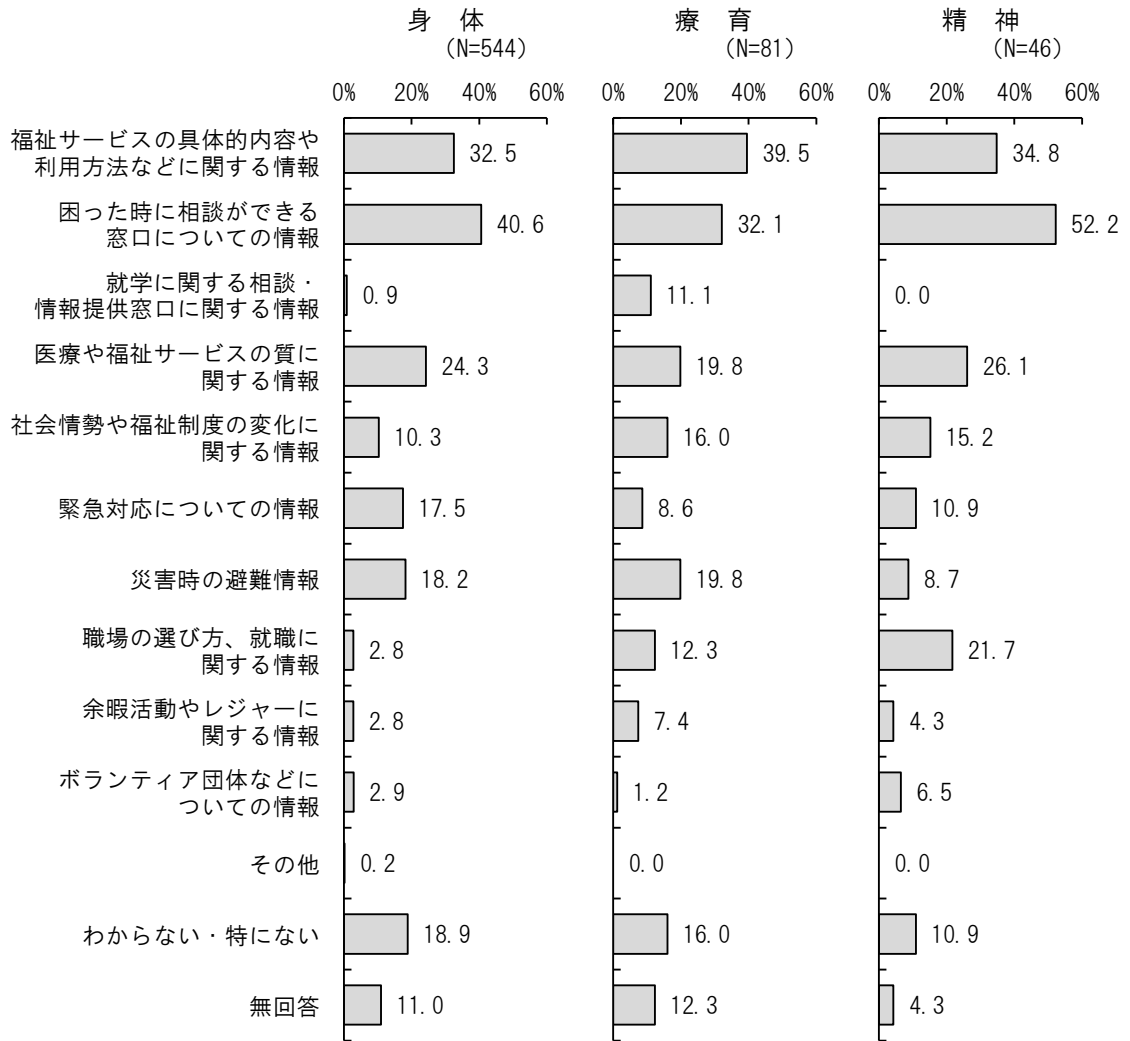
身体では「広報紙・パンフレット（県・市）」(25.2%)、療育では「家族・友人・知人」(27.2%)、精神では「市役所の窓口」(32.6%)が最も多くなっている。また、療育では「学校・職場・福祉施設」(24.7%)が多くなっている。

問 25 あなたにとって、今後充実してほしい情報は何ですか。(〇は3つまで)



全体では「困った時に相談ができる窓口についての情報」が40.3%と最も多く、次いで「福祉サービスの具体的な内容や利用方法などに関する情報」が33.7%、「医療や福祉サービスの質に関する情報」が24.0%などとなっている。

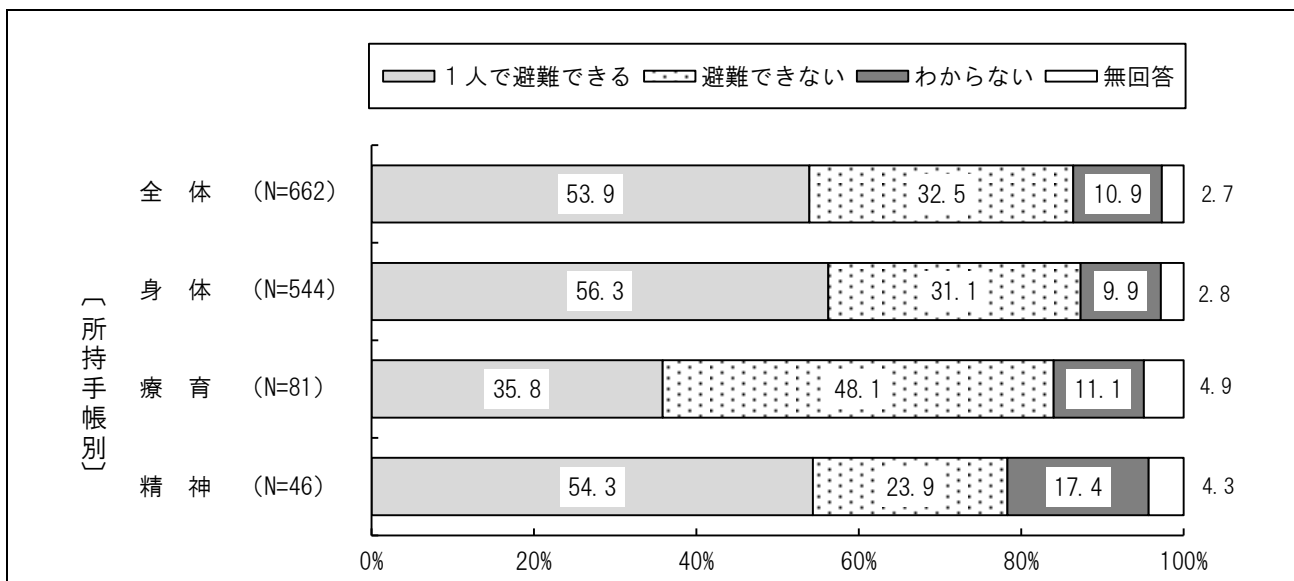
〔所持手帳別〕



身体・精神では「困った時に相談ができる窓口についての情報」（身体：40.6%、精神：52.2%）、療育では「福祉サービスの具体的内容や利用方法などに関する情報」（39.5%）が最も多くなっている。また、精神では「職場の選び方、就職に関する情報」（21.7%）が多くなっている。

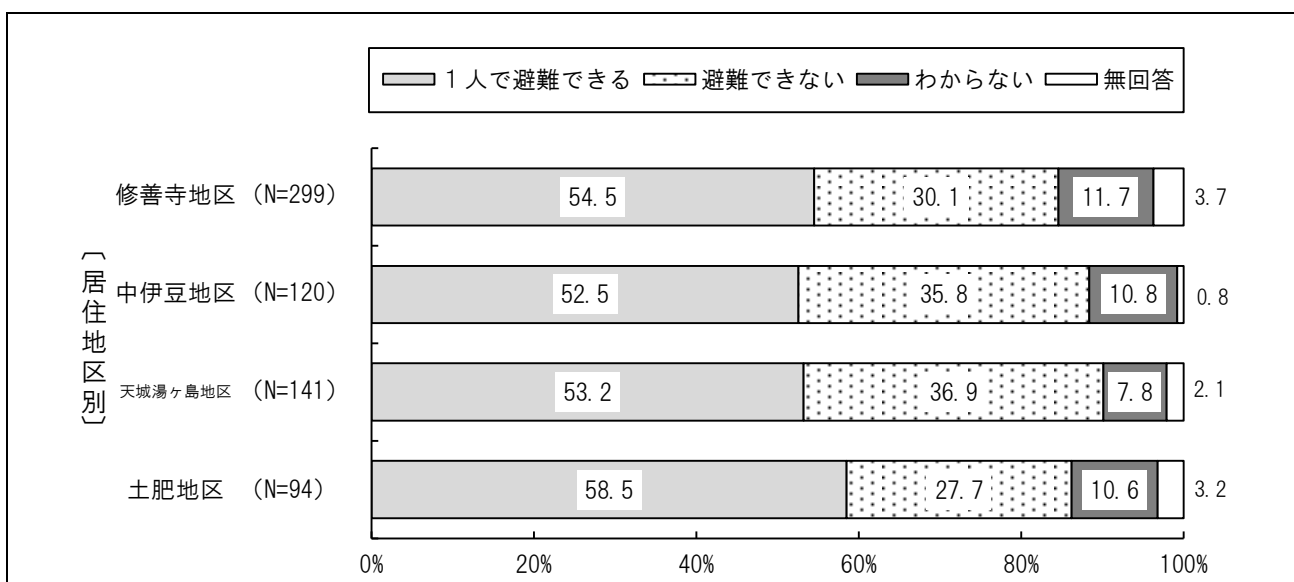
9 災害時のことについて

問 26 あなたは、災害などの緊急時、1人で避難できますか。(〇は1つ)



全体では「1人で避難できる」が53.9%と最も多く、次いで「避難できない」が32.5%、「わからない」が10.9%となっている。

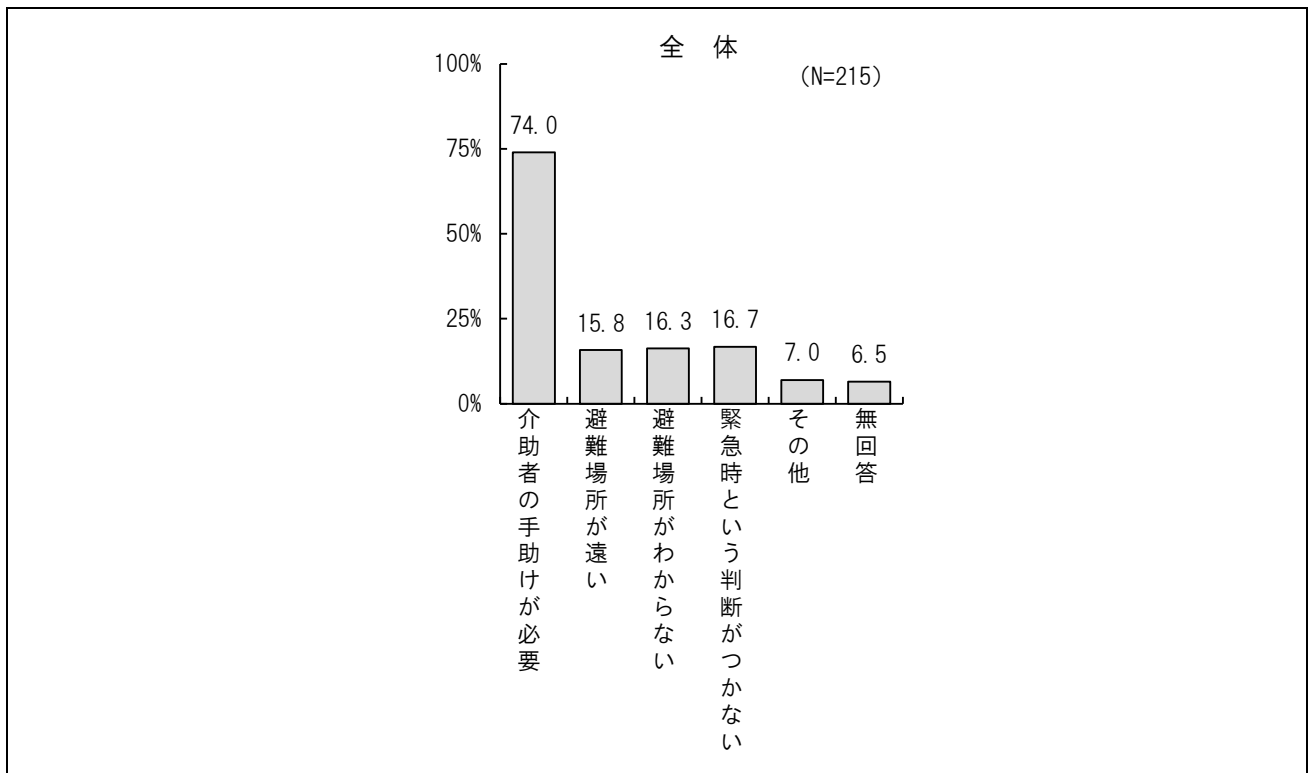
身体・精神では「1人で避難できる」(身体:56.3%、精神:54.3%)、療育では「避難できない」(48.1%)が最も多くなっている。



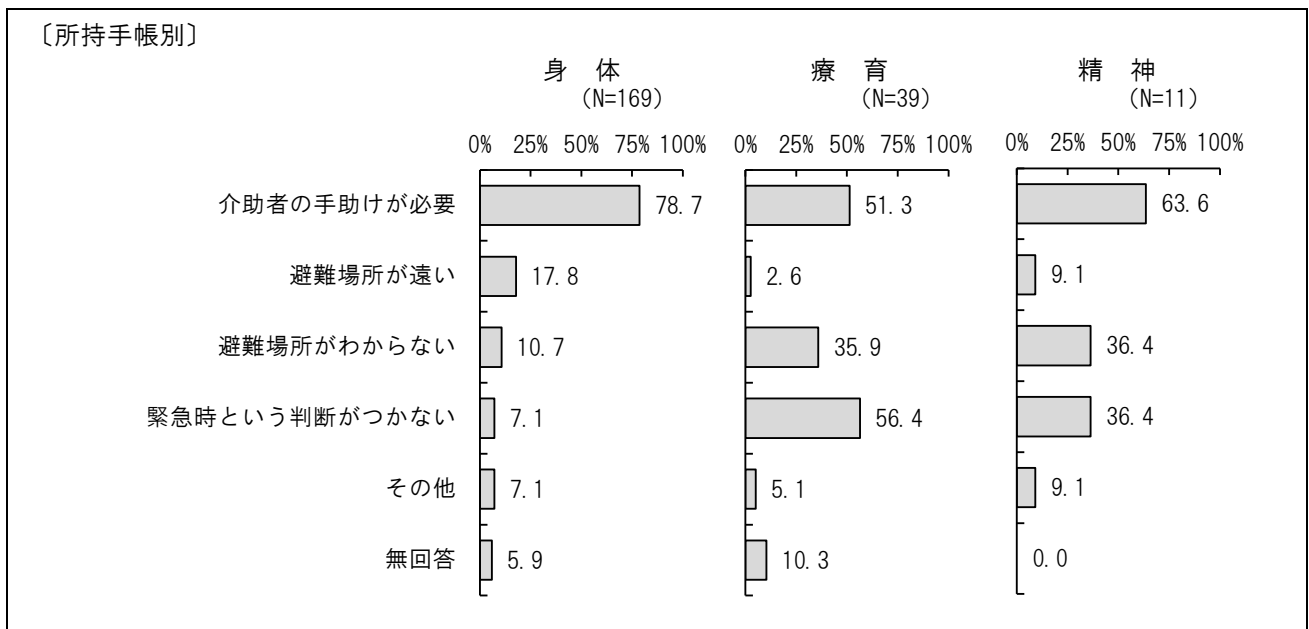
いずれの地区でも「1人で避難できる」(修善寺地区:54.5%、中伊豆地区:52.5%、天城湯ヶ島地区:53.2%、土肥地区:58.5%)が最も多く、「避難できない」は3割程度となっており、大きな差は見られなかった。

(問 26-1、問 26-2は、問 26 で「2 避難できない」に回答した方(かた)のみお答えください。)

問 26-1 1人で避難できない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)



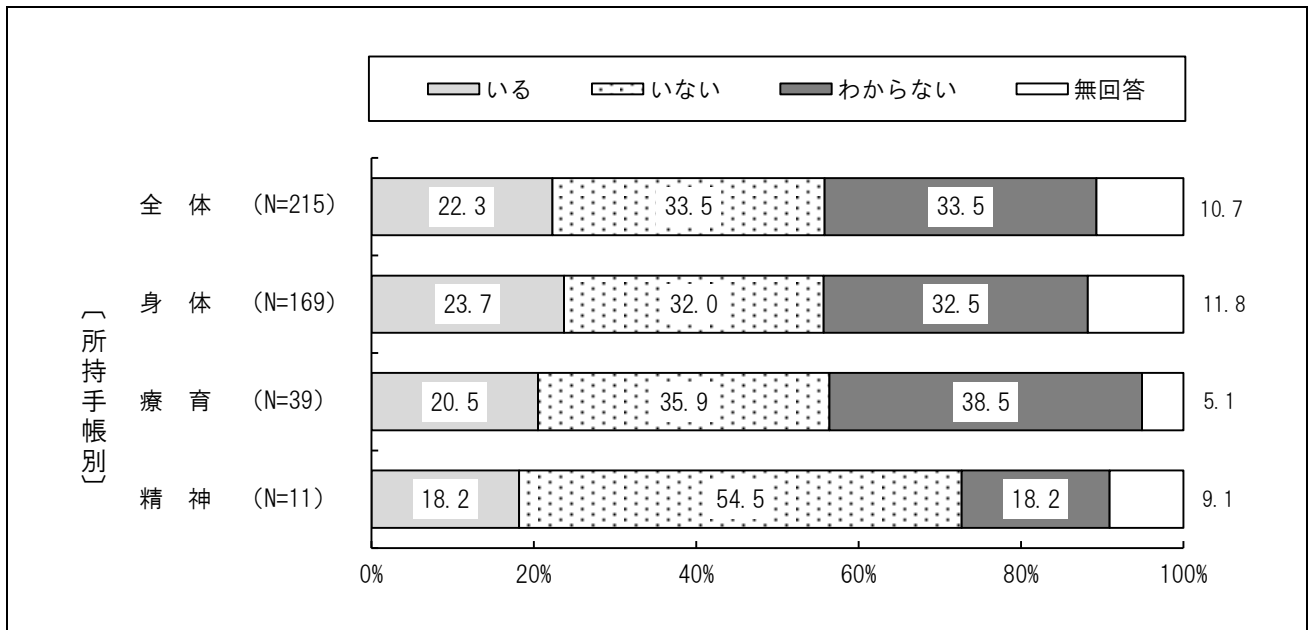
全体では「介助者の手助けが必要」が74.0%と最も多く、次いで「緊急時という判断がつかない」が16.7%、「避難場所がわからない」が16.3%などとなっている。



身体・精神では「介助者の手助けが必要」(身体：78.7%、精神：63.6%)、療育では「緊急時という判断がつかない」(56.4%)が最も多くなっている。また、療育では「避難場所がわからない」(35.9%)、精神では「避難場所がわからない」と「緊急時という判断がつかない」(各36.4%)が多くなっている。

(問 26-1、問 26-2は、問 26で「2 避難できない」に回答した方(かた)のみお答えください。)

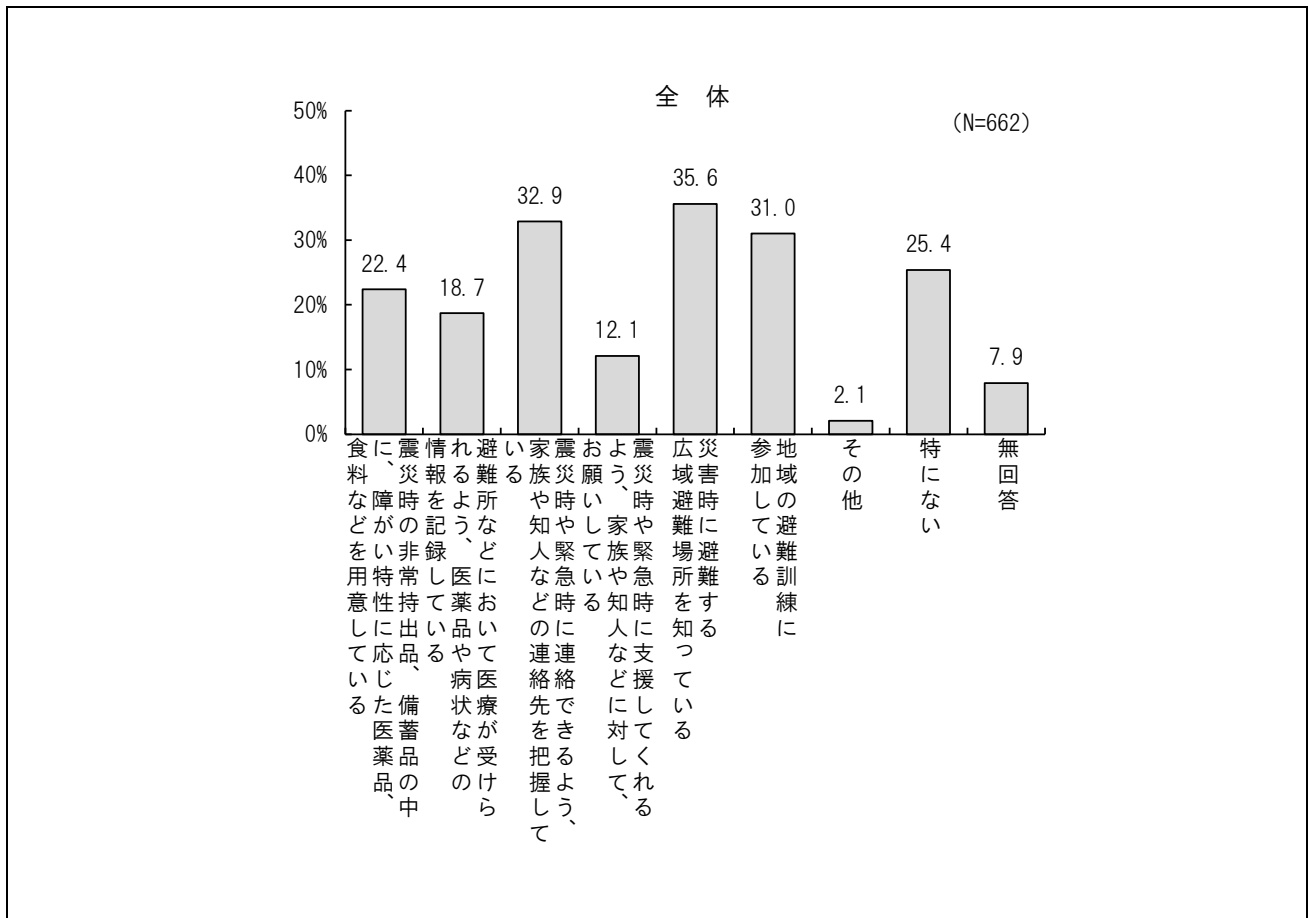
問 26-2 家族や介助者などが不在、またはひとり暮らしの場合に、火事や地震などの災害が発生した時、ご近所に助けてくれる方はいますか。(○は1つ)



全体では「いない」と「わからない」がそれぞれ 33.5%と最も多く、次いで「いる」が 22.3%となっている。

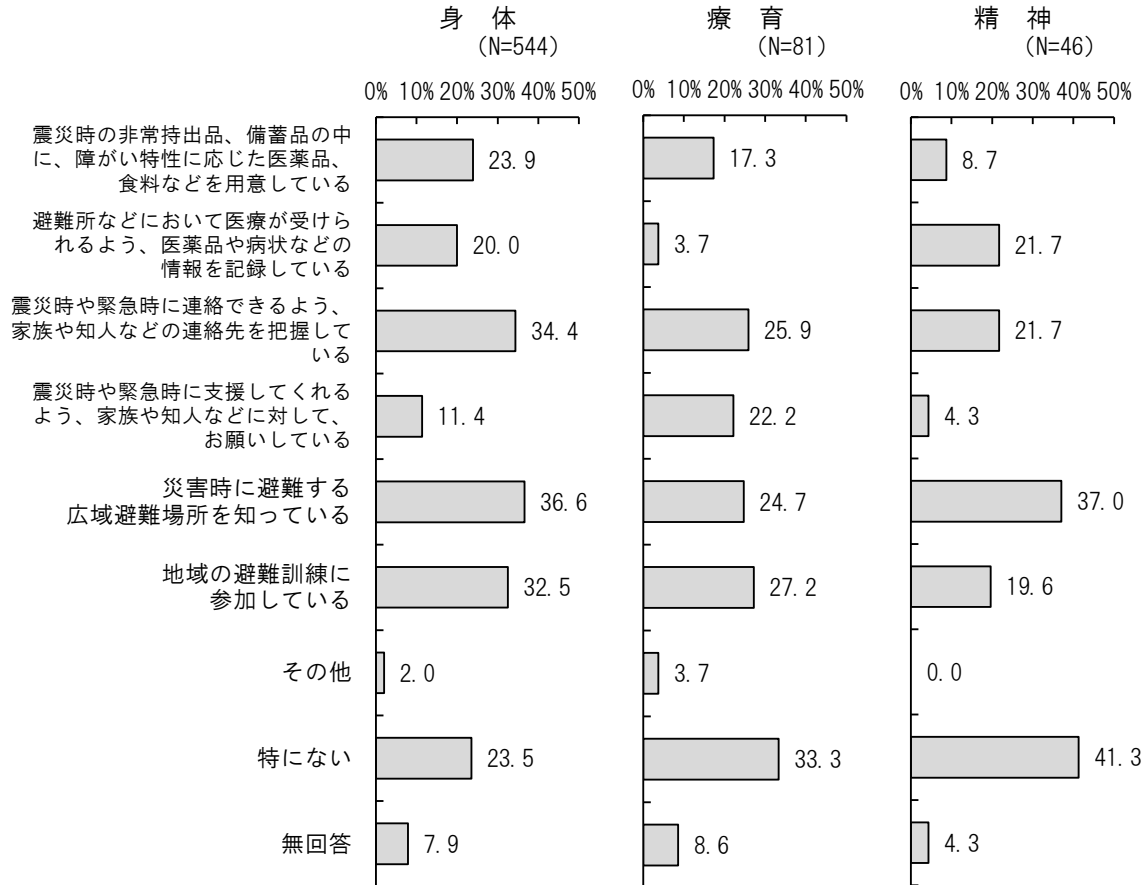
身体・療育では「わからない」(身体：32.5%、療育：38.5%)、精神では「いない」(54.5%)が最も多くなっている。

問 27 あなたは、震災に備えて、対策をとっていますか。(〇はあてはまるものすべて)



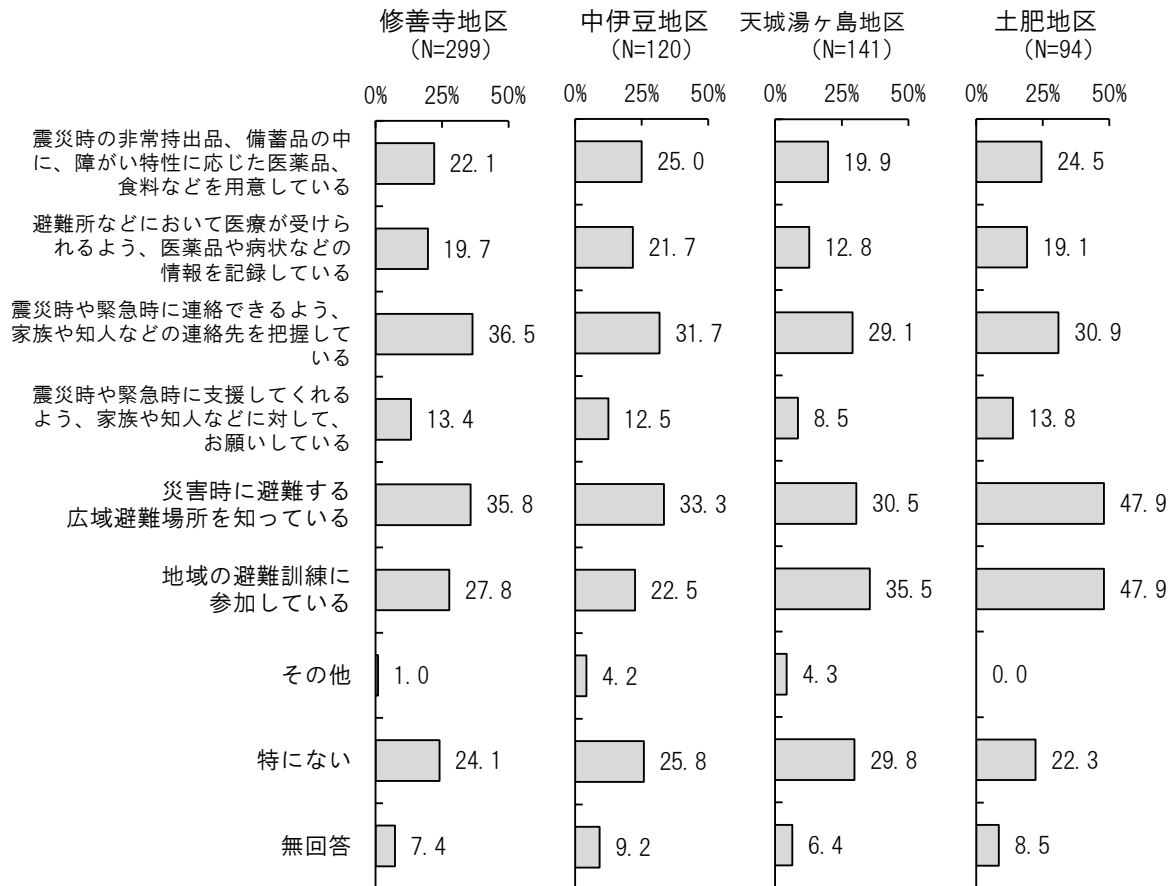
全体では「災害時に避難する広域避難場所を知っている」が 35.6%と最も多く、次いで「震災時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人などの連絡先を把握している」が 32.9%、「地域の避難訓練に参加している」が 31.0%などとなっている。

〔所持手帳別〕



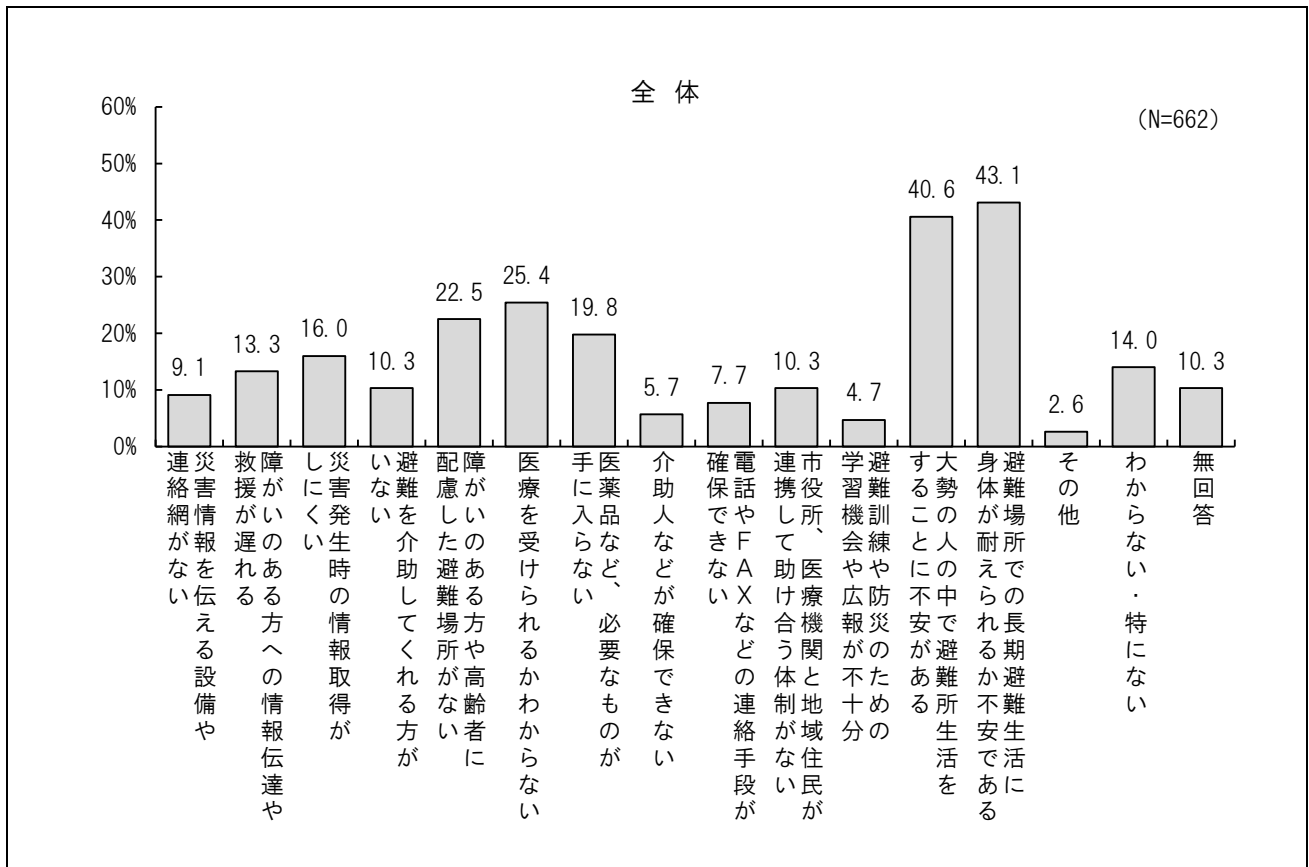
身体では「災害時に避難する広域避難場所を知っている」(36.6%)、療育・精神では「特にない」(療育:33.3%、精神:41.3%)が最も多く、療育では次いで「地域の避難訓練に参加している」(27.2%)、精神では次いで「災害時に避難する広域避難場所を知っている」(37.0%)となっている。また、療育では「震災時や緊急時に支援してくれるよう、家族や知人などに対して、お願いしている」(22.2%)が多くなっている。

〔居住地区別〕



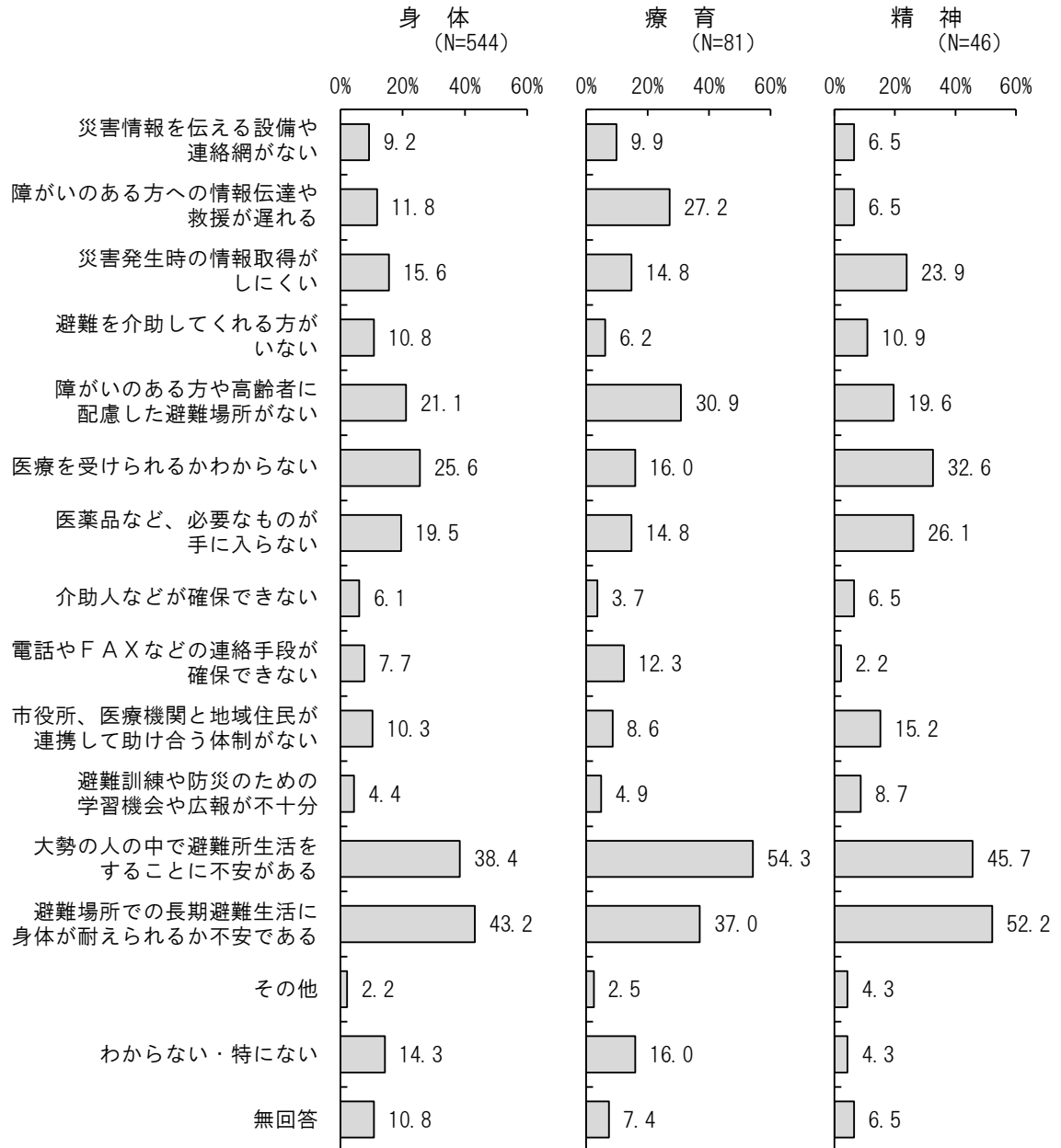
修善寺地区では「震災時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人などの連絡先を把握している」(36.5%)、中伊豆地区では「災害時に避難する広域避難場所を知っている」(33.3%)、天城湯ヶ島地区では「地域の避難訓練に参加している」(35.5%)、土肥地区では「災害時に避難する広域避難場所を知っている」と「地域の避難訓練に参加している」(各 47.9%) が最も多くなっている。また、修善寺地区・中伊豆地区では「地域の避難訓練に参加している」(修善寺地区：27.8%、中伊豆地区：22.5%) が3割を下回っている。

問 28 地震や台風などの災害が発生した時、何が不安ですか。(〇はあてはまるものすべて)



全体では「避難場所での長期避難生活に身体が耐えられるか不安である」が43.1%と最も多く、次いで「大勢の人の中で避難所生活をするに不安がある」が40.6%、「医療を受けられるかわからない」が25.4%などとなっている。

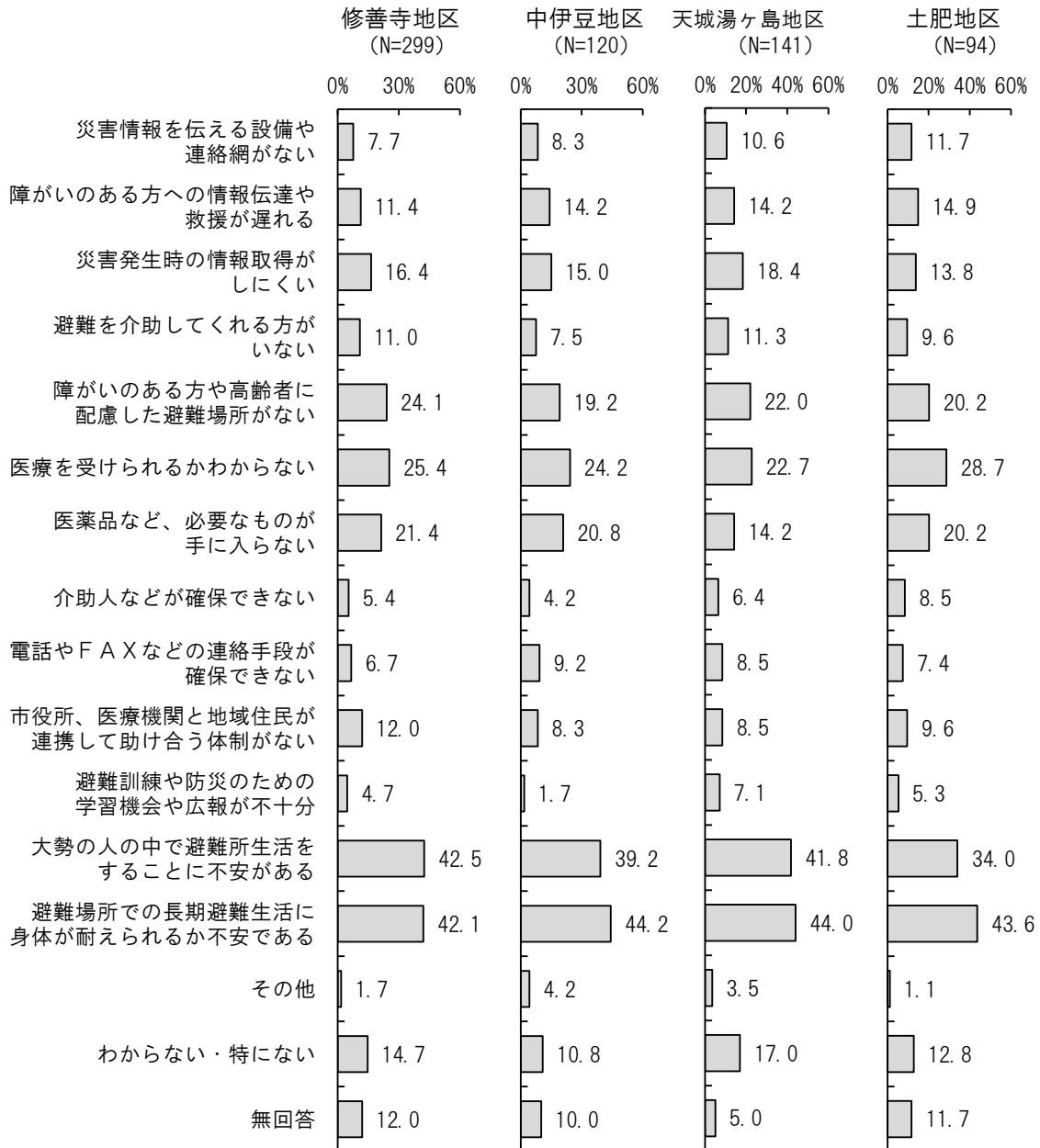
〔所持手帳別〕



身体・精神では「避難場所での長期避難生活に身体が耐えられるか不安である」（身体：43.2%、精神：52.2%）、療育では「大勢の人の中で避難所生活をするに不安がある」（54.3%）が最も多くなっている。また、療育では「障がいのある人への情報伝達や救援が遅れる」（27.2%）が多くなっている。

いずれの手帳区分でも「大勢の人の中で避難所生活をするに不安がある」と「避難場所での長期避難生活に身体が耐えられるか不安である」が多く、災害発生時の主要な不安要素となっている。

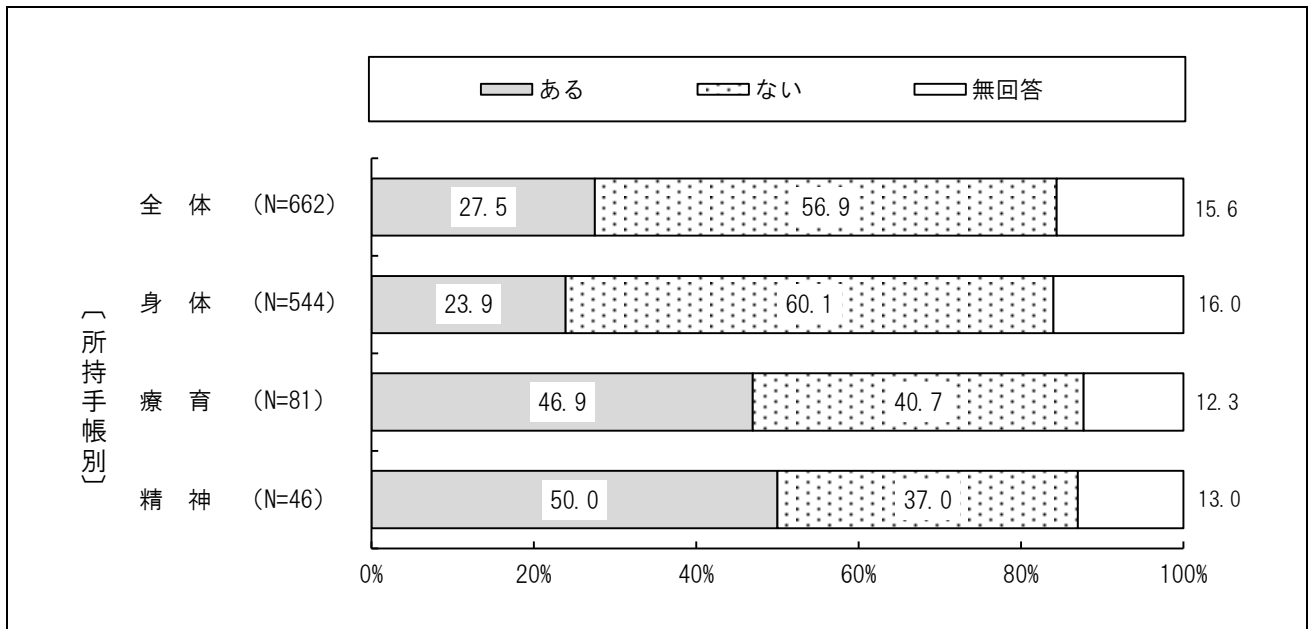
〔居住地区別〕



地区別では、大きな差は見られなかったが、いずれの地区でも「大勢の人の中で避難所生活をするに不安がある」と「避難場所での長期避難生活に身体が耐えられるか不安である」が多くなっている。

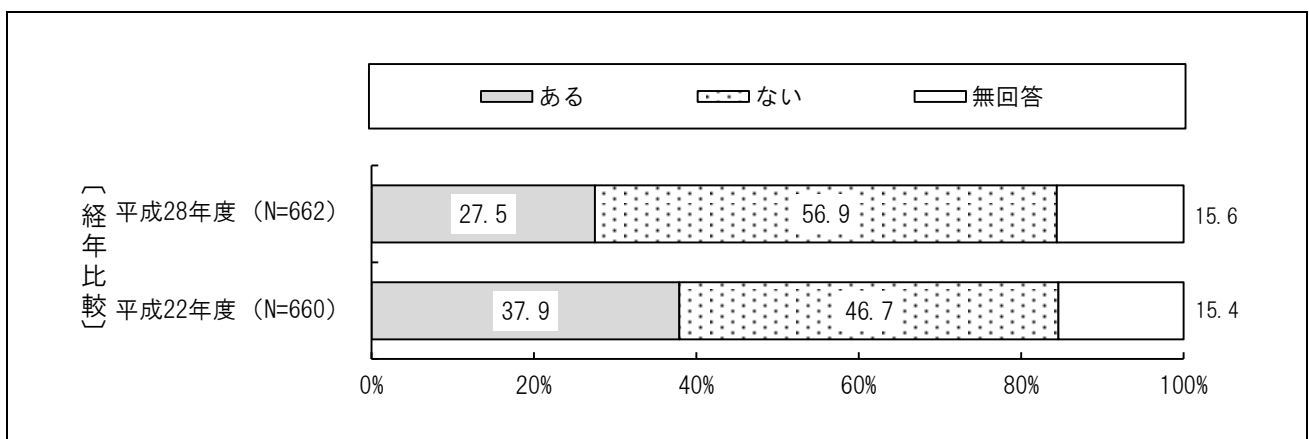
10 人権・権利擁護について

問 29 あなたは、地域社会の中で障がいのある方に対する意識に特別な隔たりがあると思いますか。
(○は1つ)



全体では「ある」が27.5%、「ない」が56.9%となっている。

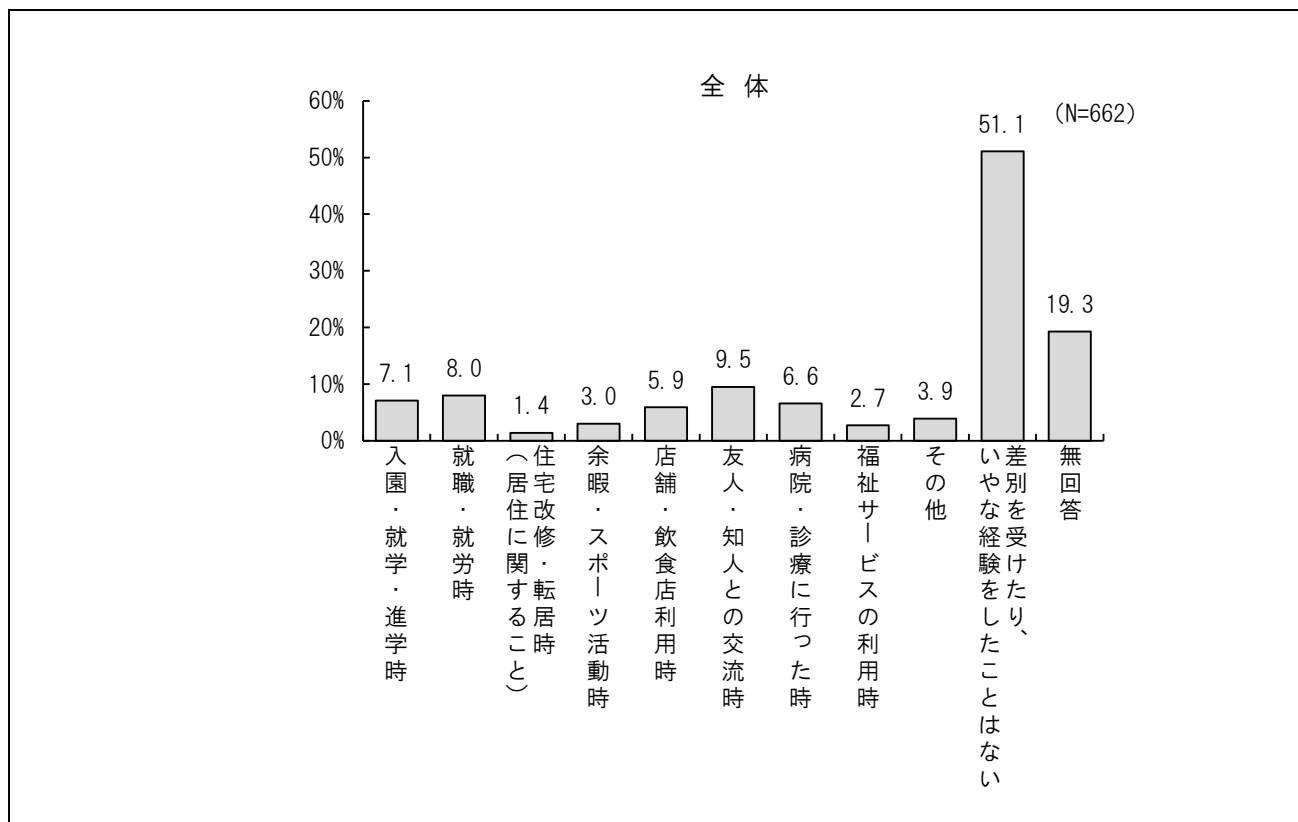
身体では「ない」(60.1%)、療育・精神では「ある」(療育：46.9%、精神：50.0%)が多くなっている。



前回調査との比較では、「ある」が平成22年度よりも10.4ポイント少なくなっている。「ない」は平成22年度よりも10.2ポイント多くなっている。

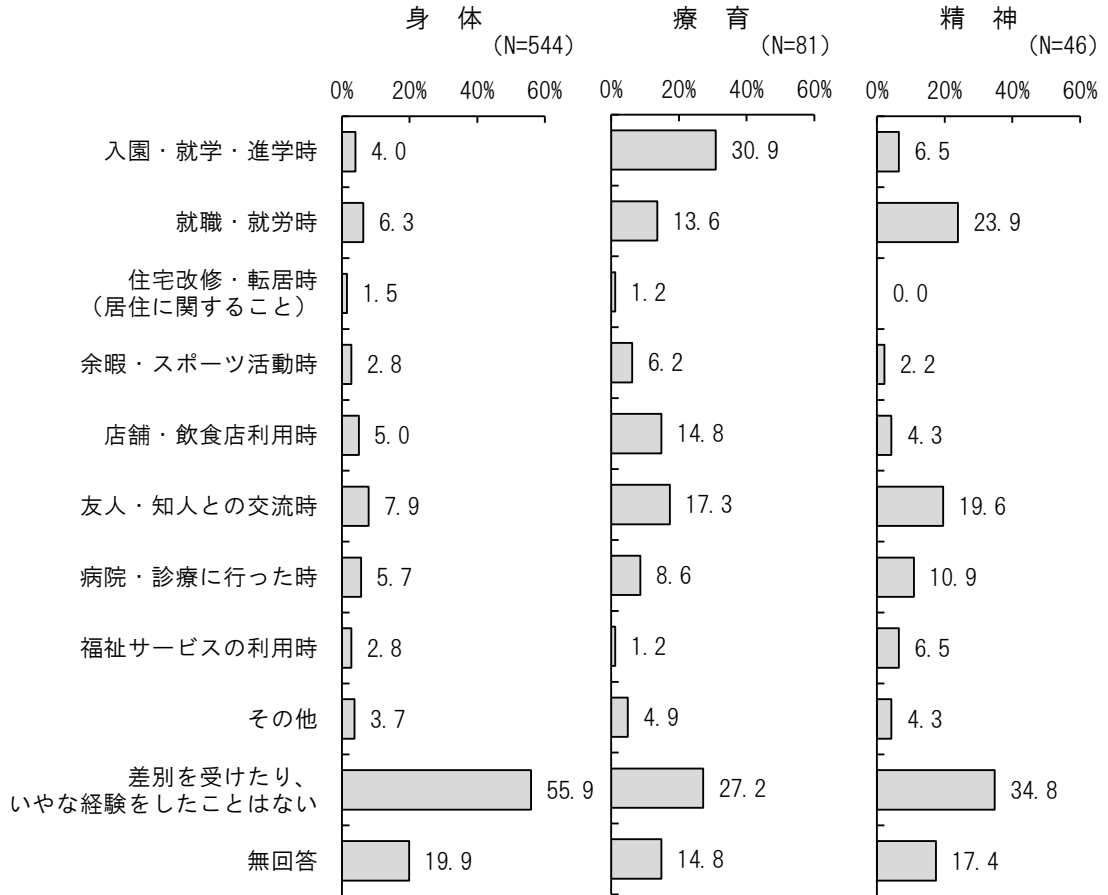
問 30 あなたは、どのようなときに差別を受けたり、いやな経験をしましたか。

(○はあてはまるものすべて)



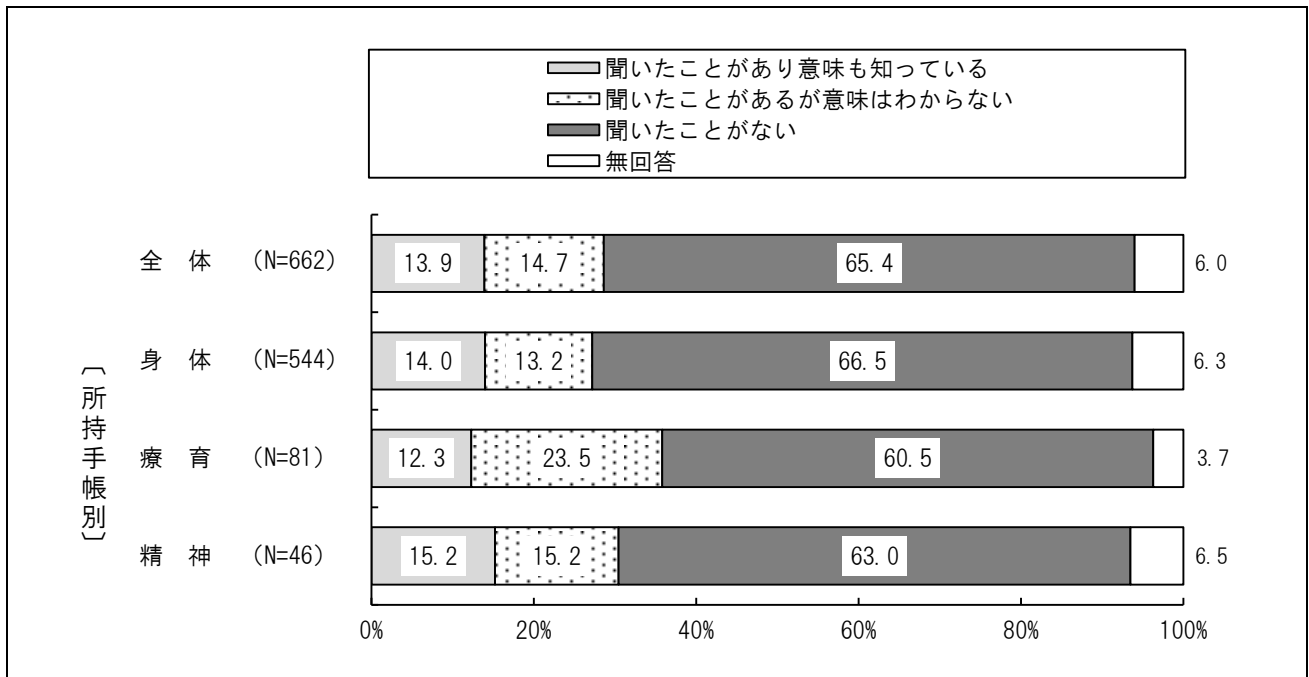
全体では「差別を受けたり、いやな経験をしたことはない」が51.1%と最も多く、次いで「友人・知人との交流時」が9.5%、「就職・就労時」が8.0%などとなっている。

〔所持手帳別〕



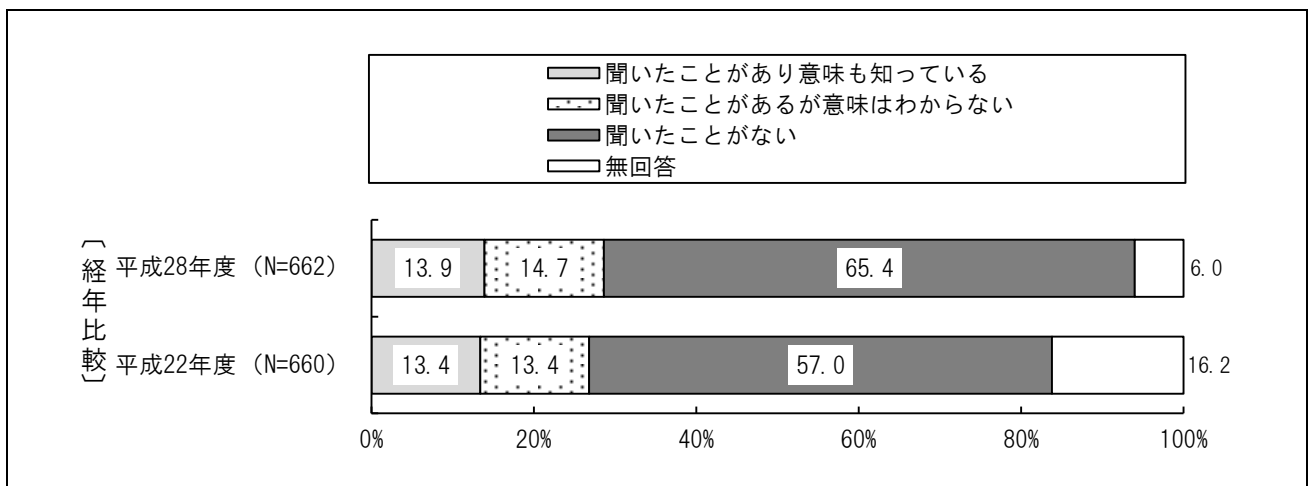
身体・精神では「差別を受けたり、いやな経験をしたことはない」（身体：55.9%、精神：34.8%）、療育では「入園・就学・進学時」（30.9%）が最も多く、身体では次いで「友人・知人との交流時」（7.9%）、精神では次いで「就職・就労時」（23.9%）となっている。また、精神では「友人・知人との交流時」（19.6%）が多くなっている。

問 31 あなたは、障がいのある方もない方も誰もが地域のなかで、普通の生活をしていくことができる社会にすべきだという考え方である「ノーマライゼーション」という言葉についてご存知ですか。
(○は1つ)



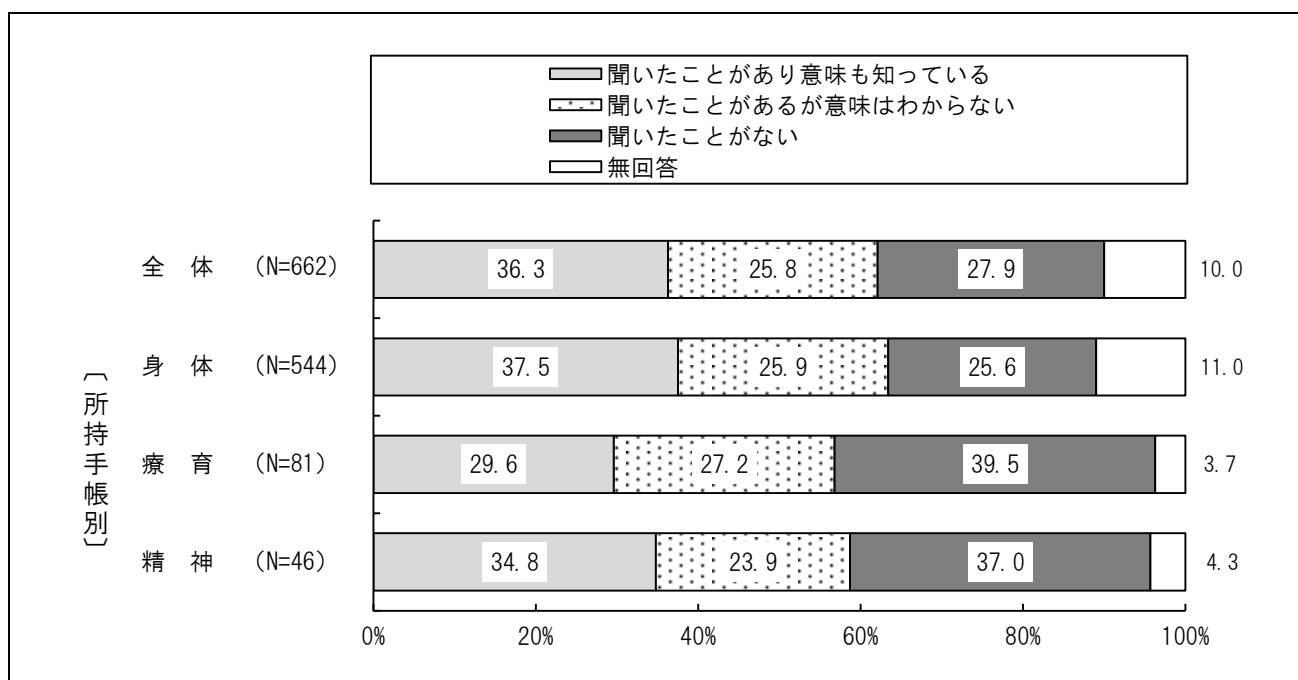
全体では「聞いたことがない」が65.4%と最も多く、次いで「聞いたことはあるが意味はわからない」が14.7%、「聞いたことがあり意味も知っている」が13.9%となっている。

所持手帳別による差はあまり見られないが、療育では「聞いたことはあるが意味はわからない」(23.5%)がやや多くなっている。



前回調査との比較では、「聞いたことがない」が平成22年度よりも8.4ポイント多くなっている。

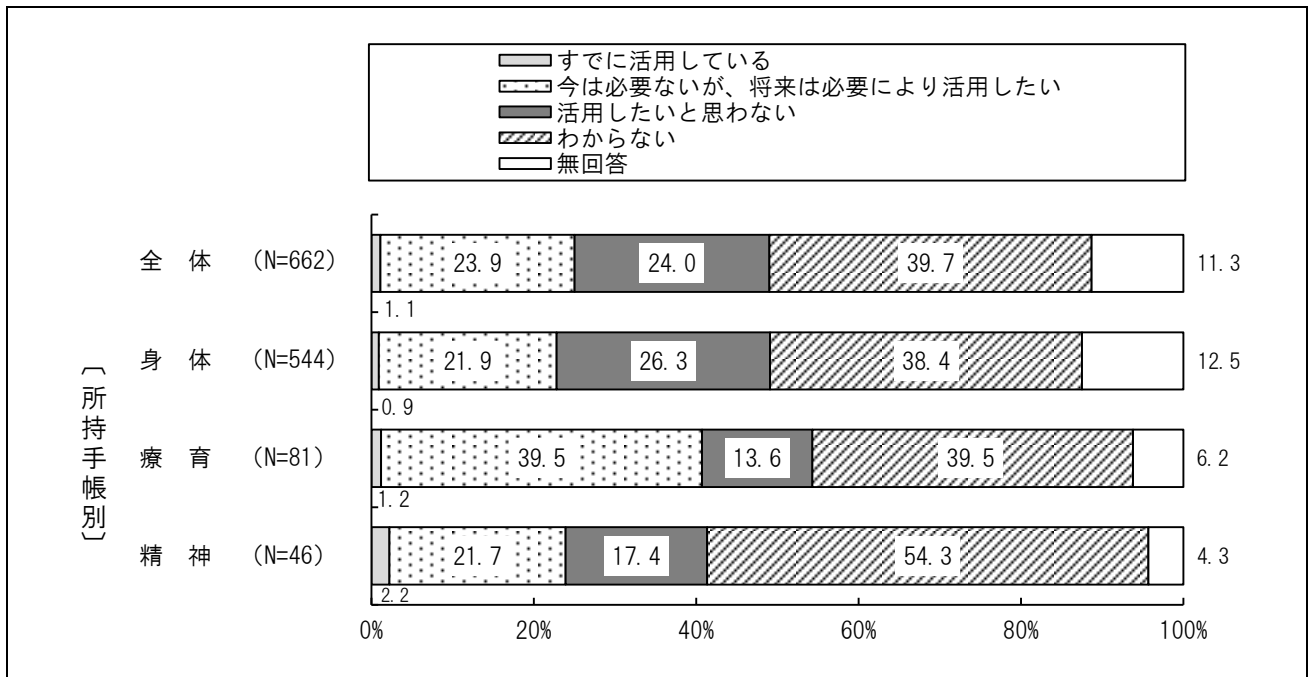
問 32 あなたは、知的障がいや精神障がいなどの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度である「成年後見制度」についてご存知ですか。(〇は1つ)



全体では「聞いたことがあり意味も知っている」が 36.3%と最も多く、次いで「聞いたことがない」が 27.9%、「聞いたことはあるが意味はわからない」が 25.8%となっている。

身体では「聞いたことがあり意味も知っている」(37.5%)、療育・精神では「聞いたことがない」(療育：39.5%、精神：37.0%) が最も多くなっている。

問 33 あなたは、「成年後見制度」を活用したいと思いますか。(○は1つ)

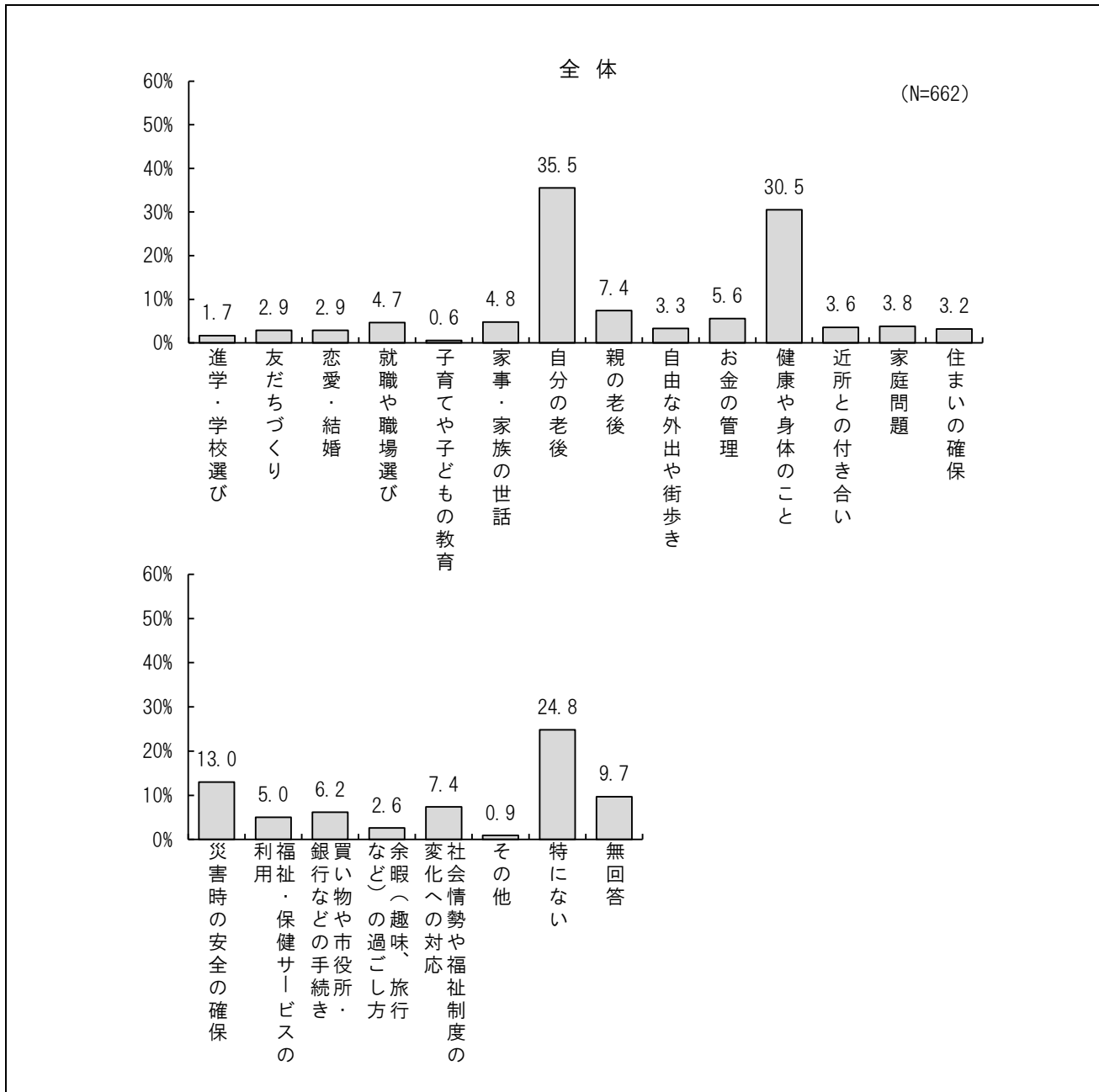


全体では「わからない」が39.7%と最も多く、次いで「活用したいと思わない」が24.0%、「今は必要ないが、将来は必要により活用したい」が23.9%となっている。

いずれの手帳区分でも「わからない」(身体：38.4%、療育：39.5%、精神：54.3%)が最も多くなっている。また、療育では「今は必要ないが、将来は必要により活用したい」(39.5%)も「わからない」と同率で多くなっている。

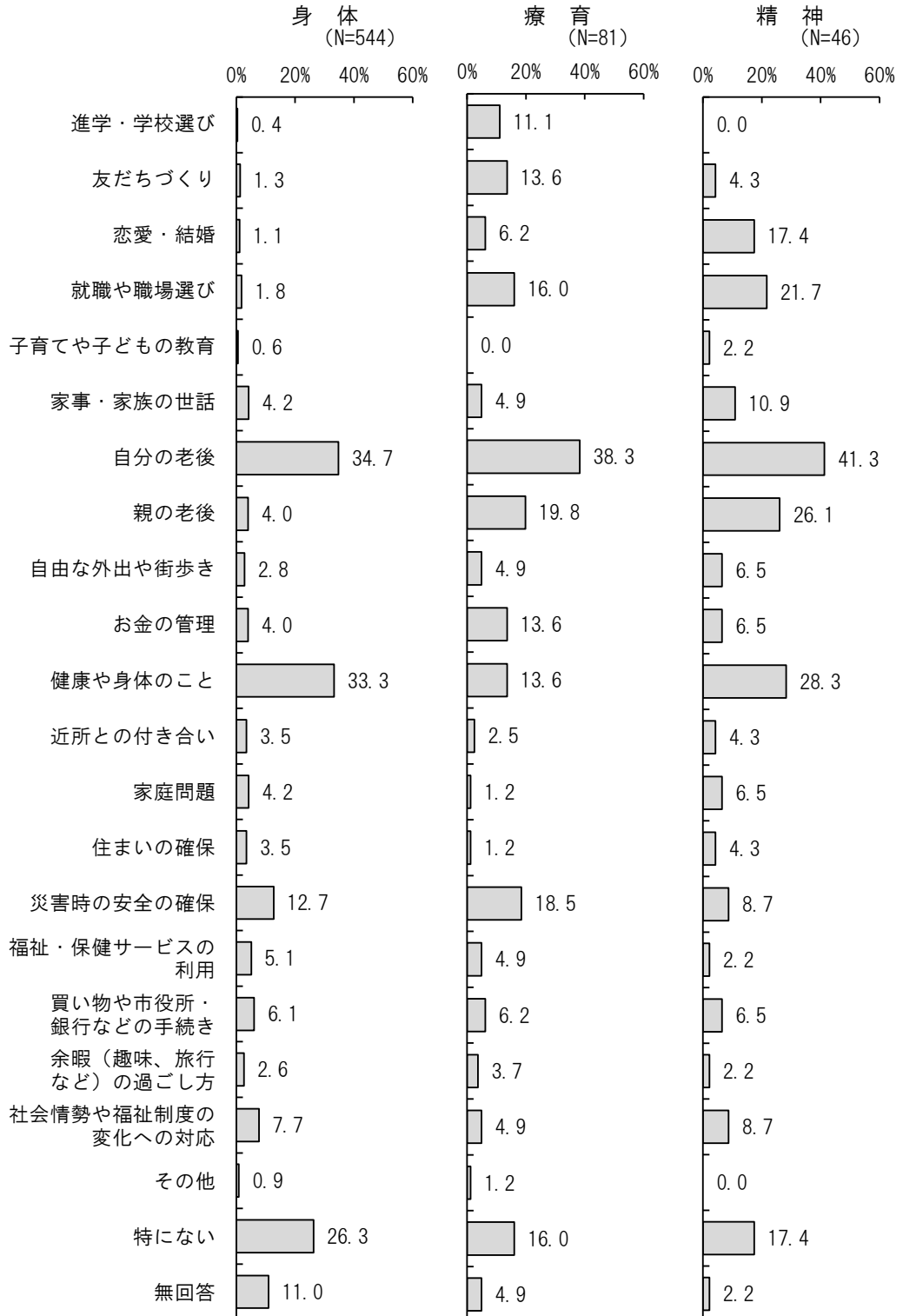
11 相談体制について

問 34 現在、困っていることや悩みはありますか。(〇は3つまで)



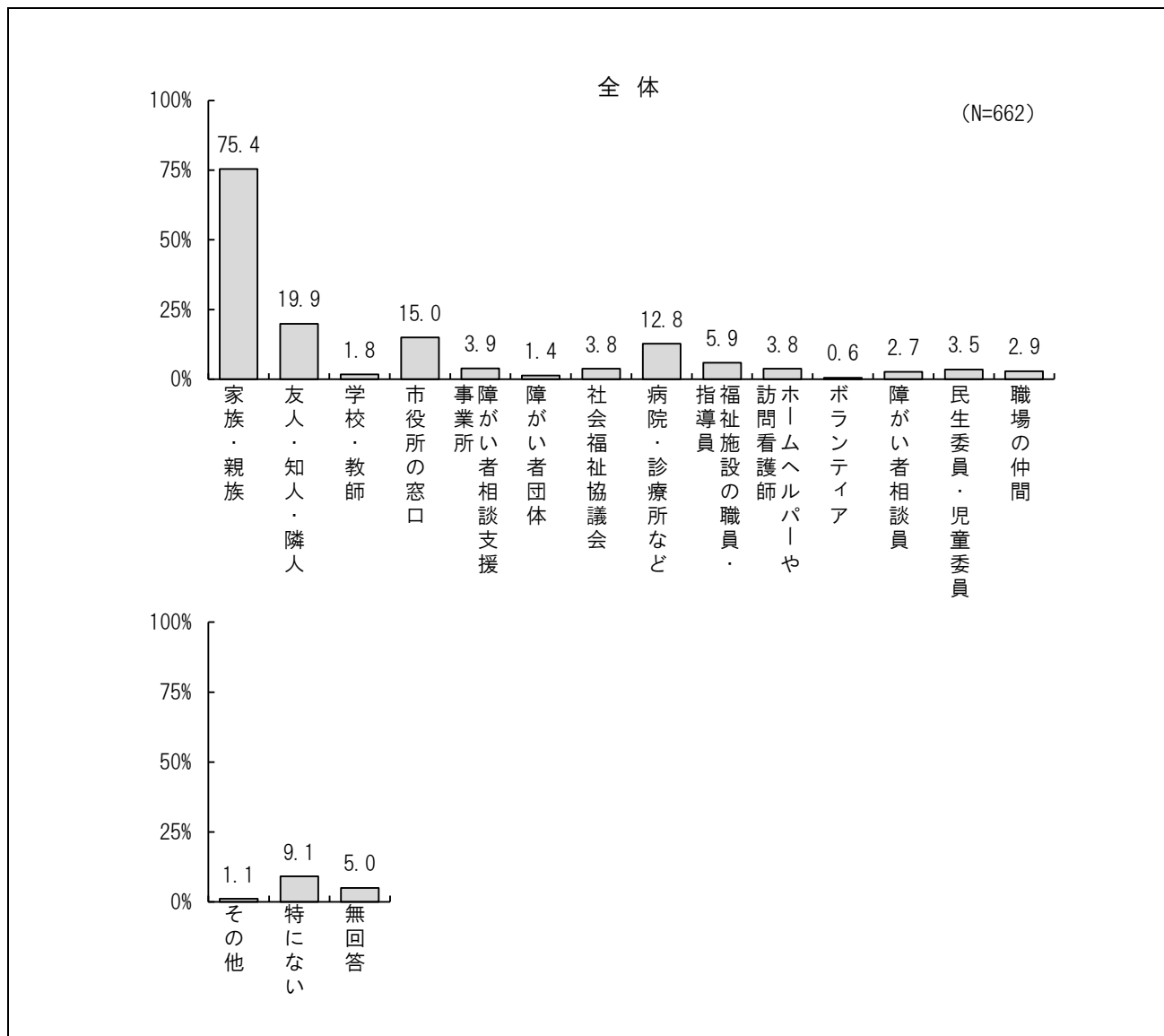
全体では「自分の老後」が 35.5%と最も多く、次いで「健康や身体のこと」が 30.5%、「特にない」が 24.8%などとなっている。

〔所持手帳別〕



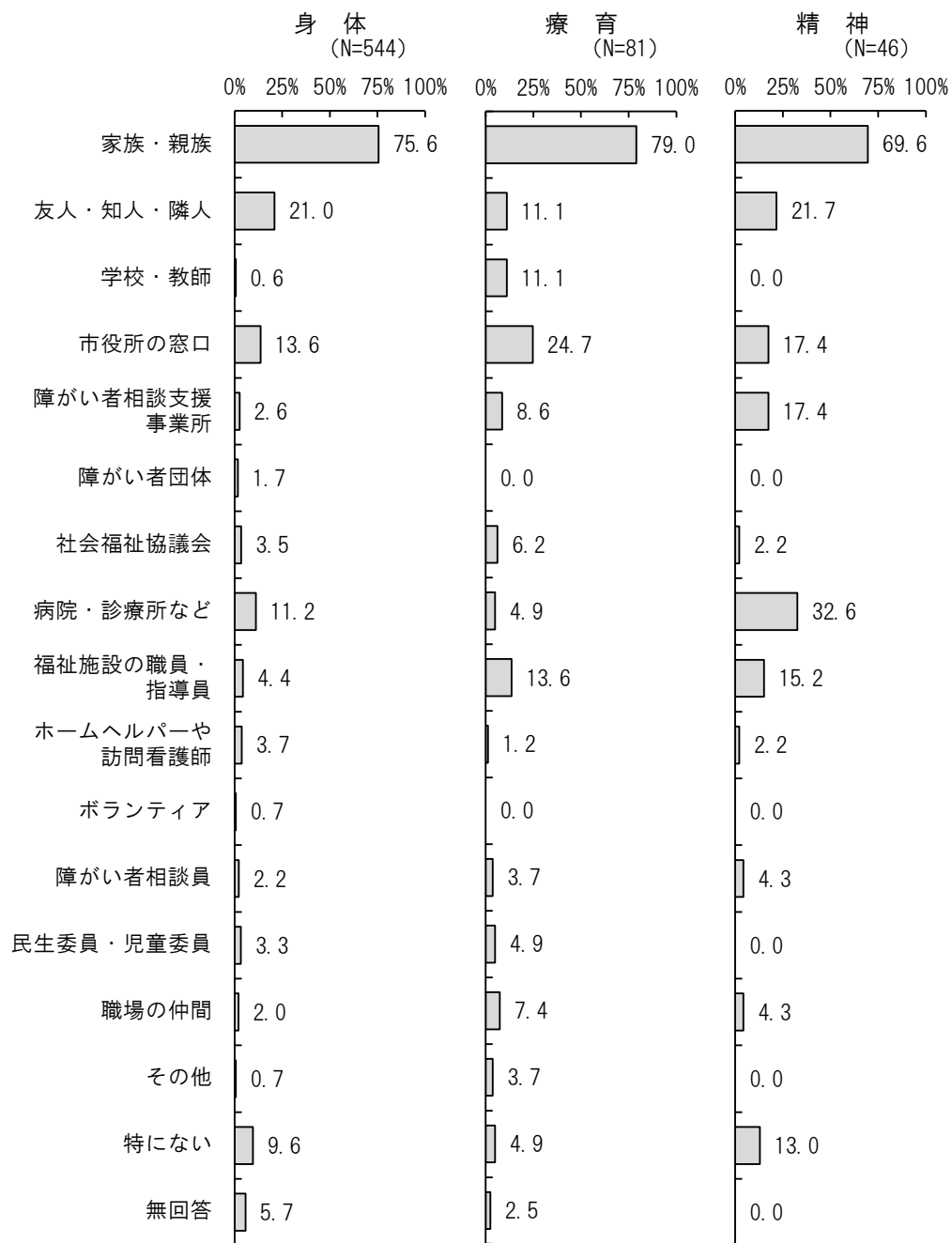
いずれの手帳区分でも「自分の老後」（身体：34.7%、療育：38.3%、精神：41.3%）が最も多くなっている。また、療育では「友だちづくり」（13.6%）、「就職や職場選び」（16.0%）、「親の老後」（19.8%）、精神では「恋愛・結婚」（17.4%）、「就職や職場選び」（21.7%）、「親の老後」（26.1%）が多くなっている。

問 35 困った時のあなたの主な相談先はどこですか。(〇は3つまで)



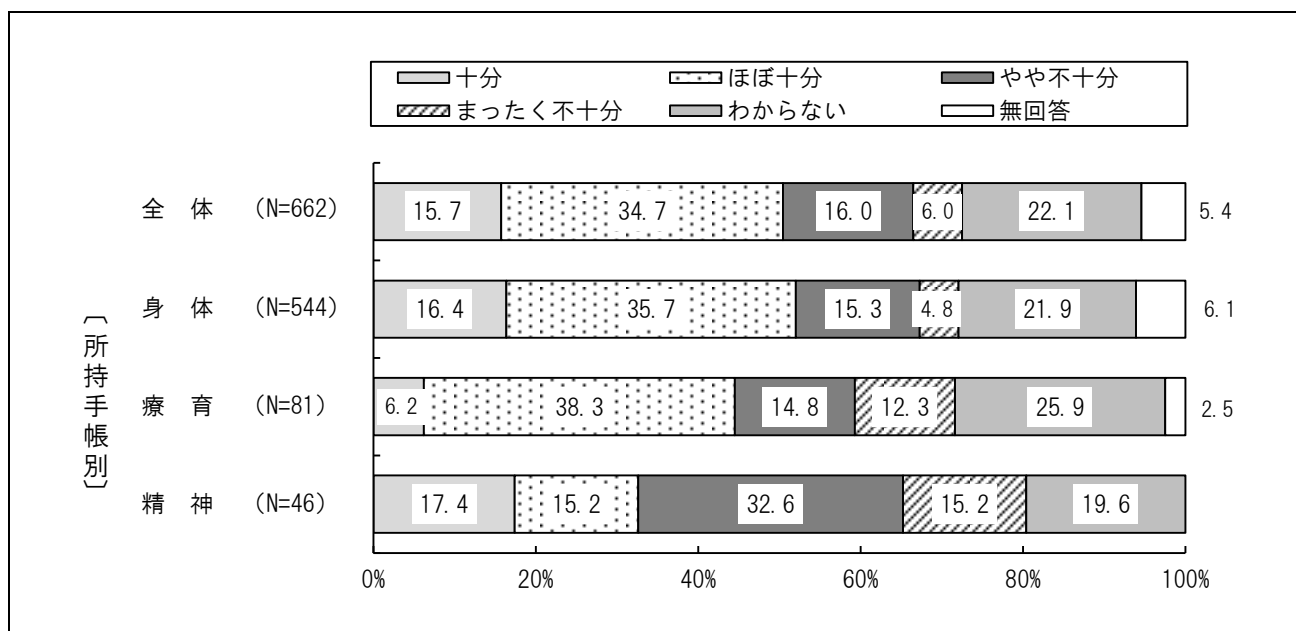
全体では「家族・親族」が75.4%と最も多く、次いで「友人・知人・隣人」が19.9%、「市役所の窓口」が15.0%などとなっている。

〔所持手帳別〕



いずれの手帳区分でも「家族・親族」(身体：75.6%、療育：79.0%、精神：69.6%)が最も多くなっている。また、精神では「障がい者相談支援事業所」(17.4%)、「病院・診療所など」(32.6%)が多くなっている。

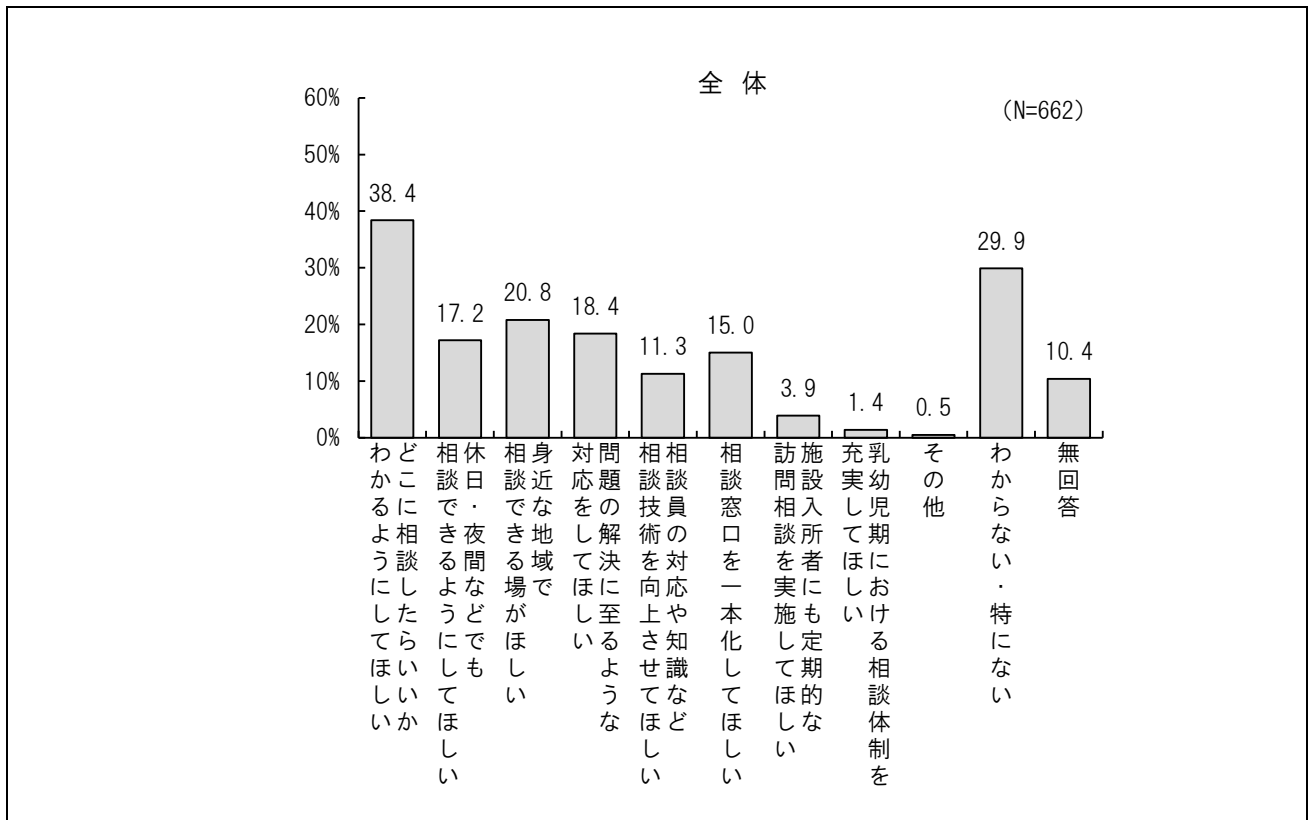
問 36 困った時の相談体制について、現在の状態はあなたにとって十分ですか。(〇は1つ)



全体では「ほぼ十分」が34.7%と最も多く、次いで「わからない」が22.1%、「やや不十分」が16.0%などとなっている。「十分」と「ほぼ十分」を合わせた『十分』は50.4%、「やや不十分」と「まったく不十分」を合わせた『不十分』は22.0%となっている。

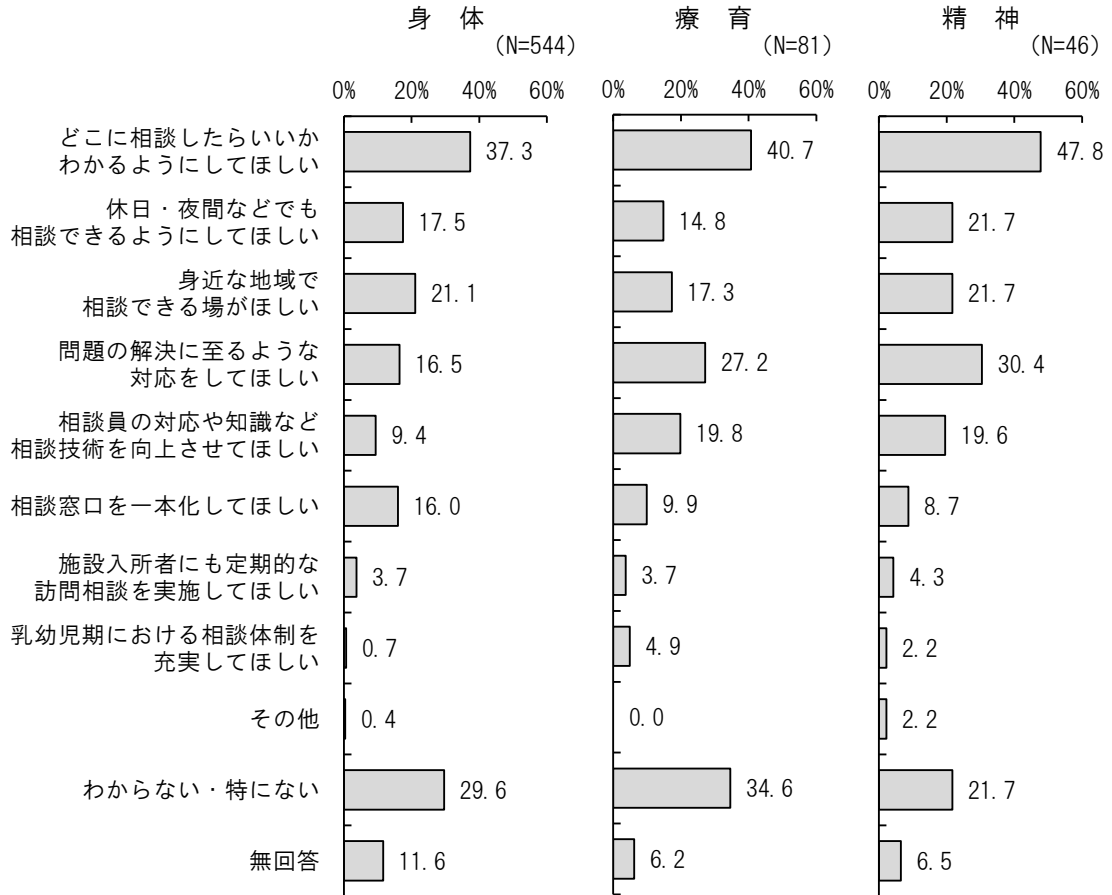
身体・療育では「ほぼ十分」(身体：35.7%、療育：38.3%)、精神では「やや不十分」(32.6%)が最も多くなっている。また、精神では「やや不十分」(32.6%)と「まったく不十分」(15.2%)を合わせた『不十分』(47.8%)が、所持手帳別で最も多くなっている。

問 37 今後、福祉や生活に関する相談体制として、どのようなことを希望しますか。(〇は3つまで)



全体では「どこに相談したらいいかわかるようにしてほしい」が38.4%と最も多く、次いで「わからない・特にない」が29.9%、「身近な地域で相談できる場がほしい」が20.8%などとなっている。

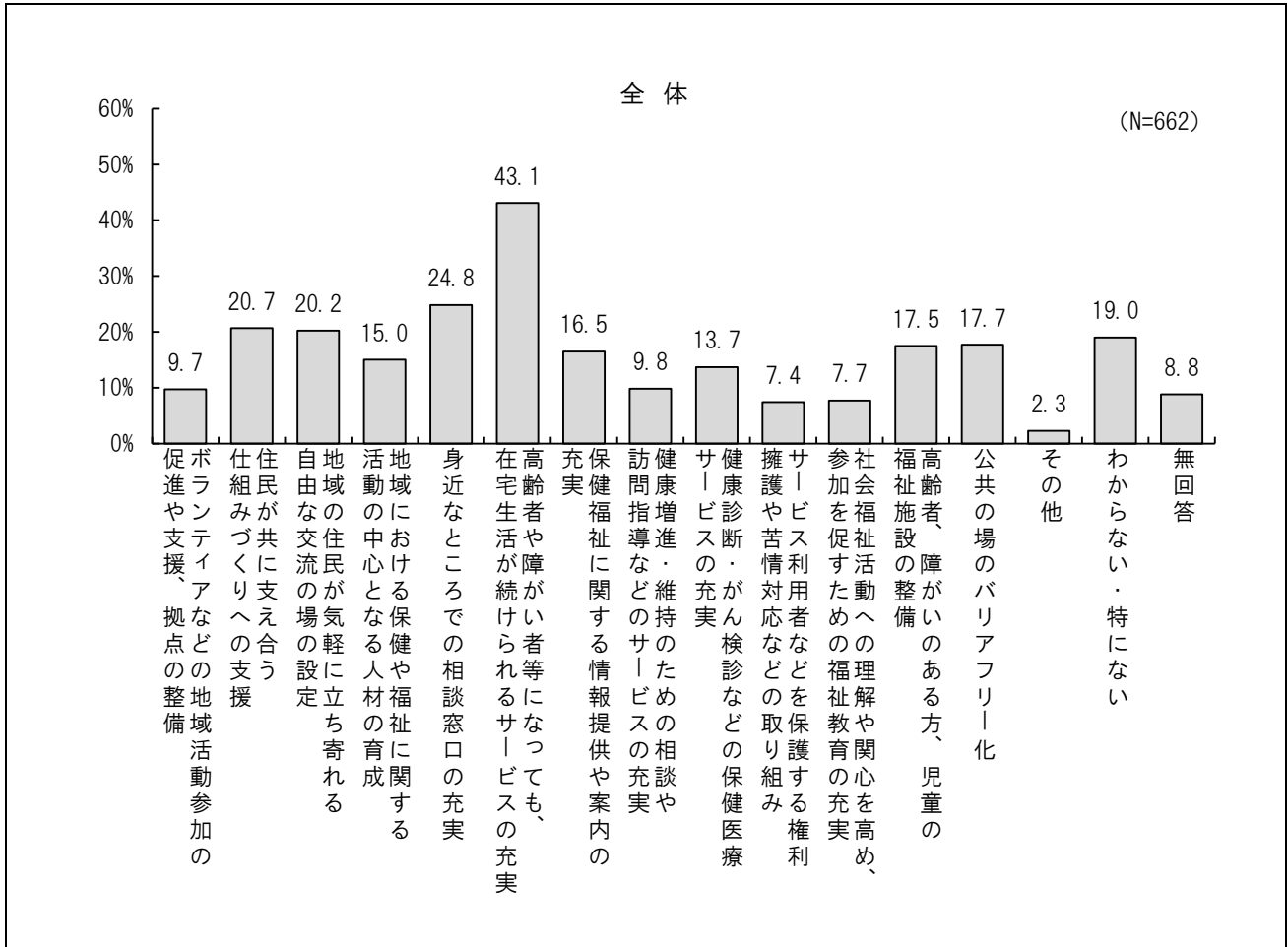
〔所持手帳別〕



いずれの手帳区分でも「どこに相談したらいいかわかるようにしてほしい」（身体：37.3%、療育：40.7%、精神：47.8%）が最も多くなっている。また、精神では「問題の解決に至るような対応をしてほしい」（30.4%）が多くなっている。

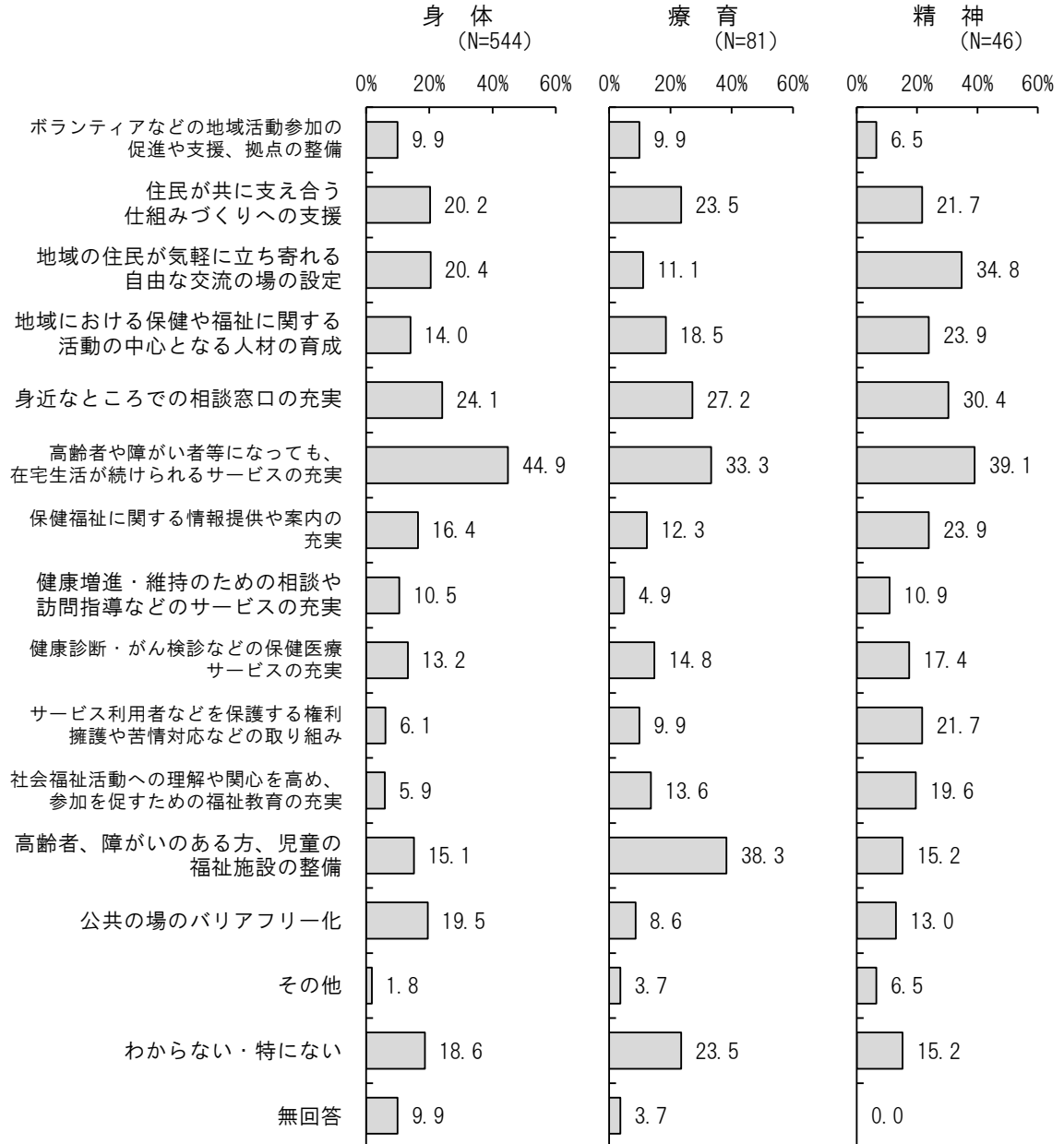
12 今後の取り組みについて

問 38 今後、伊豆市に障がい福祉分野のどのようなことに力をいれてほしいですか。(〇は5つまで)



全体では「高齢者や障がい者等になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実」が43.1%と最も多く、次いで「身近なところでの相談窓口の充実」が24.8%、「住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援」が20.7%などとなっている。

〔所持手帳別〕



身体・精神では「高齢者や障がい者等になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実」（身体：44.9%、精神：39.1%）、療育では「高齢者、障がいのある方、児童の福祉施設の整備」（38.3%）が最も多くなっている。また、精神では「地域の住民が気軽に立ち寄れる自由な交流の場の設定」（34.8%）、「サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取り組み」（21.7%）、「社会福祉活動への理解や関心を高め、参加を促すための福祉教育の充実」（19.6%）が多くなっている。

資料（調査票）

◆◇ しょう しゃふくし ちようさ 障がい者福祉についてのアンケート調査 ◇◇

《ご協力のお願い》

ひごろ いすし ふくしかんきよう こうじよう きようりよく まこと
日頃より、伊豆市の福祉環境の向上にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

し だれ あんしん く ふくし へいせい ねんど
市では、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりをめざして、平成30年度から始まる『第3次伊豆市障がい者計画』及び『第5期伊豆市障がい福祉計画』の策定に取り組んでいます。

ちようさひよう かくしゆしょうがいしゅてちよう も かた たいしよう おく
この調査票は各種障害者手帳をお持ちの方を対象にお送りしています。この調査は、障がいのある方々の日常生活等に関するご意見をお伺いし、新たな計画を策定するための大切な基礎資料とするために行うものです。

ちようさひよう むきめい ちよくせつ いすし へんそう かいとう ないよう ほか
調査票は無記名で、直接、伊豆市にご返送いただきますので、ご回答の内容が他の方に知られることはありません。

いそが お まこと きようしゆく ふくし じっせん
お忙しい折り、誠に恐縮ですが、よりよい福祉のまちづくりを實踐していくために、ぜひご協力くださるようお願いいたします。

へいせい ねん がつ
平成28年11月

いすしちよう きくち いたか
伊豆市長 菊地 豊

《ご記入にあたってのお願い》

1. 回答は原則として、封筒のあて名の方ご本人がお答えください。
2. お答えは、質問にしたがってあてはまる番号を○で囲むか、ことばや数字を記入してください。お答えが「その他」の場合には、番号に○印をつけた上で、その内容を（ ）の中に具体的に書いてください。
3. 問文の中で「あなた」とある場合は、このアンケート票が送られたあて名の方（ご本人）をさしています。ご家族の方や介助者の方が回答する場合は、ご注意ください。
4. お答えいただく方は、あて名のご本人です。ただし、障がいの状況や年齢等によって、ご本人が記入できない場合には、ご家族や介助者の方が、ご本人の意見を聞きながら、もしくはご本人の気持ちを考えながら記入してください。
5. 調査票や返信用封筒に、お名前やご住所などは書かないでください。
6. 平成28年11月1日の内容でご記入ください。

《調査票の返送について》

- ◎ ご記入が завершиましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、12月15日（木）までにポストにご投函ください。
- ◎ この調査票のお問い合わせは、下記までお願いします。

いすしやく所 社会福祉課（障害福祉スタッフ）
電話 0558-72-9863 FAX 0558-72-8638

◆ はじめに、^{ちょうさひょう きにゆうしや}調査票の記入者についてうかがいます。(〇は1つ)

- | | |
|---|--|
| 1 ^{ほんにん じぶん きにゆう} ご本人が自分で記入 | 2 ^{ほんにん かいとう ほか かた だいひつ} ご本人の回答を、他の方が代筆 |
| 3 ^{ほんにん いがい かた ほんにん きも かんが きにゆう} ご本人以外の方が、本人の気持ちを考えて記入 | |

あなたご自身の^{じしん}ことについてうかがいます。

問1 ^{な ほんにん せいべつ こた}あなた(あて名のご本人)の性別をお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 ^{だんせい} 男性 | 2 ^{じよせい} 女性 |
|----------------------|----------------------|

問2 ^{な ほんにん ねんれい こた へいせい ねん がつ にちじてん}あなた(あて名のご本人)の年齢をお答えください。(平成28年11月1日時点)

歳

問3 ^{す ちく こた}あなたがお住まいの地区をお答えください。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------------------------|----------------------------|---------------------------------|
| 1 ^{しゆぜんじ ちく} 修善寺地区 | 2 ^{なかいず ちく} 中伊豆地区 | 3 ^{あまぎゆがしま ちく} 天城湯ヶ島地区 |
| 4 ^{といち ちく} 土肥地区 | 5 ^た その他 () | |

問4 ^{げんざい す}現在、あなたのお住まいはどちらですか。(〇は1つ)

- | | | |
|--|------------------------------------|--------------------------------------|
| 1 ^{じたく} 自宅 | 2 ^{びやういん にゆういんちゆう} 病院に入院中 | 3 ^{ふくしせつ にゆうしよちゆう} 福祉施設に入所中 |
| 4 ^{きょうどうせいかつ じゆうきよ} グループホームなど(共同生活ができる住居) | 5 ^た その他 () | |

問5 ^{じしん ふく なんにん かた どうきよ にゆういん にゆうしよちゆう かた にゆういん}あなたは、ご自身を含めて何人の方と同居していますか。入院・入所中の方は、入院・入所前^{こた}のことについてお答えください。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------------------------|---------------------|--------------------------|
| 1 ^{ひとり} 1人(ひとり暮らし) | 2 ^{ふたり} 2人 | 3 ^{にん} 3人 |
| 4 ^{にん} 4人 | 5 ^{にん} 5人 | 6 ^{にんいじゆう} 6人以上 |

問6 ^{どうきよ かた にゆういん にゆうしよちゆう かた にゆういん にゆうしよまえ}同居している方はどなたですか。入院・入所中の方は、入院・入所前^{こた}のことについてお答えください。(〇はあてはまるものすべて)

- | | | |
|----------------------------|----------------------------|-------------------------------|
| 1 ^{おつと つま} 夫または妻 | 2 ^{おや} 親 | 3 ^こ 子ども |
| 4 ^{まご} 孫 | 5 ^{きょうだいしまい} 兄弟姉妹 | 6 ^{こ はいぐうしや} 子どもの配偶者 |
| 7 ^{ひとり暮らし} ひとり暮らし | 8 ^た その他 () | |

問7 ^{げんざい す じたく しせつ まんぞく}現在のお住まい(自宅、施設など)に満足していますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------------------------|------------------------------|-------------------------|
| 1 ^{まんぞく} 満足 | 2 ^{まんぞく} どちらかといえば満足 | |
| 3 ^{ふまん} どちらかといえば不満 | 4 ^{ふまん} 不満 | 5 ^{まんぞく} わからない |

問8 あなたは、今後どこで暮らしたいですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1 家族と一緒に暮らしたい | 2 独立して1人で暮らしたい |
| 3 施設で暮らしたい | 4 グループホームなどで仲間と一緒に暮らしたい |
| 5 病院に入院したい | 6 その他 () |
| 7 わからない | |

障がいの状態や要介護認定についてうかがいます。

問9 あなたがお持ちの各種障害者手帳や障がいについてお答えください。また、各種障害者手帳をお持ちの方はそれぞれの障がいの等級についてもお答えください。(○はあてはまるものすべて)

1 身体障害者手帳	→	1 1級	2 2級	3 3級
		4 4級	5 5級	6 6級
2 療育手帳	→	1 A	2 B	
3 精神障害者保健福祉手帳	→	1 1級	2 2級	3 3級
4 難病				
5 高次脳機能障がい				
6 発達障がい				
7 その他 ()				

問9-1は、問9で「1 身体障害者手帳」に○をつけた方のみお答えください。

問9-1 あなたの身体障害者手帳に記載されている障がいの種類は次のどれですか。(○はあてはまるものすべて)

1 視覚障がい	2 聴覚障がい
3 平衡機能障がい	4 音声・言語またはそしゃく機能障がい
5 肢体不自由	6 心臓機能障がい
7 呼吸器機能障がい	8 じん臓機能障がい
9 肝臓機能障がい	10 ぼうこうまたは直腸機能障がい
11 小腸機能障がい	12 免疫機能障がい

問10 あなたが現在の障がいの状態になったのはいつ頃ですか。(複数の障がいをお持ちの方は、最初の障がいの状態についてお答えください。)(○は1つ)

- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1 生まれた時 | 2 () 歳頃 | 3 わからない |
|---------|----------|---------|

問11 あなたは、介護保険の要介護認定を受けていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|----------|---------|---------|
| 1 受けていない | 2 要支援 1 | 3 要支援 2 |
| 4 要介護 1 | 5 要介護 2 | 6 要介護 3 |
| 7 要介護 4 | 8 要介護 5 | |

日常生活についてうかがいます。

問12 あなたは、過去1年間にどれくらい外出しましたか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------|---------------|----------|
| 1 ほぼ毎日 | 2 週に2～3回 | 3 月に2～3回 |
| 4 年に数回 | 5 まったく外出しなかった | |

問13 あなたは何のために外出しますか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 買い物 | 2 仕事 |
| 3 外食 | 4 旅行 |
| 5 散歩 | 6 健康づくり・スポーツ活動 |
| 7 地域活動 | 8 友人や子どもの家などへの訪問 |
| 9 作業所などの就労施設への通所 | 10 医療機関への通院 |
| 11 就労以外の福祉サービスの利用 | 12 その他 () |

問14 外出の際に、伊豆市内で困ったり、不便に感じたりすることは何ですか。
(〇はあてはまるものすべて)

- | |
|---|
| 1 付き添ってくれる方がいない |
| 2 障がい者用トイレが少ない |
| 3 道路、建物の段差や、電車、バスなどの乗り降りが大変である |
| 4 気軽に利用できる移送手段が少ない(福祉タクシーやリフト付きバスなど) |
| 5 障がい者用の駐車スペース、手すり、スロープ、点字ブロック、案内表示など、障がいのある方に配慮した設備が不十分である |
| 6 通路上に自転車や看板などの障害物があつて通りにくい |
| 7 商店や銀行などでコミュニケーションがとりにくい |
| 8 必要な時に、周りの方の手助け・配慮が足りない |
| 9 その他 () |
| 10 ほとんど外出しないので、わからない |
| 11 特にない |

問15 あなたは、今後どのような活動をしたいと思いますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 スポーツ | 2 レクリエーション |
| 3 旅行 | 4 買い物 |
| 5 ボランティア活動 | 6 障がい者団体の活動 |
| 7 趣味などのサークル活動・生涯学習 | 8 講座や講演会などへの参加 |
| 9 地域の行事や祭り、学校・職場の行事 | 10 その他 () |
| 11 特に何もしたくない | |

介助者についてうかがいます。

問16 日常あなたを主に介助してくれる方を1人お答えください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|--------------|------------|
| 1 あなたの配偶者 | 2 親 | 3 子ども |
| 4 孫 | 5 兄弟姉妹 | 6 祖父母 |
| 7 その他の家族 | 8 親戚 | 9 隣人・知人 |
| 10 ホームヘルパー | 11 ボランティア | 12 施設などの職員 |
| 13 その他 () | 14 介助は受けていない | |

問16-1～問16-3は、問16で「1」から「9」に回答した方のみお答えください。

問16-1 あなたを主に介助してくれる方の年齢は何歳代ですか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1 10歳代 | 2 20歳代 | 3 30歳代 | 4 40歳代 |
| 5 50歳代 | 6 60歳代 | 7 70歳代 | 8 80歳以上 |

問16-2 あなたを主に介助してくれる方は、お仕事をされていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 自宅にいて家事をしている | 2 自宅にいて仕事をしています |
| 3 外に働きに出ている | 4 その他 () |

問16-3 あなたを主に介助してくれる方が一時的に不在の場合、どうしていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|----------------|
| 1 他の家族が介助する | 2 親戚にお願いする |
| 3 知人にお願いする | 4 ボランティアにお願いする |
| 5 ホームヘルパー・家政婦などにお願いする | 6 施設に一時入所する |
| 7 その他 () | 8 誰にも頼まない |
| 9 わからない | |

しゅうろう
就労についてうかがいます。

と
問17 あなたは、^{げんざいしごと}現在仕事をしていますか。(○は1つ)

1 はい

2 いいえ

→ **問17-1～問17-3は、問17で「1 はい」に回答した方のみお答えください。**

と
問17-1 ^{しごと}仕事は次のどれですか。(○は1つ)

1 ^{じえい} 経営者

2 ^{かぎょう てつだ} 家業の手伝い

3 ^{かいしゃいん} 社員・^{しよくいん} 職員 (常勤)

4 ^{りんじ} 臨時、^{けいやく} パート、契約スタッフなど

5 ^{ないしよく} 内職

6 ^{ざいたくきんむ} 在宅勤務

7 ^{ふくしてきしゅうろう} 福祉的就労 (就労継続支援A型・B型、^{しゅうろういこうしえん} 就労移行支援)

8 ^た その他 ()

→ **問17-2 ^{しごと} 仕事をする上で、^{うえ}何か困っていることがありますか。(○はあてはまるものすべて)**

1 ^{しゅうにゆう} 収入が少ない

2 ^{しごと} 仕事が難しい

3 ^{じぶん} 自分にあった内容の仕事がない

4 ^{しよくば} 職場の人間関係が難しい

5 ^{しよくば} 職場での身分が不安定 (永年勤務できるか不安)

6 ^{しよくば} 昇給や昇進が平等ではない

7 ^{しよくば} トイレなど、^{しよくば} 障がい者用の設備が不十分

8 ^{しよくば} 職場が近くにない

9 ^た その他 ()

10 ^{とく} 特にな

→ **問17-3 ^{つぎへいきん} あなたの月平均の収入をお答えください。(○は1つ)**

(^{しよくば}収入には、あなたが働いて得た収入、^{しよくば}就労支援施設等からの収入のほか、^{ねんきん}年金・^{てあてとう}手当等を含めてください。)

1 ^{えん} 0円

2 ^{まんえんみまん} 5万円未満

3 ^{まんえんみまん} 5～10万円未満

4 ^{まんえんみまん} 10～15万円未満

5 ^{まんえんみまん} 15～20万円未満

6 ^{まんえんみまん} 20～25万円未満

7 ^{まんえんみまん} 25～30万円未満

8 ^{まんえんいじよう} 30万円以上

9 ^{わからない} わからない

→ **問17-4は、問17で「2 いいえ」に回答した方のみお答えください。**

→ **問17-4 ^{しごと} あなたが仕事を見つけるために何が必要ですか。(○はあてはまるものすべて)**

1 ^{じゅうじつ} ハローワークの充実

2 ^{ぎょうせい} 行政からの情報提供や支援

3 ^{じょうほう} インターネットでの情報の充実

4 ^{じぎょうぬし} 事業主に対する障がい者雇用のよびかけ

5 ^{しよくぎやうくねれん} 職業訓練

6 ^{そうだんまどぐち} 相談窓口の充実

7 ^た その他 ()

8 ^{とく} 特にな・わからない

ぜんいん き
※全員にお聞きします。

問18 今後、障がいのある方が働きやすくなるためには、どのような条件や環境整備が必要だと考えますか。(〇は3つまで)

- 1 勤務時間や日数を短縮する
- 2 通勤の手段が確保される
- 3 自宅で仕事ができるようにする
- 4 フレックスタイムなどで自由な働き方ができるようにする
- 5 通院などの保障がある(勤務時間内でも通院できる)
- 6 職場にジョブコーチ※などがある
- 7 職業訓練を充実し、就労のための技術をつける
- 8 仕事の相談やあっせんをする場を充実する
- 9 職場の施設や設備が障がいのある方にも利用できるように配慮されている
- 10 あらゆる業種で障がいのある方の雇用枠を増やす
- 11 事業主や職場の方たちが、障がいのある方を理解してくれる
- 12 就労移行支援事業所などへの支援(注文を増やすなど)を充実する
- 13 その他 ()
- 14 わからない・特になし

※ジョブコーチ：障がいのある人が職場の習慣や人間関係に適応し働いていくため、作業工程の工夫、作業指導の方法などを助言するとともに、通勤時、就労時などのサポートをする支援員のこと。

問19 あなたは、今後仕事についてどのように考えていますか。(〇は1つ)

- 1 働いているが、同じところで働き続けたい
- 2 働いているが、今とは別の仕事をしたい
- 3 働いているが、仕事はもうしたくない
- 4 働いておらず、仕事を見つけて働きたい
- 5 働いておらず、これからも働きたくない
- 6 高齢のため、働くつもりはない
- 7 その他 ()
- 8 わからない・特に考えていない

しゅうえん しゅうがく
就園・就学についてうかがいます。

問20 あなたは、こども園・保育園・児童発達支援施設、学校に通っていますか。(〇は1つ)

1 はい 2 いいえ → 問21へ進んでください

問20-1～問20-3は、問20で「1 はい」に回答した方のみお答えください。

問20-1 通われているところはどちらですか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------------|----------------|-------------|
| 1 こども園 | 2 保育園 | 3 児童発達支援施設 |
| 4 小学校 (通常学級) | 5 小学校 (特別支援学級) | 6 特別支援学校小学部 |
| 7 中学校 (通常学級) | 8 中学校 (特別支援学級) | 9 特別支援学校中学部 |
| 10 高等学校 | 11 特別支援学校高等部 | 12 訪問教育 |
| 13 大学・短大・専門学校 | 14 その他 () | |

問20-2 通園・通学上の問題点をお聞かせください。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1 通うのが大変 | 2 授業についていけない |
| 3 トイレなどの設備が不十分 | 4 介助体制が不十分 |
| 5 友達ができない | 6 職員の理解や配慮が足りない |
| 7 学校の数が少ない | 8 周りの生徒たちの理解が得られない |
| 9 受け入れてくれる学校がない | 10 通常学級に入れない |
| 11 家族の同伴を求められる | 12 医療的なケア (吸入・導尿など) が受けられない |
| 13 その他 () | 14 わからない・特にない |

問20-3 卒業(園)後の進路はどう考えていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1 通常学級に就学(進学)したい | 2 特別支援学級・特別支援学校に就学(進学)したい |
| 3 大学・専門学校などに進学したい | 4 就職したい |
| 5 職業訓練校に通いたい | 6 施設に入所・通所したい |
| 7 その他 () | 8 わからない |

福祉サービスの利用についてうかがいます。

問21 あなたは、障害者総合支援法・児童福祉法のサービスを利用していますか。(○は1つ)

1 利用している

2 利用していない

問21-1は、問21で「1 利用している」に回答した方のみお答えください。

問21-1 利用しているサービスは何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 居宅介護 (ホームヘルプ) | 2 重度訪問介護 |
| 3 同行援護 | 4 行動援護 |
| 5 重度障がい者等包括支援 | 6 療養介護 |
| 7 生活介護 | 8 短期入所 (ショートステイ) |
| 9 自立訓練 | 10 就労移行支援 |
| 11 就労継続支援 (A・B) | 12 共同生活援助 (グループホーム) |
| 13 施設入所支援 | 14 児童発達支援 |
| 15 放課後等デイサービス | 16 保育所等訪問支援 |
| 17 障がい児相談支援 | 18 地域移行支援・地域定着支援 |
| 19 手話通訳者派遣事業 | 20 相談支援事業 |
| 21 日中一時支援事業 | 22 地域活動支援センター事業 |
| 23 移動支援事業 | 24 日常生活用具給付等事業 |

※ 各サービスの内容は最終ページをご参照ください。

問21-2は、問21で「2 利用していない」に回答した方のみお答えください。

問21-2 現在、福祉サービスを利用していない理由は何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 介護保険サービスを利用している | 2 家族から介護を受けている |
| 3 他人に家に入ってほしくない | 4 利用したいサービスがない |
| 5 サービスの利用の仕方がわからない | 6 サービスの内容がわからない |
| 7 送迎サービスがないため利用できない | 8 サービス提供場所が遠く利用できない |
| 9 事業者に対して信頼が持てない | 10 利用料が払えない |
| 11 利用の必要がない | 12 その他 () |

ぜんいん き
※全員にお聞きします。

問22 今後利用したい(利用を継続したい)サービスは何ですか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 居宅介護 (ホームヘルプ) | 2 重度訪問介護 |
| 3 同行援護 | 4 行動援護 |
| 5 重度障がい者等包括支援 | 6 療養介護 |
| 7 生活介護 | 8 短期入所 (ショートステイ) |
| 9 自立訓練 | 10 就労移行支援 |
| 11 就労継続支援 (A・B) | 12 共同生活援助 (グループホーム) |
| 13 施設入所支援 | 14 児童発達支援 |
| 15 放課後等デイサービス | 16 保育所等訪問支援 |
| 17 障がい児相談支援 | 18 地域移行支援・地域定着支援 |
| 19 手話通訳者派遣事業 | 20 要約筆記者派遣事業 |
| 21 相談支援事業 | 22 日中一時支援事業 |
| 23 成年後見制度利用支援事業 | 24 地域活動支援センター事業 |
| 25 移動支援事業 | 26 生活サポート事業 |
| 27 日常生活用具給付等事業 | |

問23 障がい福祉サービス全般についてどのように思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 満足している | 2 どちらかといえば満足している |
| 3 どちらかといえば満足していない | 4 満足していない |
| | 5 わからない |

ふくし かん じょうほう
福祉に関する情報についてうかがいます。

問24 あなたは、ふだん、福祉サービスに関する情報を、主にどこから得ていますか。
(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 新聞・雑誌 | 2 テレビ・ラジオ |
| 3 所属している団体の会合や会報 | 4 広報紙・パンフレット (県・市) |
| 5 市役所の窓口 | 6 社会福祉協議会 |
| 7 障がい者相談支援センター | 8 インターネット |
| 9 学校・職場・福祉施設 | 10 病院・診療所 |
| 11 家族・友人・知人 | 12 ホームヘルパーや訪問看護師 |
| 13 民生委員・児童委員 | 14 障がい者相談員 |
| 15 ボランティア | 16 その他 () |
| 17 特にない | |

問25 あなたにとって、今後充実してほしい情報は何か。(〇は3つまで)

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1 福祉サービスの具体的な内容や利用方法などに関する情報 | 6 緊急対応についての情報 |
| 2 困った時に相談ができる窓口についての情報 | 7 職場の選び方、就職に関する情報 |
| 3 就学に関する相談・情報提供窓口に関する情報 | 8 ボランティア団体などについての情報 |
| 4 医療や福祉サービスの質に関する情報 | 9 余暇活動やレジャーに関する情報 |
| 5 社会情勢や福祉制度の変化に関する情報 | 10 その他 () |
| 11 その他 () | 12 わからない・特になし |

災害時のことについてうかがいます。

問26 あなたは、災害などの緊急時、1人で避難できますか。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|----------|---------|
| 1 1人で避難できる | 2 避難できない | 3 わからない |
|------------|----------|---------|

問26-1、問26-2は、問26で「2 避難できない」に回答した方のみお答えください。

問26-1 1人で避難できない理由は何ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 介助者の手助けが必要 | 2 避難場所が遠い |
| 3 避難場所がわからない | 4 緊急時という判断がつかない |
| 5 その他 () | |

問26-2 家族や介助者などが不在、またはひとり暮らしの場合に、火事や地震などの災害が発生した時、ご近所に助けてくれる方はいますか。(〇は1つ)

- | | | |
|------|-------|---------|
| 1 いる | 2 いない | 3 わからない |
|------|-------|---------|

問27 あなたは、震災に備えて、対策をとっていますか。(〇はあてはまるものすべて)

- | |
|---|
| 1 震災時の非常持出品、備蓄品の中に、障がい特性に応じた医薬品、食料などを用意している |
| 2 避難所などにおいて医療が受けられるよう、医薬品や病状などの情報を記録している |
| 3 震災時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人などの連絡先を把握している |
| 4 震災時や緊急時に支援してくれるよう、家族や知人などに対して、お願いしている |
| 5 災害時に避難する広域避難場所を知っている |
| 6 地域の避難訓練に参加している |
| 7 その他 () |
| 8 特になし |

問28 地震や台風などの災害が発生した時、何が不安ですか。(〇はあてはまるものすべて)

- 1 災害情報を伝える設備や連絡網がない
- 2 障がいのある方への情報伝達や救援が遅れる
- 3 災害発生時の情報取得がしにくい
- 4 避難を介助してくれる方がいない
- 5 障がいのある方や高齢者に配慮した避難場所がない
- 6 医療を受けられるかわからない
- 7 医薬品など、必要なものが手に入らない
- 8 介助人などが確保できない
- 9 電話やFAXなどの連絡手段が確保できない
- 10 市役所、医療機関と地域住民が連携して助け合う体制がない
- 11 避難訓練や防災のための学習機会や広報が不十分
- 12 大勢の人の中で避難所生活をするに不安がある
- 13 避難場所での長期避難生活に身体が耐えられるか不安である
- 14 その他 () 15 わからない・特にな

人権・権利擁護についてうかがいます。

問29 あなたは、地域社会の中で障がいのある方に対する意識に特別な隔たりがあると思いますか。(〇は1つ)

- 1 ある 2 ない

問30 あなたは、どのようなときに差別を受けたり、いやな経験をしましたか。(〇はあてはまるものすべて)

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1 入園・就学・進学時 | 2 就職・就労時 |
| 3 住宅改修・転居時(居住に関する事) | 4 余暇・スポーツ活動時 |
| 5 店舗・飲食店利用時 | 6 友人・知人との交流時 |
| 7 病院・診療に行った時 | 8 福祉サービスの利用時 |
| 9 その他 () | |
| 10 差別を受けたり、いやな経験をしたことはない | |

問31 あなたは、障がいのある方もない方も誰もが地域のなかで、普通の生活をしていくことができる社会にすべきだという考え方である「ノーマライゼーション」という言葉についてご存知ですか。(〇は1つ)

- 1 聞いたことがあり意味も知っている 2 聞いたことがあるが意味はわからない
3 聞いたことがない

問32 あなたは、知的障がいや精神障がいなどの理由により、判断能力が十分でない方の財産などの権利を守る制度である「成年後見制度」についてご存知ですか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 聞いたことがあり意味も知っている | 2 聞いたことがあるが意味はわからない |
| 3 聞いたことがない | |

問33 あなたは、「成年後見制度」を活用したいと思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1 すでに活用している | 2 今は必要ないが、将来は必要により活用したい |
| 3 活用したいと思わない | 4 わからない |

相談体制についてうかがいます。

問34 現在、困っていることや悩みはありますか。(〇は3つまで)

- | | | |
|---------------------|---------------------|--------------|
| 1 進学・学校選び | 2 友だちづくり | 3 恋愛・結婚 |
| 4 就職や職場選び | 5 子育てや子どもの教育 | 6 家事・家族の世話 |
| 7 自分の老後 | 8 親の老後 | 9 自由な外出や街歩き |
| 10 お金の管理 | 11 健康や身体のこと | 12 近所との付き合い |
| 13 家庭問題 | 14 住まいの確保 | 15 災害時の安全の確保 |
| 16 福祉・保健サービスの利用 | 17 買い物や市役所・銀行などの手続き | |
| 18 余暇(趣味、旅行など)の過ごし方 | 19 社会情勢や福祉制度の変化への対応 | |
| 20 その他() | 21 特にない | |

問35 困った時のあなたの主な相談先はどこですか。(〇は3つまで)

- | | | |
|------------------|---------------|---------------|
| 1 家族・親族 | 2 友人・知人・隣人 | 3 学校・教師 |
| 4 市役所の窓口 | 5 障がい者相談支援事業所 | 6 障がい者団体 |
| 7 社会福祉協議会 | 8 病院・診療所など | 9 福祉施設の職員・指導員 |
| 10 ホームヘルパーや訪問看護師 | 11 ボランティア | 12 障がい者相談員 |
| 13 民生委員・児童委員 | 14 職場の仲間 | 15 その他() |
| 16 特にない | | |

問36 困った時の相談体制について、現在の状態はあなたにとって十分ですか。(〇は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|---------|
| 1 十分 | 2 ほぼ十分 | |
| 3 やや不十分 | 4 まったく不十分 | 5 わからない |

問37 今後、福祉や生活に関する相談体制として、どのようなことを希望しますか。(〇は3つまで)

- 1 どこに相談したらいいかわかるようにしてほしい
- 2 休日・夜間などでも相談できるようにしてほしい
- 3 身近な地域で相談できる場がほしい
- 4 問題の解決に至るような対応をしてほしい
- 5 相談員の対応や知識など相談技術を向上させてほしい
- 6 相談窓口を一本化してほしい
- 7 施設入所者にも定期的な訪問相談を実施してほしい
- 8 乳幼児期における相談体制を充実してほしい
- 9 その他 ()
- 10 わからない・特にな

今後の取り組みについてうかがいます。

問38 今後、伊豆市に障がい福祉分野のどのようなことに力をいれてほしいですか。(〇は5つまで)

- 1 ボランティアなどの地域活動参加の促進や支援、拠点の整備
- 2 住民が共に支え合う仕組みづくりへの支援
- 3 地域の住民が気軽に立ち寄れる自由な交流の場の設定
- 4 地域における保健や福祉に関する活動の中心となる人材の育成
- 5 身近なところでの相談窓口の充実
- 6 高齢者や障がい者等になっても、在宅生活が続けられるサービスの充実
- 7 保健福祉に関する情報提供や案内の充実
- 8 健康増進・維持のための相談や訪問指導などのサービスの充実
- 9 健康診断・がん検診などの保健医療サービスの充実
- 10 サービス利用者などを保護する権利擁護や苦情対応などの取り組み
- 11 社会福祉活動への理解や関心を高め、参加を促すための福祉教育の充実
- 12 高齢者、障がいのある方、児童の福祉施設の整備
- 13 公共の場のバリアフリー化
- 14 その他 ()
- 15 わからない・特にな

■問21-1、問22の各サービスの内容

居宅介護	自宅での入浴、排せつ、食事、家事などの援助、通院の介助を行うサービス
重度訪問介護	重度の肢体不自由者で常に介護が必要な方への自宅での介護や外出時の移動支援
同行援護	視覚障がいにより移動に著しい困難を有する人への移動の援護等の外出支援
行動援護	自己判断が困難な方への、行動の援護や外出支援等
重度障がい者等包括支援	介護の必要度が高い方への、居宅介護などの福祉サービスの包括的な提供
療養介護	昼間、医療と常に介護が必要な方への、医学的管理下での介護や日常生活上のサービス
生活介護	昼間、常に介護を必要とする方への、施設等での介護等
短期入所	介護者の病気等により介護が必要な方の施設等への短期間入所
自立訓練	身体機能や生活能力向上のために必要な訓練等
就労移行支援	働くことを希望する方への、必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等
就労継続支援	一般企業での就労が困難な方への、就労の機会の提供や就労に必要な訓練等
共同生活援助	夜間や休日、共同生活を営む住居での、相談や日常生活の援助
児童発達支援	未就学の障がい児への、日常生活の基本的な動作の指導や集団生活への適応訓練等
施設入所支援	夜間や休日、施設に入所する方への入浴、排せつ、食事の介護等のサービス
放課後等デイサービス	学齢期以降の障がい児へ、放課後等に生活能力向上のための訓練を継続的に 行い、放課後等の居場所を提供
保育所等訪問支援	保育所等を訪問しての専門的な支援
障がい児相談支援	障がい児の自立した生活を支え、障がい児の抱える課題の解決や適切なサービス 利用に向けた相談支援
地域移行・地域定着支援	単身等で生活する障がいのある方へ、常に連絡がとれる体制の確保、緊急支援が 必要な事態が生じた際の緊急訪問や相談などの支援
手話通訳者派遣事業	視覚や聴覚に障がいのある方に、意思疎通を仲介するための手話通訳者を派遣
要約筆記者派遣事業	視覚や聴覚に障がいのある方に、意思疎通を仲介するための要約筆記者を派遣
障害者相談支援事業	障がい(児)者または、障がい児の保護者及び障がい者のある方の介護を行う 方などへ、相談支援事業所の専門職が相談に応じ、助言や必要な情報を提供
日中一時支援事業	障がいのある方等の家族の就労支援及び、日常的介護の一時的な休息のため、 障がいのある方等の日中における活動の場を提供
成年後見制度利用支援事業	障がい福祉サービスの利用等の観点から、成年後見制度の利用が有効と認められ る方へ、成年後見制度に要する経費や後見人の報酬を助成
地域活動支援センター事業	創作的活動または生産活動の機会の提供、社会との交流等を行う施設の利用
移動支援事業	屋外での移動が困難な方が円滑に外出できるよう移動を支援
生活サポート事業	障がい福祉サービスの介護給付支給決定者以外の方への、日常生活における 支援・家事援助
日常生活用具給付等事業	日常生活用具の給付(ストマ用装具、視覚障がい者用時計等)

障がい者福祉についてのアンケート調査
調査報告書

発効日 平成 29 年 3 月

発行 伊豆市 健康福祉部 社会福祉課